

2017年度
卒業生アンケート調査及び
就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関する
アンケート調査
【調査結果報告書】

2018年7月
西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部

.

「就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の評価に関するアンケート調査」については、本文中「就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート調査」と略称表記（以下同様）

目次

第1章 卒業生アンケート	1
1. 調査の概要	1
【調査結果の見方】	1
2. 調査結果	2
〔1〕 回答者について	2
〔2〕 現在の仕事について	3
〔3〕 転職の状況について	12
〔4〕 未就業の状況について	16
〔5〕 仕事についての感想（自由意見）	19
〔6〕 大学・短大で受けた教育について	25
①達成度と必要性（全体）	25
②達成度と必要性（学科別）	27
③能力やスキルを身につけるために役立ったこと（全体）	31
④仕事をする上で重要だと思う事	37
〔7〕 大学時代で有意義だった授業	39
〔8〕 大学の講義以外で希望する支援・経験	44
〔9〕 大学に対する意見・要望（自由意見）	48
3. 調査結果のまとめ	52
第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート	56
1. 調査の概要	56
2. 調査結果	57
〔1〕 回答者について	57
〔2〕 仕事に必要な能力	58
①必要性和達成度（全体）	58
②必要性和達成度（学科別）	60
③採用の際に重要視する能力	64
〔3〕 事業所の概要	66
〔4〕 学生に希望する資格や検定	69
〔5〕 大学生の人間形成に必要な支援	71
〔6〕 採用について	73
〔7〕 大学に対する意見・要望（自由意見）	79
3. 調査結果のまとめ	84
第3章 調査票	86

第1章 卒業生アンケート

1. 調査の概要

調査対象者	2015 年 3 月卒業生
調査方法	郵送配布・回収
回収数	133 人
調査時期	2017 年 12 月 1 日～2018 年 1 月 12 日 ※2018 年 4 月 15 日までに大学到着分まで集計に含む
回収率	下表の通り

	依頼卒業生数	回答人数	回 収 率
看 護 学 科	91	34	37.4% (32.0%)
福 祉 学 科	84	22	26.2% (19.2%)
栄 養 学 科	87	20	23.0% (29.2%)
英 語 学 科	36	8	22.2% (26.0%)
観光文化学科	71	18	25.4% (12.8%)
助 産 別 科	13	2	15.4% (27.3%)
全 体	382	104	27.2% (24.2%)

()内は前年度回収率

	依頼卒業生数	回答人数	回 収 率
生活創造学科	37	10	27.0% (27.7%)
保 育 科	90	19	21.1% (16.5%)
全 体	127	29	22.8% (20.5%)

()内は前年度回収率

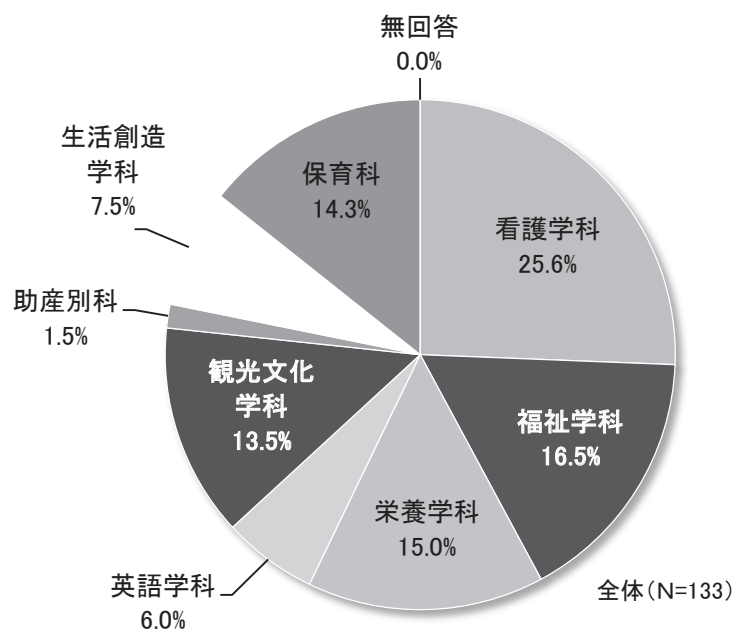
【調査結果の見方】

- 回答は、原則として各質問の調査数を基数（N）とした百分率で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- 学科別クロス集計等において、基数（N）となる調査数が少数となるため、コメントは参考程度に留めるものとし、結果の精度には注意を要する。
- 本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「第3章 調査票」を参照のこと。なお、調査票は大学・短期大学部ともに同様の調査票を使用しているため、大学用の調査票を添付するものとし、短期大学部用の調査票の添付は省略する。

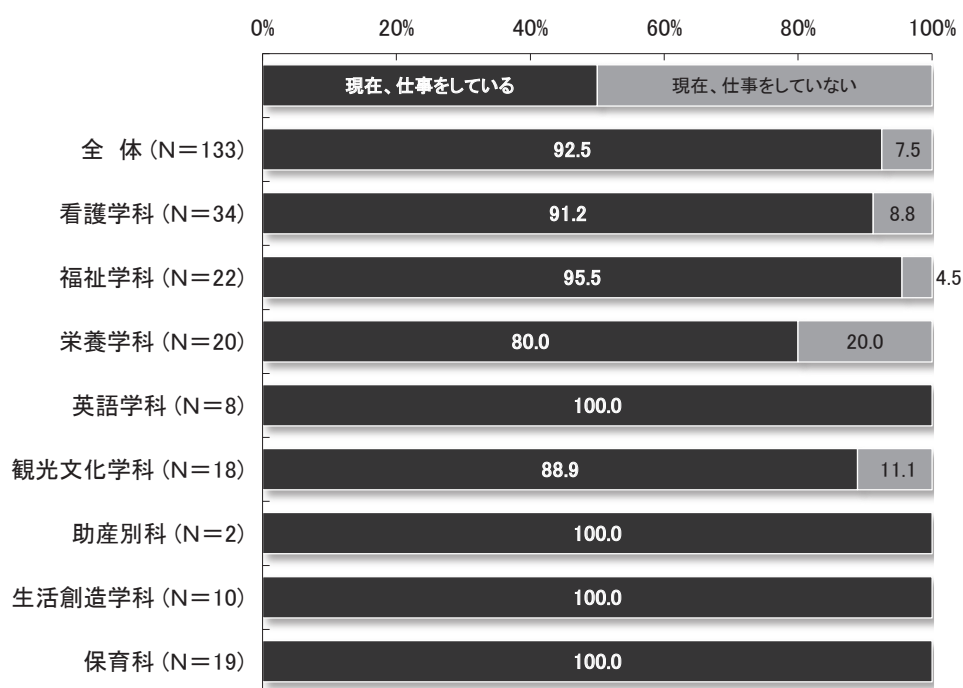
2. 調査結果

〔1〕回答者について

【卒業した学科】



【現在の状況】

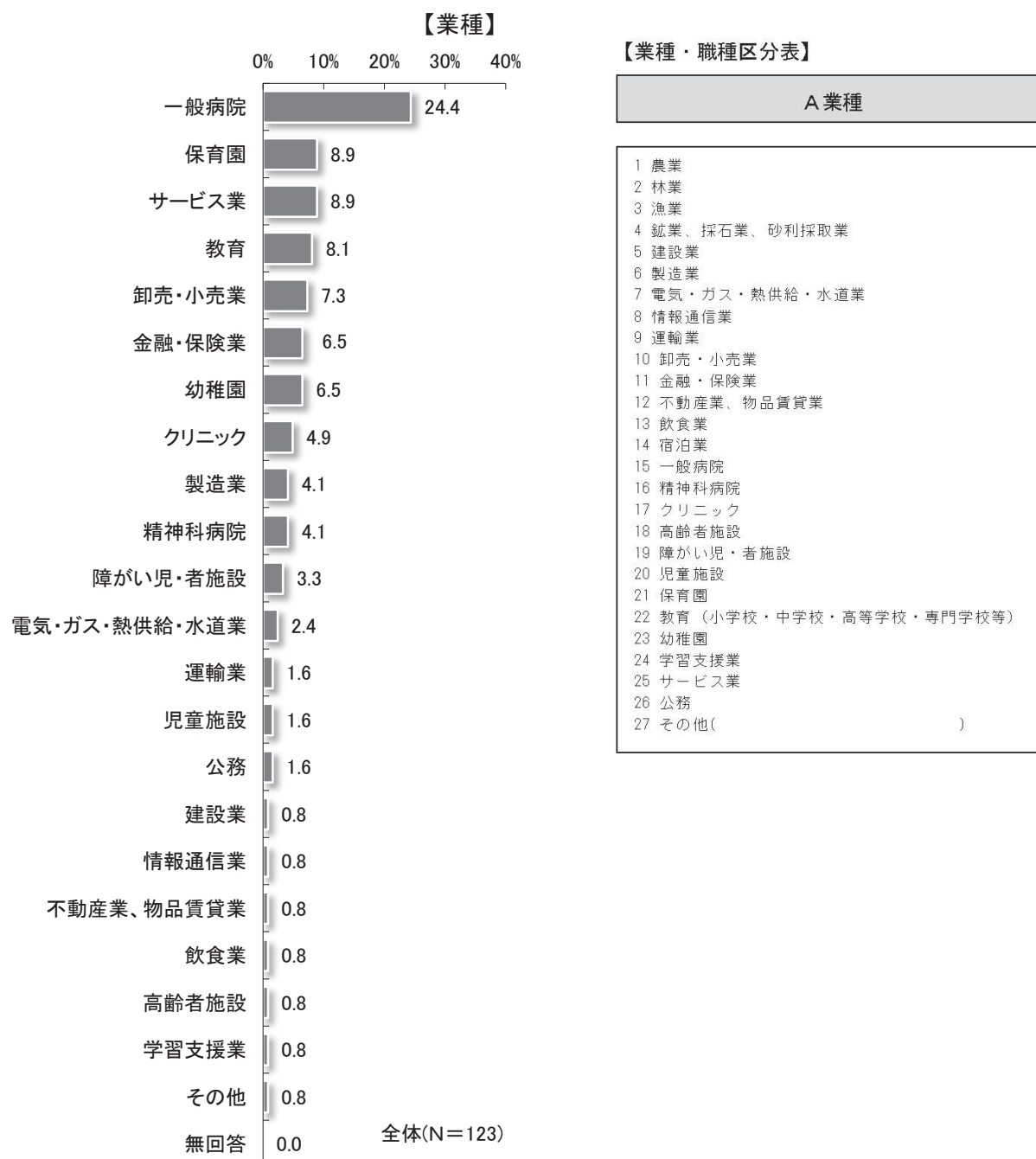


〔2〕現在の仕事について

問 現在の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。
(1つ選択)

現在の勤務先の主たる業種は、大学全体では「一般病院」(24.4%)が最も多く、次いで「保育園」(8.9%)「サービス業」(8.9%)、「教育」(8.1%)となっている。

学科別にみると、助産別科は「クリニック」(100%)、看護学科は「一般病院」(67.7%)、英語学科は「金融・保険業」(37.5%)、保育科は「保育園」「幼稚園」(36.8%)、生活創造学科は「サービス業」(30.0%)の割合が大学全体に比べて高く、学科によって勤務先の主たる業種が異なることがうかがえる。



※その他に農業、林業、漁業、鉱業、採石業、砂利採取業、宿泊業を含む

第1章 卒業生アンケート

【学科別 業種（1/2）】（％）

	全体（人）	一般病院	保育園	サービス業	教育	卸売・小売業	金融・保険業	幼稚園	クリニック	製造業	精神科病院	障がい児・者施設
全体	123	24.4	8.9	8.9	8.1	7.3	6.5	6.5	4.9	4.1	4.1	3.3
看護学科	31	67.7	-	-	16.1	-	-	-	6.5	3.2	6.5	-
福祉学科	21	14.3	9.5	4.8	19.0	-	4.8	-	4.8	-	14.3	19.0
栄養学科	16	25.0	12.5	6.3	-	12.5	-	-	-	6.3	-	-
英語学科	8	-	-	12.5	12.5	12.5	37.5	-	-	-	-	-
観光文化学科	16	6.3	-	18.8	-	25.0	18.8	-	-	6.3	-	-
助産別科	2	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
生活創造学科	10	10.0	-	30.0	-	20.0	-	10.0	-	20.0	-	-
保育科	19	-	36.8	10.5	-	-	5.3	36.8	5.3	-	-	-

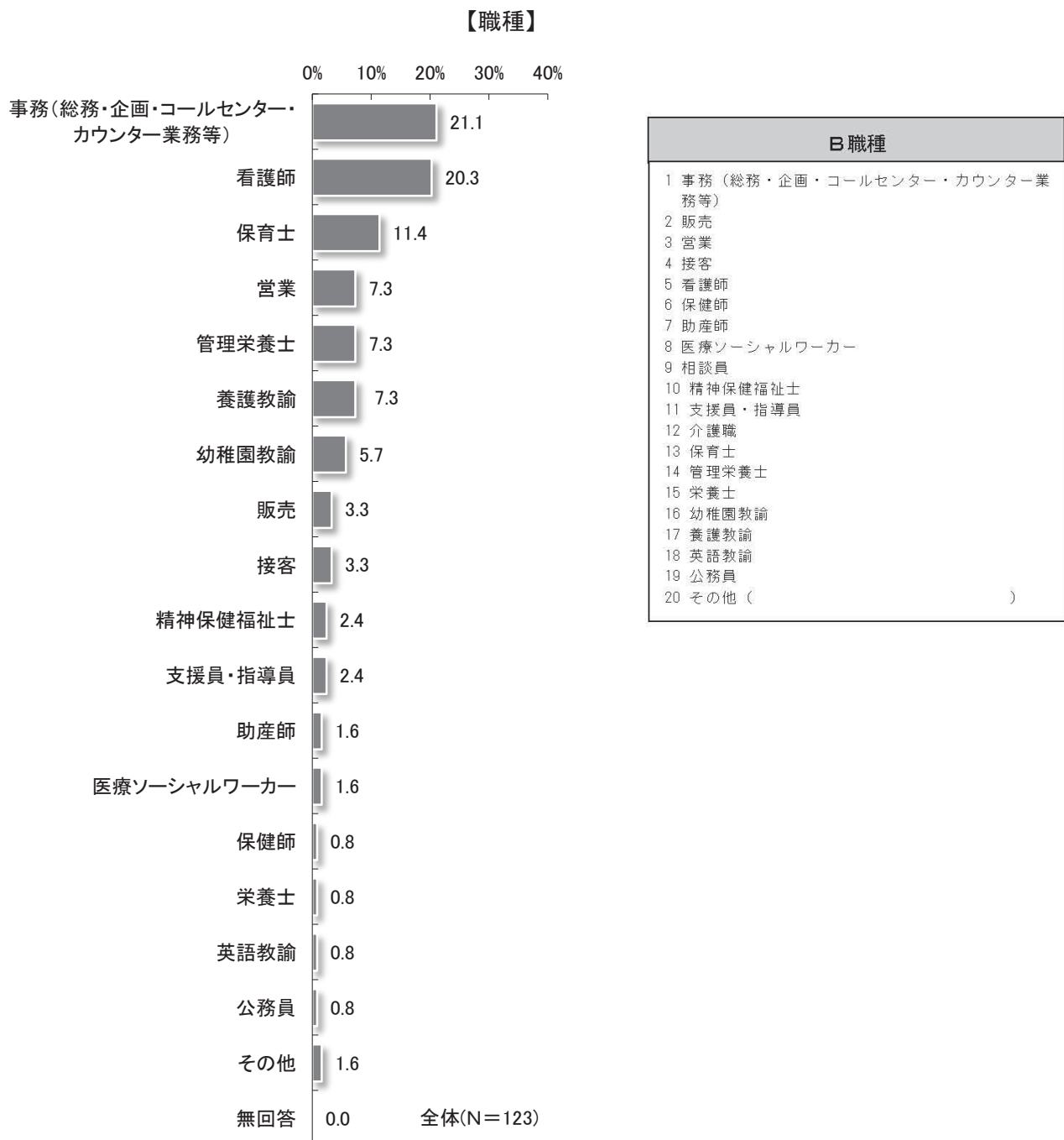
【学科別 業種（2/2）】（％）

	全体（人）	電気・水道業・熱供給	運輸業	児童施設	公務	建設業	情報通信業	不動産業、物品賃貸業	飲食業	高齢者施設	学習支援業	その他	無回答
全体	123	2.4	1.6	1.6	1.6	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	-
看護学科	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福祉学科	21	-	-	9.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栄養学科	16	6.3	6.3	-	12.5	-	-	-	-	6.3	-	6.3	-
英語学科	8	-	-	-	-	12.5	-	-	-	-	12.5	-	-
観光文化学科	16	-	6.3	-	-	-	6.3	6.3	6.3	-	-	-	-
助産別科	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	10	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	19	5.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 現在の勤務先で携わっている主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。（1つ選択）

現在の勤務先で携わっている主たる職種は、大学全体では「事務」(21.1%)が最も多く、次いで「看護師」(20.3%)、「保育士」(11.4%)となっている。

学科別にみると、看護学科は「看護師」(80.6%)、福祉学科は「保育士」(28.6%)、栄養学科は、「管理栄養士」(56.3%)、英語学科は「事務」「営業」(37.5%)、観光文化学科は、「事務」(43.8%)、生活創造学科は「事務」(70.0%)の割合が大学全体に比べて高く、学科によって勤務先で携わっている主たる職種が異なることがうかがえる。



※その他に相談員、介護職を含む

第1章 卒業生アンケート

【学科別 職種（1/2）】（％）

	全体 （人）	事務	看護師	保育士	営業	管理栄養士	養護教諭	幼稚園教諭	販売	接客
全体	123	21.1	20.3	11.4	7.3	7.3	7.3	5.7	3.3	3.3
看護学科	31	-	80.6	-	-	-	16.1	-	-	-
福祉学科	21	4.8	-	28.6	4.8	-	19.0	-	-	4.8
栄養学科	16	25.0	-	-	-	56.3	-	-	-	6.3
英語学科	8	37.5	-	-	37.5	-	-	-	-	-
観光文化学科	16	43.8	-	-	25.0	-	-	-	25.0	6.3
助産別科	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	10	70.0	-	-	10.0	-	-	-	-	10.0
保育科	19	21.1	-	42.1	-	-	-	36.8	-	-

【学科別 職種（2/2）】（％）

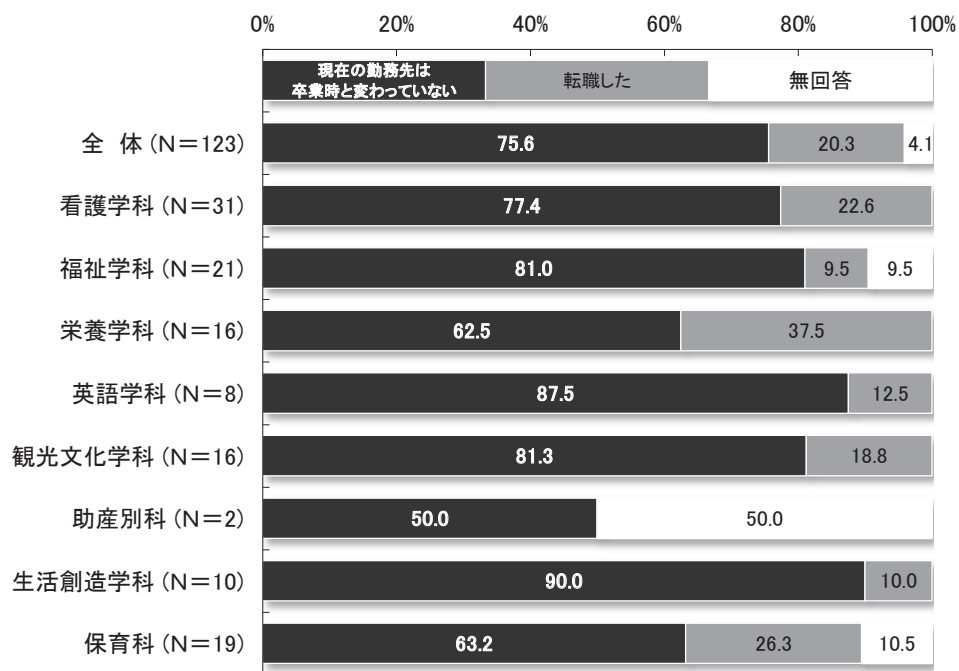
	全体 （人）	精神保健福祉士	支援員・指導員	助産師	医療ソーシャルワーカー	保健師	栄養士	英語教諭	公務員	その他	無回答
全体	123	2.4	2.4	1.6	1.6	0.8	0.8	0.8	0.8	1.6	-
看護学科	31	-	-	-	-	3.2	-	-	-	-	-
福祉学科	21	14.3	14.3	-	9.5	-	-	-	-	-	-
栄養学科	16	-	-	-	-	-	6.3	-	6.3	-	-
英語学科	8	-	-	-	-	-	-	12.5	-	12.5	-
観光文化学科	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
助産別科	2	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	10	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-
保育科	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 現在の勤務先について○をつけてください。(1つ選択)

現在の勤務先は、大学全体では「現在の勤務先は卒業時と変わっていない」の割合が75.6%を占め、「転職した」とする人は20.3%となっている。

学科別に現在の勤務先をみると、栄養学科では「転職した」(37.5%)の割合が他の学科に比べ高い傾向にある。

【現在の勤務先】



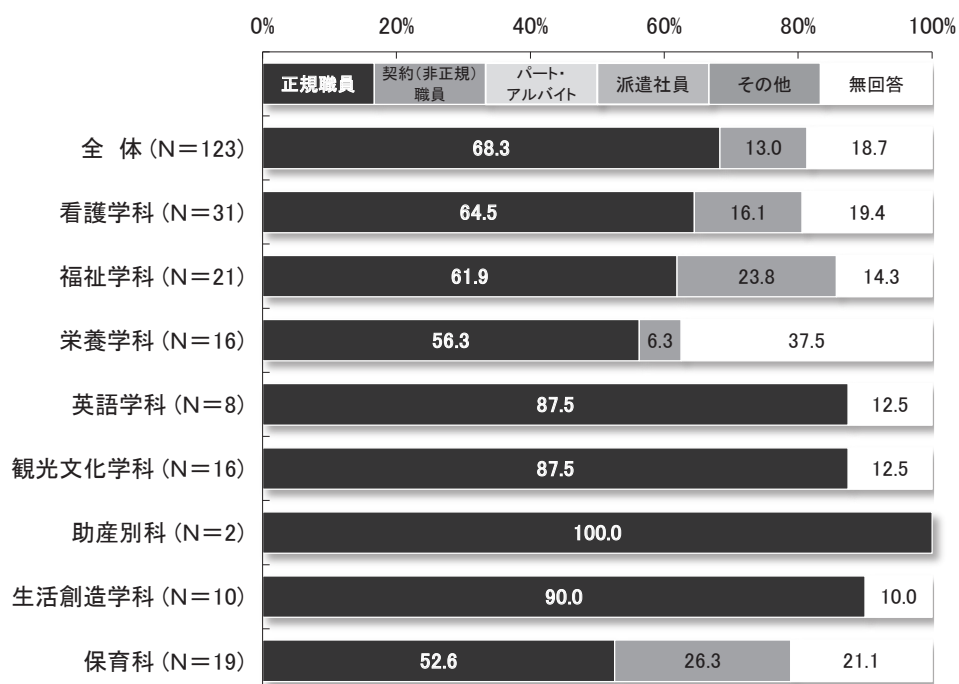
問 雇用形態について教えてください。

①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

卒業時の雇用形態は、大学全体では「正規職員」の割合が68.3%を占め、次いで「契約（非正規）職員」の割合が13.0%となっている。

学科別の卒業時の雇用形態をみると、「正規職員」の割合は、英語学科、観光文化学科、助産別科、生活創造学科で高いのに対し、栄養学科や保育科で比較的低い傾向がある。

【卒業時の雇用形態】

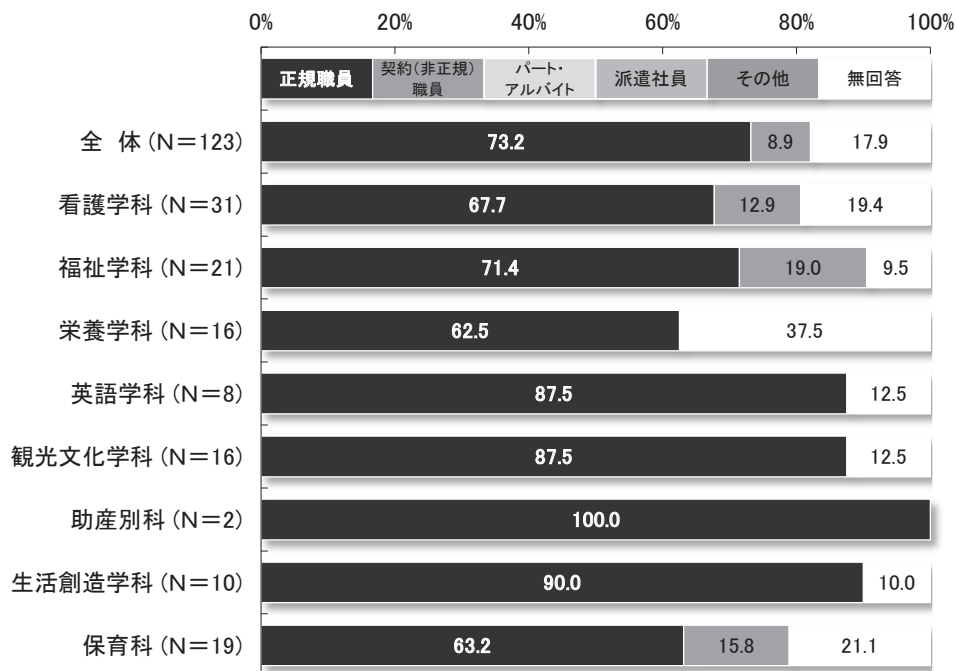


②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

現在の雇用形態は、大学全体では「正規職員」の割合が73.2%と卒業時よりも正規職員の割合が増え、「契約（非正規）職員」（8.9%）などの非正規雇用は減っている。

学科別の現在の雇用形態をみると、看護学科、福祉学科、栄養学科、保育科では「正規職員」の割合が卒業時から高くなっている。

【現在の雇用形態】

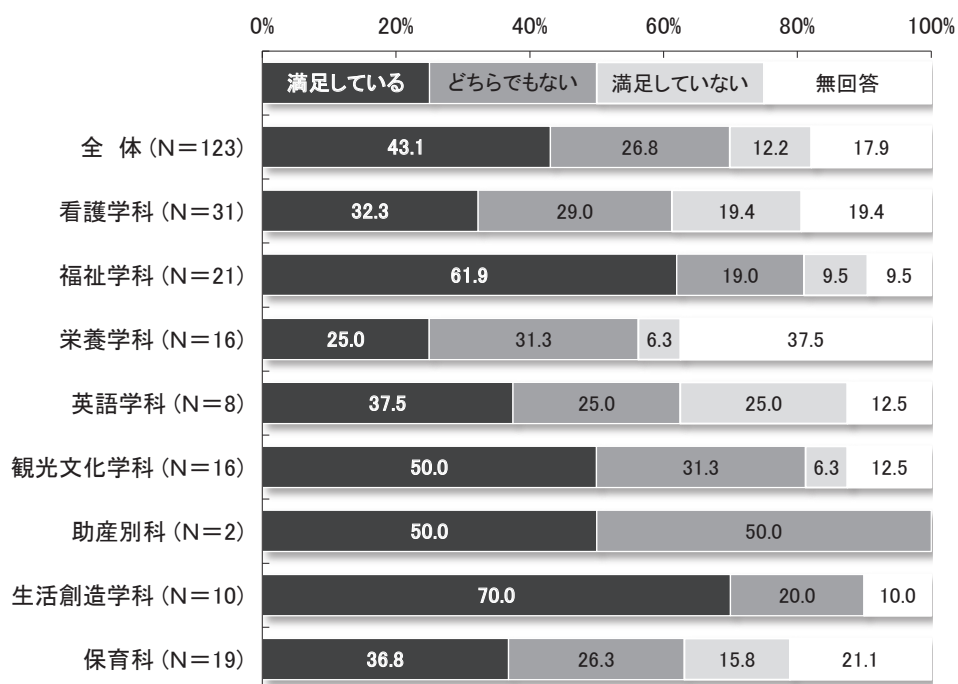


問 現在の勤務先の満足度について○をつけてください。

現在の勤務先の満足度は、大学全体では「満足している」(43.1%) が最も多くなっている。

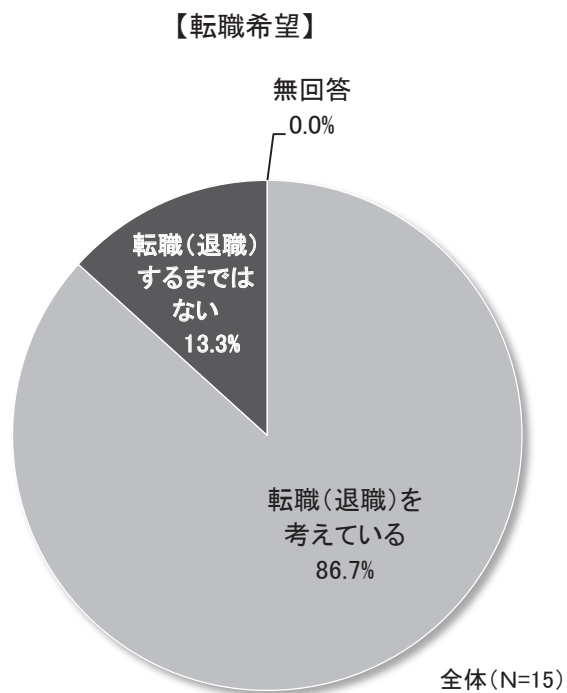
学科別の現在の勤務先の満足度をみると、福祉学科や生活創造学科は「満足している」の割合が他の学科に比べ高くなっている。

【現在の勤務先の満足度】



問 II-5で「満足していない」を選択した方は、該当するものに○をつけてください。

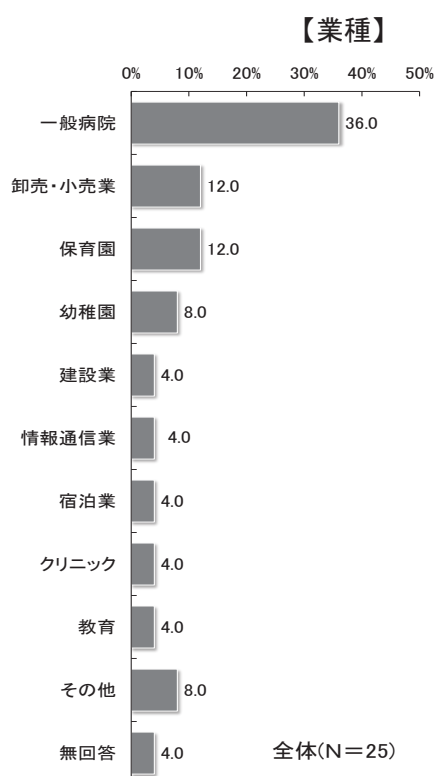
「満足していない」と答えた人の転職（退職）希望は、大学全体では「転職（退職）を考えている」の割合が 86.7%、「転職（退職）するまではない」が 13.3%となっており、現在の勤務先の満足度について「満足していない」と回答した人の約 8 割が転職（退職）を考えている結果となった。



〔3〕 転職の状況について

問 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。
(1つ選択)

転職した人の卒業時の勤務先の主たる業種は、大学全体では「一般病院」(36.0%)が最も多く、次いで「卸売・小売業」「保育園」(12.0%)となっている。



【業種・職種区分表】

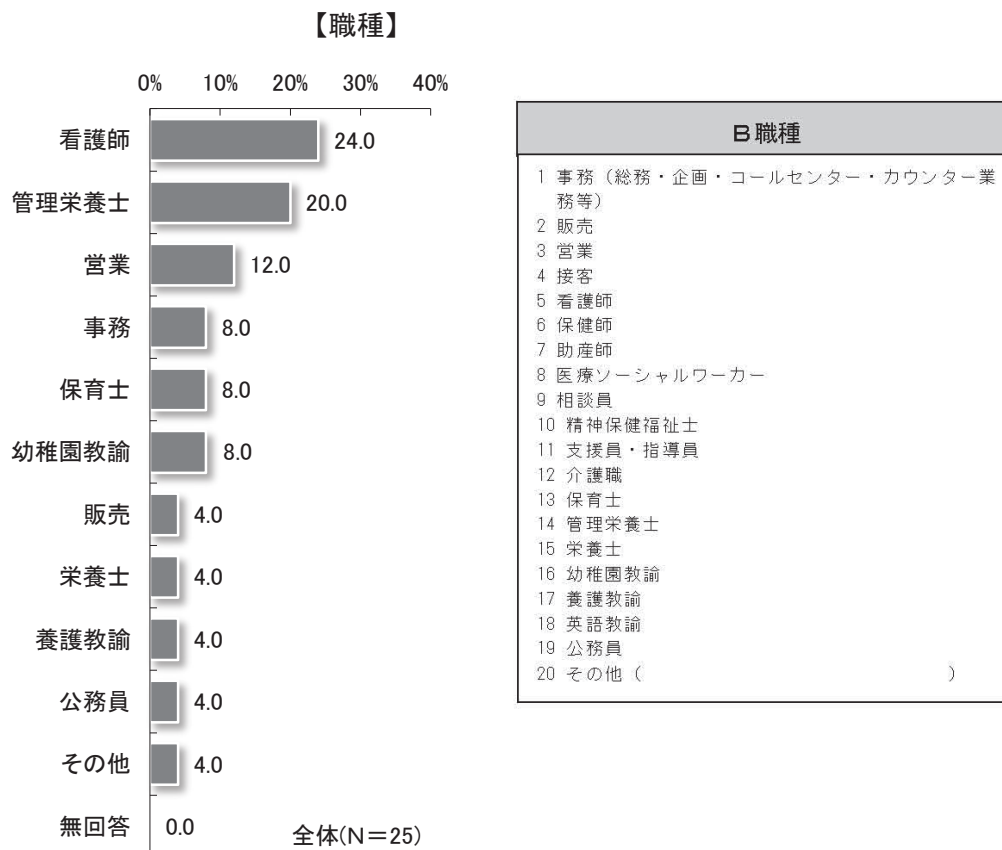
A 業種

- 1 農業
- 2 林業
- 3 漁業
- 4 鉱業、採石業、砂利採取業
- 5 建設業
- 6 製造業
- 7 電気・ガス・熱供給・水道業
- 8 情報通信業
- 9 運輸業
- 10 卸売・小売業
- 11 金融・保険業
- 12 不動産業、物品賃貸業
- 13 飲食業
- 14 宿泊業
- 15 一般病院
- 16 精神科病院
- 17 クリニック
- 18 高齢者施設
- 19 障がい児・者施設
- 20 児童施設
- 21 保育園
- 22 教育(小学校・中学校・高等学校・専門学校等)
- 23 幼稚園
- 24 学習支援業
- 25 サービス業
- 26 公務
- 27 その他()

※その他に農業、林業、漁業、鉱業、採石業、砂利採取業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、運輸業、金融・保険業、不動産業、物品賃貸業、飲食業、精神科病院、高齢者施設・障がい児・者施設、児童施設、学習支援業、サービス業、公務を含む

問 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択)

転職した人の卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種は、大学全体では「看護師」(24.0%)が最も多く、次いで「管理栄養士」(20.0%)、「営業」(12.0%)となっている。

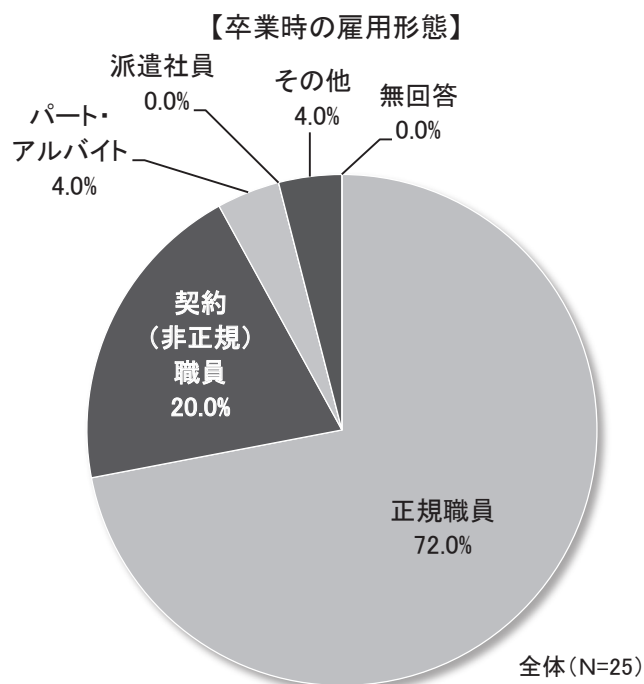


※その他に接客、保健師、助産師、医療ソーシャルワーカー、相談員、精神保健福祉士、支援員・指導員、介護職、英語教諭を含む

問 雇用形態について教えてください。

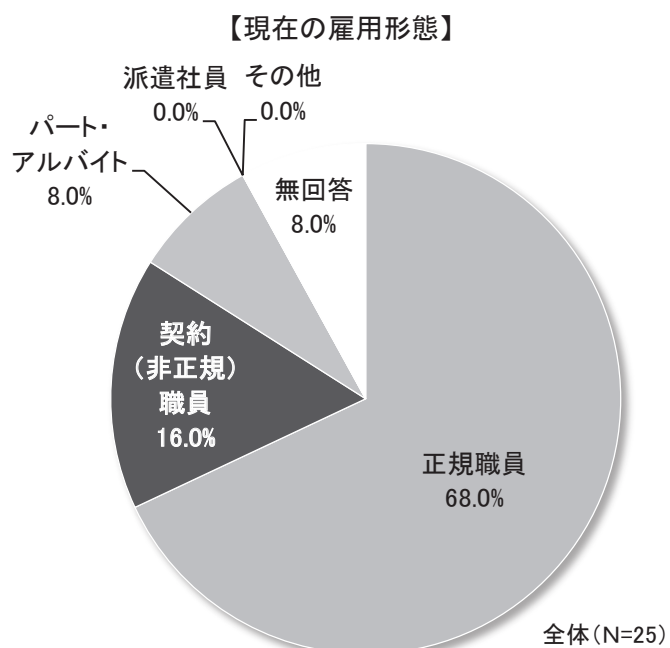
①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

転職した人の卒業時の雇用形態は、「正規職員」(72.0%)が最も多く、「契約(非正規)職員」(20.0%)、「パート・アルバイト」(4.0%)、「その他」(4.0%)となっている。



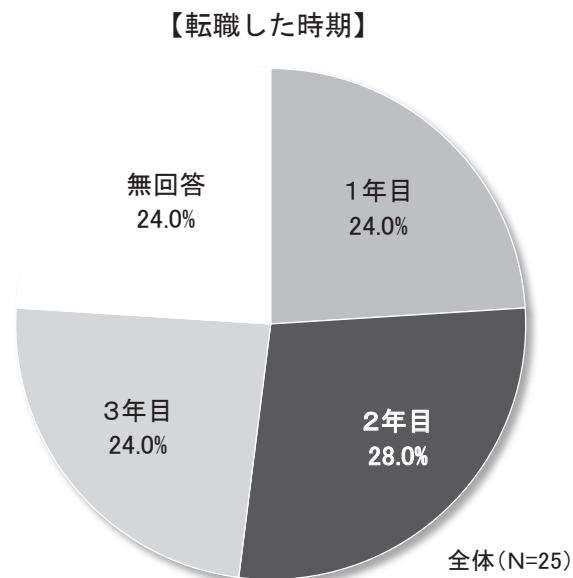
②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

転職した人の現在の雇用形態は、「正規職員」(68.0%)、「契約(非正規)職員」(16.0%)となっており、卒業時よりも「正規職員」「契約(非正規)職員」の割合は減り、「パート・アルバイト」の割合が増えている。



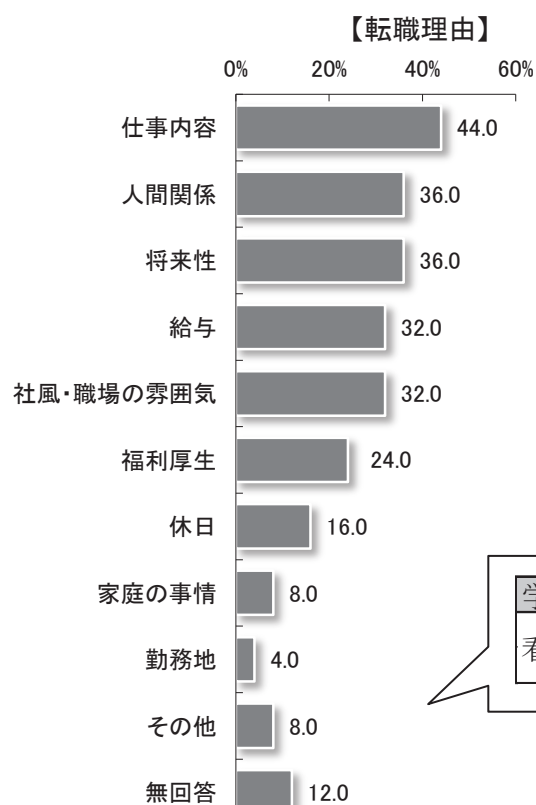
問 転職された時期をご記入ください。

転職した時期は、入職後「2年目」(28.0%) が最も多く、次いで「1年目」「3年目」(24.0%) となっている。



問 転職した理由に○をつけてください。

転職理由は、「仕事内容」(44.0%) が最も多く、次いで「人間関係」「将来性」(36.0%)、「給与」「社風・職場の雰囲気」(32.0%) となっている。



学科	「その他」の内容
看護学科	結婚。 セクハラ、体調不良。

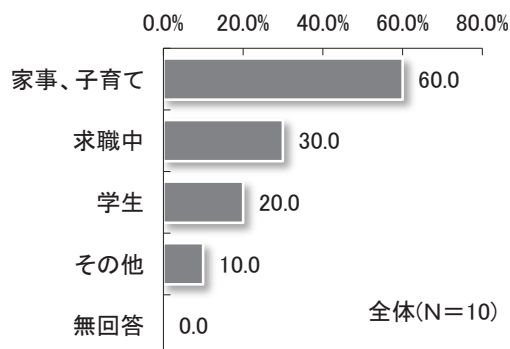
全体(N=25)

〔4〕未就業の状況について

問 現在の状況に○をつけてください。

仕事をしていない人の現在の状況は、「家事・子育て」(60.0%)が最も多く、次いで「休職中」(30.0%)、「学生」(20.0%)となっている。

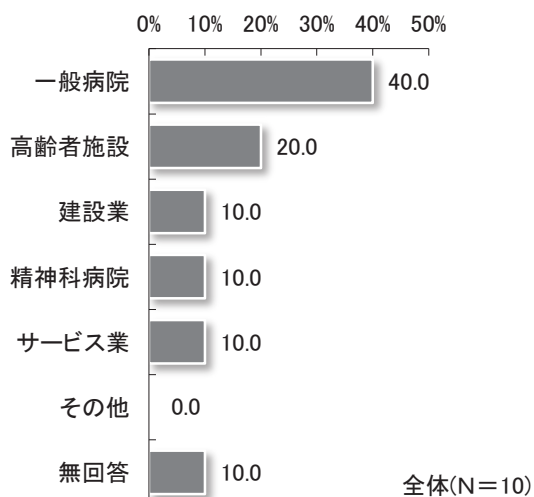
【現在の状況】



問 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択)

現在仕事をしていない人の卒業時の勤務先の主たる業種は、「一般病院」(40.0%)が最も多く、次いで「高齢者施設」(20.0%)、「建設業」「精神科病院」「サービス業」(10.0%)となっている。

【業種】



【業種・職種区分表】

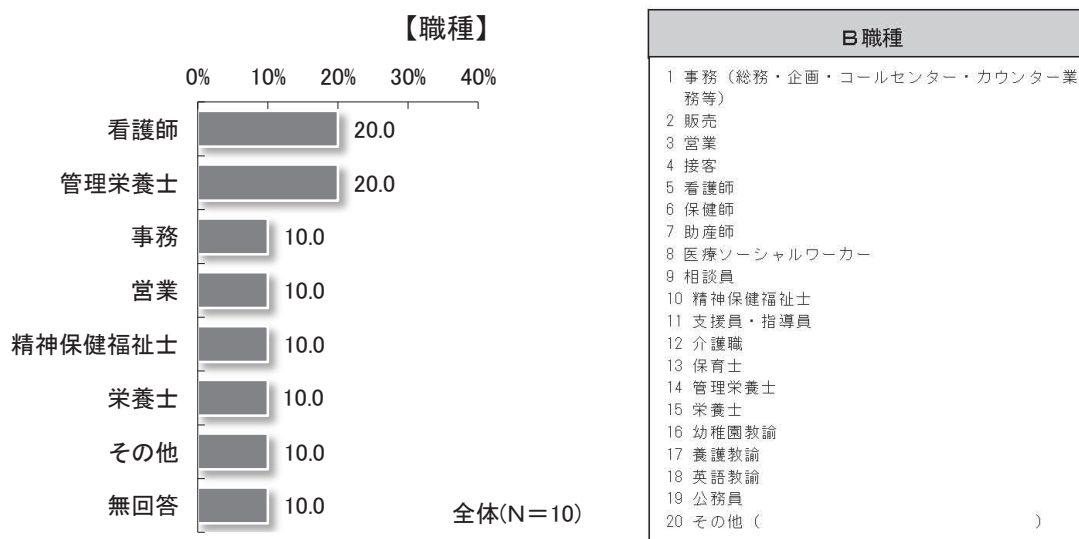
A業種

- 1 農業
- 2 林業
- 3 漁業
- 4 鉱業、採石業、砂利採取業
- 5 建設業
- 6 製造業
- 7 電気・ガス・熱供給・水道業
- 8 情報通信業
- 9 運輸業
- 10 卸売・小売業
- 11 金融・保険業
- 12 不動産業、物品賃貸業
- 13 飲食業
- 14 宿泊業
- 15 一般病院
- 16 精神科病院
- 17 クリニック
- 18 高齢者施設
- 19 障がい児・者施設
- 20 児童施設
- 21 保育園
- 22 教育（小学校・中学校・高等学校・専門学校等）
- 23 幼稚園
- 24 学習支援業
- 25 サービス業
- 26 公務
- 27 その他()

※その他に農業、林業、漁業、鉱業、採石業、砂利採取業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産、物品賃貸業、飲食業、宿泊業、クリニック、障がい児・者施設、児童施設、保育園、教育（小学校・中学校・高等学校・専門学校等）、幼稚園、学習支援業、公務を含む

問 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択)

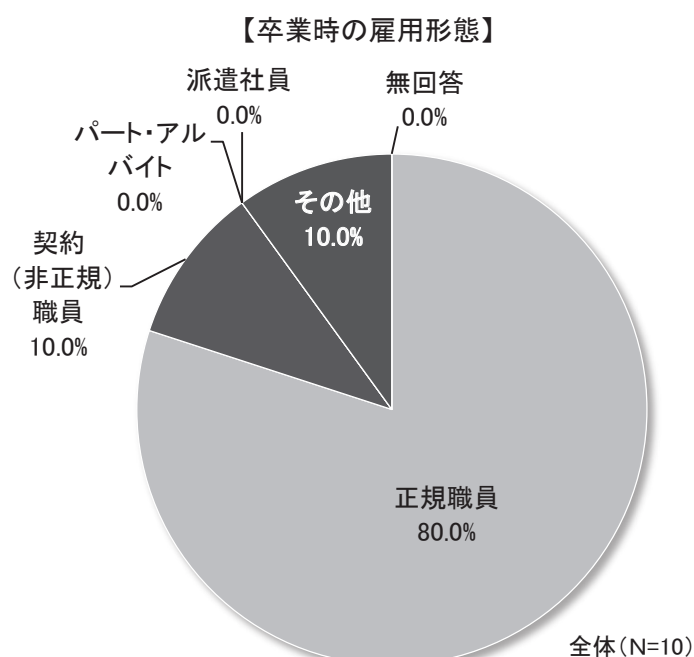
現在仕事をしていない人の卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種は、「看護師」「管理栄養士」(20.0%)が最も多く、次いで「事務」「営業」「精神保健福祉士」「栄養士」(10.0%)となっている。



※その他に販売、接客、保健師、助産師、医療ソーシャルワーカー、相談員、支援員・指導員、介護職、保育士、幼稚園教諭、養護教諭、英語教諭、公務員を含む

問 卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

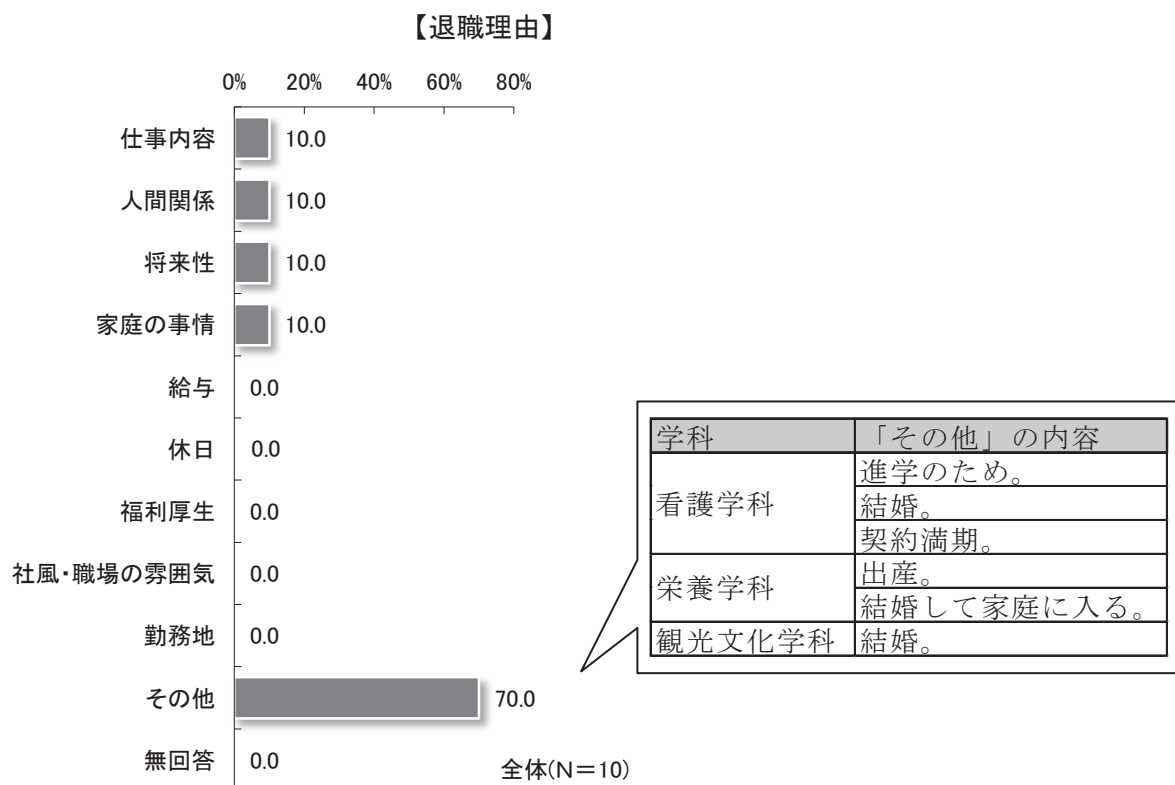
現在仕事をしていない人の卒業時の雇用形態は、「正規職員」(80.0%)が最も多く、次いで「契約（非正規）職員」(10.0%)となっている。



問 退職した理由に○をつけてください。(複数選択可)

現在仕事をしていない人の退職した理由は、「仕事内容」「人間関係」「将来性」「家庭の事情」(10.0%)が最も多くなっている。

また、「その他」として、現在の状況で最も多かった結婚や妊娠を機に退職している人も多くなっている。



〔5〕仕事についての感想（自由意見）

問 仕事をする中で感じたこと（苦勞したことや成長したことなど）をご記入ください。

仕事についての感想を自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

（回答者数：94人/133人[70.7%]）

【成長したことについて】

学科	内容
看護学科	私たちが思う企業での保健師の位置づけと、派遣先企業が思う位置づけが異なりますが、人事部門の方たちと協力しないとできないことがたくさんあるので、問題視ばかりせず、チームワークを大切にしたいと思えるようになりました。
	効率的に動くことや時間の使い方においては成長したと感じる。
	血をみるのが本当にだめでしたが、現場をこなしたことで今は大丈夫になって本当によかったです。
	多くのことを経験でき、スキルアップできている。
福祉学科	子供たち、先生たちと信頼関係を作ることができてきた。
	子どもたちと接する時、少し余裕ができて周りがより見えるようになった。
	子ども達との関わりや保護者対応は自身の成長につながった。
	常に相手を思いやる気持ちも大きく成長し、相手を尊重し理解することにも気が付けた。仕事の内容だけではなく、人として一人の人間として大きく成長する事が出来た。
栄養学科	もし転職しても、役に立てる人材に成長は出来たと思っています。
	忙しい中、たくさんの業務をこなせるようになった。
	改善提案がしやすく、やりたいことにチャレンジできる環境なので、楽しみながら成長できていると感じています。
	苦勞したこともあります。自分でも何でも調べるくせがつき、何があってもやりとげる忍耐力が身についたことは、私の中でとても成長したことだと思います。
英語学科	自分の言動に責任を持つようになった。与えられなくても自分から仕事を見つけられるようになってきた。
観光文化学科	ホテルにて大手企業の方とお話する営業職で、相手の表情から想いをくみとってお話しすることにより新規顧客がリピーターとなることができた。
	成長したことはスケジュール管理能力。
	自分自身、明るい性格なので、職場の雰囲気をガラリと変えました。いろんな人がいるのだとわりきって、それぞれの方（女性）と向きあい、自分自身も、心を広くもち接するという面で成長できたと思います。雰囲気もすごく良くなってきました。
助産別科	実際に患者様と関わることで、患者様の表情や行動より何を必要としているのか理解できるようになってきた。
生活創造学科	前に比べて、コミュニケーション能力が上がり、仕事している中で何を優先すべきなのかがわかってきた。また、3年目になり、後輩、先輩に挟まれ、責任感がよりいっそう増しました。
	与えられた仕事をただこなすだけでなく、きちんと優先順位をつけて、効率良く進められるようになった。
	短大の時にはあまりコミュニケーションを取ることの無かった年齢層の上司や、お客様と電話で話す機会が増えたので、コミュニケーション力はすごくついたと思う。
	周りを見て動けるようになった。

第1章 卒業生アンケート

保育科	毎年、新人が入社してくるので教える機会が増え自分自身の成長にもつながる。
	保育の引き出しを先輩保育士を見て増やし、実践を重ねて保育ができるようになったこと。
	クラスを持ち、子供の成長を間近で見られる事が楽しく、年々、前年の反省をもとに、いい保育が出来る様、成長していると思う。
	実践の中でより知識が付き、それを活かして働けるようになった。
	対人スキルは成長したと思う。
	個人記録や連絡帳を書くことで、日々の子どもたち一人ひとりの姿や成長した所にも自然と目を向けるようになってきたので良かった。

【嬉しかったこと・楽しかったことについて】

学科	内容
看護学科	自分の好きな赤ちゃんの看護を仕事として携わることができて毎日充実していたし楽しかった。
福祉学科	働き始めて、どんどん充実感を味わっています。働いて気持ちが高まり職員採用試験も無事合格することができました。社会人として良い人の真似から頑張っています。
	子どもの成長を感じると「保育士をしていて良かった。」と思う。
	子どもと日々接する中でひとつひとつの物事を子どもが乗り越え、成長する事にやりがいを感じる。
栄養学科	今の職で皆で協力し、達成した時はとても嬉しかった。（栄養士の場合、このようなことを経験できる機会があまりなかった。）
	私は入社して半年でチーフになりました。マネージャーから話をされた際、同期の中で一番早くチーフになれることが嬉しかった。
英語学科	協力的な同僚がたくさんいる。子供達は何よりかわいい。
観光文化学科	日々大変だが、とてもやりがいがある仕事できて、よかったと思っています。
生活創造学科	子供の成長を間近で感じられることが喜びです。

【仕事に必要なこと・大切なことについて】

学科	内容
看護学科	大学生活の中で学んだことが、全て今の仕事に役立っていると感じています。
	知識はもちろんだが、1番は人間関係。看護師同士だけではなく、Drや薬剤師、患者、その家族との信頼関係が大変。
	先輩にはとてもこわい人もいて人間関係の難しさも実感しましたが、一つ一つ気にして病まないというすべを身につけたと思います。
	看護師3年目となり、リーダー業務なども行うようになり、今まで以上に視野を広く持って行動することの重要性を実感しています。
	看護科で医療について学んだことが手当てや心のケアに。幅広い世代と関わる実習での経験が地域の方々とのつながりなどにつながっている。
	西女で学んだこと（学業、人間関係等々）が基礎となっていることを日々実感しています。楽しただけではない大学生活でしたが、みんなで乗り越えた実習や国家試験を思うと、患者様・家族との関わり、自分のスキルアップを目指してもっともっと努力しようと前向きに考えることができます。
福祉学科	人とのつながりの大切さを感じます。
	敬語の使い方や、電話対応など。中々学校の授業でふれないところではありますが、働く上で必要な初歩的なところに勉強不足を感じました。
	限られた時間の中で優先順位をつけて行動する大切さを日々意識していること。
	信頼関係を築くことの大切さ。色々な人と関わることで自分の考え方を見直したりできるようになった。
栄養学科	人間関係を円満に築くことが大切。
	我慢すること。理不尽なことがたくさんある。

英語学科	給料が大切。私は今、仕事が楽しいですが、仕事が楽しくなく給料が低いというのは最悪。
	責任の重さ。
観光文化学科	責任感を持つ。
	学生時代と違い一つ一つの言動に責任が必要である。
	一般常識が大事だと感じております。
助産別科	一人としての責任の重大さを感じる。気が抜けない職種であるが、やりがいがあるし、これからも責任を持って成長して行きたい。後輩がしっかり学べる環境づくりを目指して行きたい。
保育科	忍耐と努力と。
	モンテッソーリ教育の大切さをもっと知ってもらいたいです。

【苦勞したことについて】

学科	内容
看護学科	苦勞しているのは、教員採用試験についてです。正規職員と同じように3年間勤務していますが、先が見えません。
	教育現場という特殊な環境に慣れることが大変でした。
	気難しい患者さんとのコミュニケーションの取り方に苦勞しました。先輩たちの対応を見て、どうすればよいか学びました。
	急性期病院の忙しさや高度な医療知識が必要なことにおどろきと苦しさを感じました。
	3年目ともなると、最初の頃とはまた違う責任感を感じられ、リーダーシップをとるという難しさを実感している。
	夜勤が始まり生活リズムが崩れ1年目はとてもつらかった。
	時間制約が学生の時と全然違い、忙しく、その中で仕事を覚え、環境に慣れていくことが大変だった。
	業務におわれすぎてる。
	2年以上たった今も自立できてるとはいいがたいと思う。
	部署の異動などがあり、仕事に慣れるまで苦勞しましたが、人に関わる仕事なのでやりがいはそれなりに感じています。
	企業に勤めはじめて特に、“「保健師」という資格を持っていると何でもできる”と思われており、色々な面で苦勞しています。
	初めての1人暮らしの中での仕事だったので、生活面との両立に苦勞しました。また、知り合いも居なかったのも、人間関係でも大変でした。
	養護教諭は、1人職であるため、職場内で仕事内容の相談が出来ないことが大変です。
	他者の意見を否定せず、自分の意見をミーティングやカンファレンスの場で言うことが難しいと思いました。
	優先順位を立てて報告することやコミュニケーションのとり方に慣れるまで苦勞した。
	知識だけでなく人間性、病院での仕事などたくさん覚えることがあり、覚えの悪い自分は本当に苦勞してたくさん家で泣きました。
	色々な先輩がいます。いびってくる人やみんなの前で暴言を吐く人、もちろん優しい人も職場にいることはありますが、自分の心ががんばってもがんばっても無理なときは転職した方が絶対いいです。
	「ここで無理ならどこ行ってもダメ」って言われても、環境によってやっぱり変わるし、新しい場所が成長できるってことだってありますよ。
	人間関係、パワハラ。
	上の人の意見などに振りまわされる。いいように使われた。
	人間関係の難しさ。
	OPE室での仕事は想像していたより、はるかに大変だった。

福祉学科	病院では、患者さんのほとんどが目上の人になるため、敬語にかなり苦勞しました。
	自分より年上でベテランのはずの先生が全く仕事をしないこと。報連相もきちんとできない為、新人の先生にも指導ができない。ベテランも新人もクラスの仕事をせず、自分の仕事のみに尽力している。その事を学年リーダーに話しても取り入れてもらえない。上と下にはさまれて仕事をする大変さ、「自分ならこの時にこうするのに。」という考えや思いはあるが、中堅の為、基本クラス運営について発言することがいけないこととされている。
	勤務時間内に仕事が終わられず、やむを得ず残業しなければならない点は苦勞する。 お子様の命を預かっているので責任感を強く感じる。 3年間育成をして頂けるので、定期的に育成担当の先生と一緒に自身をふり返られる。
	オープニングだった為、全ての人が障がい児が初めてで、自分で研修に参加したり、本を読んだり、別の施設に研修に行ったりしていたこと。あと、言葉づかいです。連絡帳を書くときなど敬語の使い方。あと一人暮らしです。
	障害のある子の対応は決まっていなくて、個々に合わせてBestな対応を探しています。とても大変ですが、やりがいでもあります。
	仕事量が多い。
	病棟の患者様の9割が人工呼吸器を装着されているため、毎日緊張感を持って働いています。（3年目ですけど、命を預かっている現場なのでまだまだ慣れません。）しかし、保育士として医療ケア等は出来ませんが患者様やご家族の精神面のケアや日常生活の充実を行っています。患者様の笑顔に癒されながら頑張っています。
栄養学科	人間関係。保育園の狭い給食室の中で、自分の親よりも年上の人に指示するむずかしさ。
	〈栄養指導で感じたこと〉 ・患者様の療養に対しての想いを引き出す（本音を引き出す）むずかしさ ・各々に合ったアプローチのむずかしさを痛感し、日々勉強させて頂いている毎日です。 →自分の価値観や考え・想いの押し付けになっているのでは？と悩むことが多いです。
	個人経営の会社の為、総務・財務・接客業務等、全ての事務を出来る様にならないといけなかった為大変でした。
	栄養士として勤務していた頃、相談できる先輩がいなかったため毎日手探りで仕事していたことが大変だった。
	残業が多く、休みが少なかった。
	前チーフからほとんど教えてもらうことなくチーフになったので、分からないことが多すぎて大変でした。
	苦勞したこと→栄養指導して実践から結果まで繋げていくこと。 使いやすい、分かりやすい資料作成。 (他) 多職種との連携。
	経理を担当しているが、知識が全くないため大変苦勞しています。何事もわからないことは早めに聞いて解決するよう努力しているがなかなかできないため日々反省しています。

英語学科	投資信託や保険を扱っているが、新商品が次々に出てくるため、商品知識の習得が大変。ノルマがあるため不安や悩みが多い。
	現在、海外へ自動車を輸出する会社につとめていて、海外の輸入規制（右ハンドル禁止、車の年式規制）等、対外的な理由で会社の売り上げ等が左右され、対策が大変です。
	責任が重く、ストレスも多い。なかなか同じ歳の人が職場にいないため、悩みを言えない。
観光文化学科	体調が悪くて休む日は前日までに連絡を入れないといけないと後から聞いたので、最初に言ってほしいと思った。それまでの自分の常識じゃわからない。必ずしも前日から体調が悪くなるわけじゃないから、そんなのわからない。理解に苦しむ。
	人間関係が複雑だったこともあり、実際結婚で退職しましたが、辞めたいという気持ちは元々ありました。精神面が強くなったと思います。
	日々時間との勝負だと思います。営業なのでしめ切りに間に合わせることもお客様を誘導するのが大変。
	お客様と接するので、何がお客様にとってベストなのかを、よく考えることが多かったです。また、責任者を任せられているので、数字や売上の事などの店舗運営の知識を習得するのが大変でした。
	周りを見て臨機応変に対応することの難しさを痛感する。
	自分の仕事内容、雇用形態に関しては満足しています。人間関係、職場の雰囲気は苦労しました。それは、どこに行っても同じだという考えもあり、転職は一度も考えたことはありません。
	苦労したことは、営業だったのでクライアントに人として信頼してもらうが大変でした。
	求められるレベルが高い！年齢の離れた方（先輩、上司、役員）に向けて説明したり、意見を言う難しさを感じました。
生活創造学科	敬語が使えていなかった。電話対応の際の声の大きさ。
	幼稚園教諭の資格をとるために仕事しながら勉強が苦労した。
保育科	私はモンテッソーリ教育をしている園で働かせてもらっています。働きながら勉強し、資格をとらなければならなかったのが大変でしたが、今はとても充実した日々を送っています。
	職場内での人間関係や保護者との関わり方で最初は苦労した。
	制作物が多く、他人任せな所もあり、アイデアがでない時は苦労した。職員同士の関係。
	ストレスがたまる。（上司）
	思っていたより、仕事量が多い。
	働く上で、理不尽な事が多い…。上司がとにかく、いじが悪い。
	保育科でパソコンを使うことが少なかった為、資料作成等の書類に苦労している。
	保育士は専門職なのに給与が低く、労働が大変だということ。
	個人記録や連絡帳、クラスだより等、文章を書くことが苦手でしたが、色々な先輩の文章を読んだり、書き方を教えてもらったりすることで、少しずつスムーズに表現することができるようになった。
	職員間のコミュニケーションが上手くとれず苦労している。
	1、2年目はとにかく仕事を覚えることや、保護者との信頼関係の築き方に必死でしたが、3年目で仕事を覚えはじめて年長の担任になってから自分の保育の仕方や向き合い方がこれで合っているのか悩むことがあった。
	・子ども一人ひとり発達が違うのでどのように支援していくか苦労した。 ・職場での人間関係。

第1章 卒業生アンケート

【学べたことについて】

学科	内容
看護学科	自分だけでなく周りの人たちのことも考えて仕事をする事の大切さを学んでいる。 学生時代に学んだことも、実践の場で経験することによって、より具体的に学ぶことができる。また、考えるようになった。
福祉学科	周りの人全てが色々とお手本になっているところです。一人前になれるまで努力し続けたいと思っています。 正論を言えば言う程自分が損をしてしまうので重要な事以外はあきらめる事を学んだ。
英語学科	たくさんの人とふれあうため、色々な人の話を聞いて逆に私が勉強になることも多い。 仕事する上で責任もって取組む必要があるし、一人で仕事しているのではないという実感を持てたこと。
観光文化学科	苦労したことは、営業だったのでクライアントに人として信頼してもらうが大変でした。
生活創造学科	指導する難しさを学びました。 お金をかせぐの大変。

【その他】

学科	内容
福祉学科	後輩のみなさんに1つだけ伝えたいこと。国立病院の保育士になりたいと思っている方はほとんど入所されている患者様は障がい者（大人）という事を知っていてください。入職した際に私が驚いたので心の準備を！
観光文化学科	賞与も大してないし、頑張ってもイマイチ給料に反映してない気がするので、モチベーションが下がる。
生活創造学科	きつい思いをするなら、好きな仕事をしてきつい思いをしたいと思った。本当にしたい仕事で生きていきたいと思った。

〔6〕大学・短大で受けた教育について

①達成度と必要性（全体）

問 ①必要な能力やスキルに関して、A、B、Cについて該当するものに○をつけてください。
その他を選択した場合は、（ ）内に具体的内容をご記入ください。

西南女学院大学で得た力やスキルが『身についている』（身についている＋ほぼ身についている）と評価する人の割合をみると、「9. 倫理観」（89.5%）が最も多くなっている。また、これに次いで「18. チームで働く力（チームワーク）」（86.5%）、「5. 責任感」（85.7%）、「15. コミュニケーション能力」（80.5%）が8割を超えている。

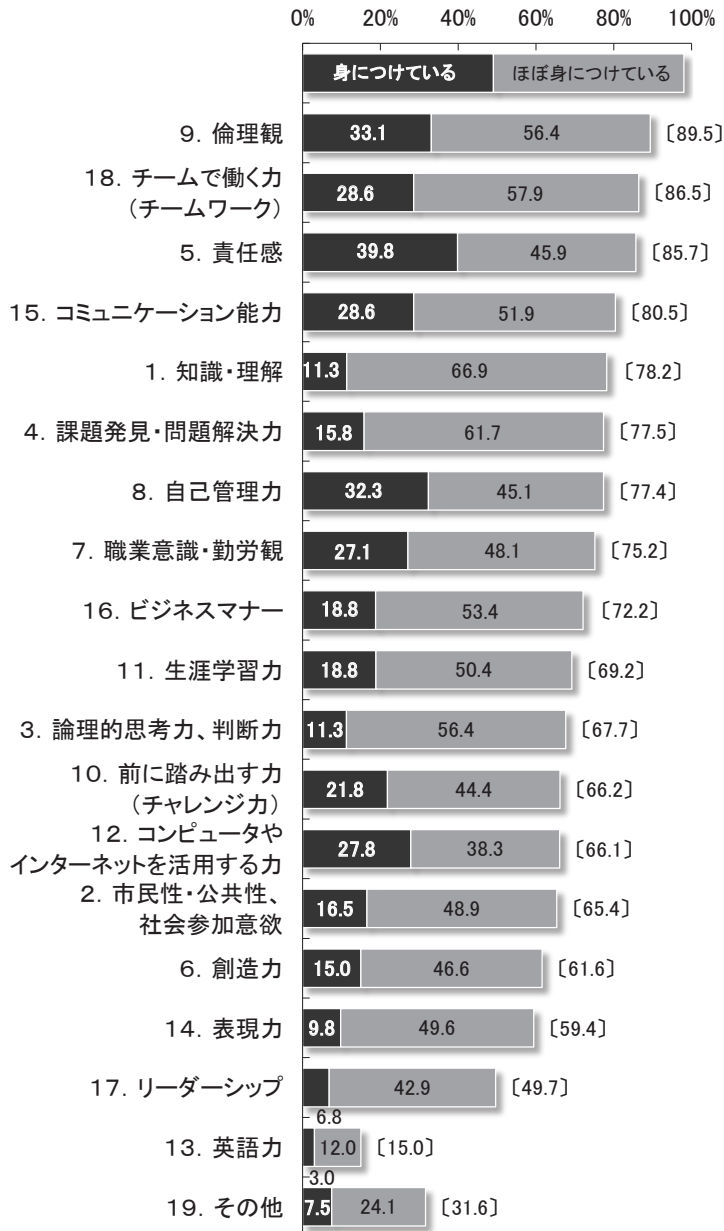
現在の仕事において必要な力やスキルが『役に立つ』（役に立つ＋やや役に立つ）と評価する人の割合をみると、「5. 責任感」「9. 倫理観」「18. チームで働く力（チームワーク）」（92.5%）が最も多くなっている。また、これに次いで「15. コミュニケーション能力」（90.3%）、「4. 課題発見・問題解決力」「8. 自己管理力」（89.5%）、「7. 職業意識・勤労観」（89.4%）、「10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）」（88.0%）が9割近くなっている。

総じて、達成度よりも必要とされるスキルの方が高い傾向にあるが、特に「17. リーダーシップ」でその差が大きい。

【達成度と必要性】

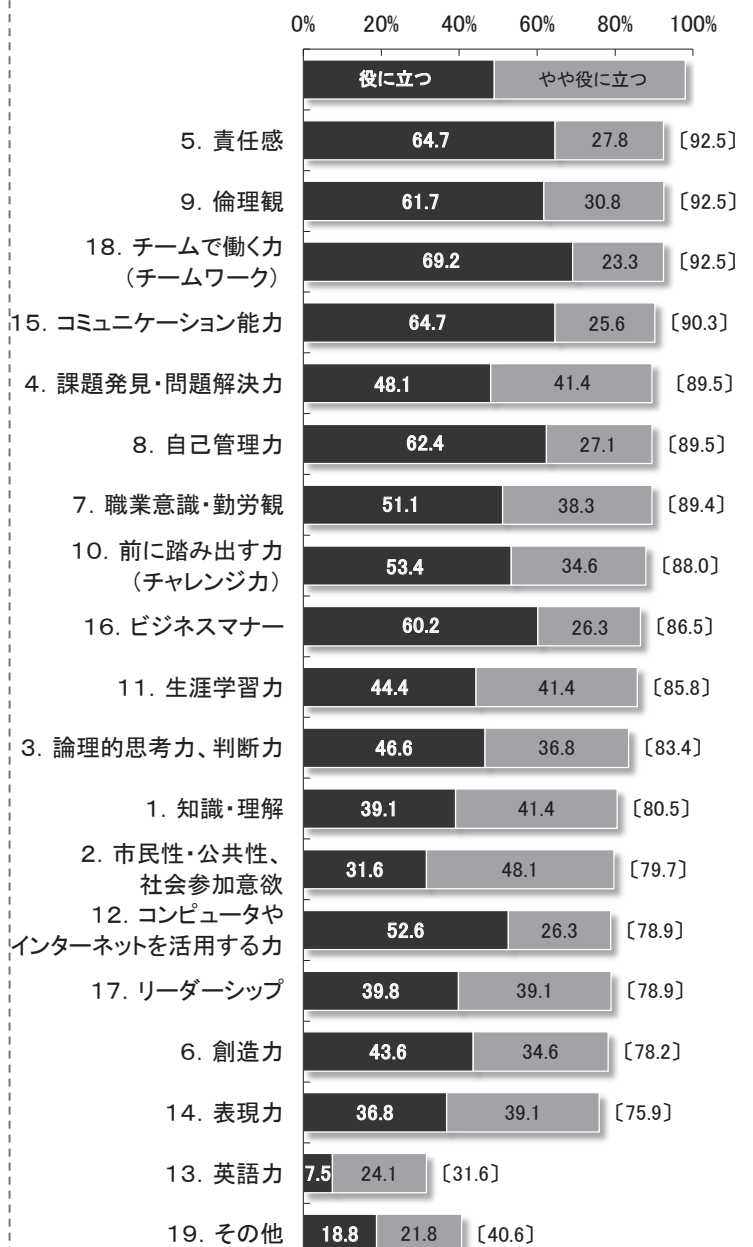
達成度

西南女学院大学で得た力やスキル
(各項目ともN=133)



必要性

現在の仕事において必要な力やスキル
(各項目ともN=133)



注1) 達成度の選択肢は「身につけている」「ほぼ身につけている」「あまり身につけていない」「身につけていない」の4段階

注2) 達成度の〔 〕は「身につけている」+「ほぼ身につけている」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

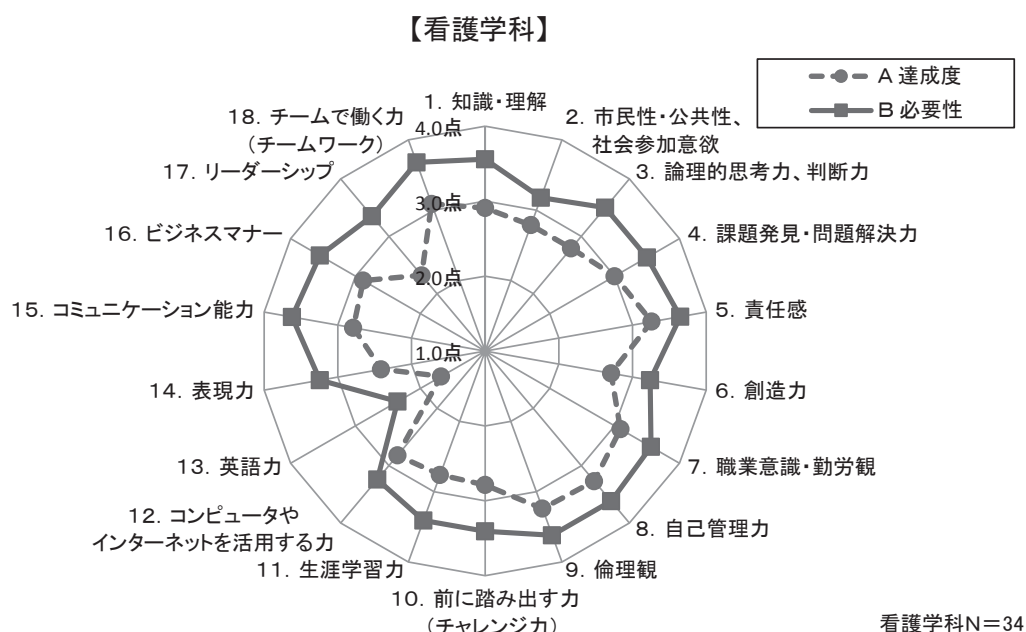
注3) 必要性の選択肢は「役に立つ」「やや役に立つ」「あまり役に立たない」「役に立たない」の4段階

注4) 必要性の〔 〕は「役に立つ」+「やや役に立つ」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある

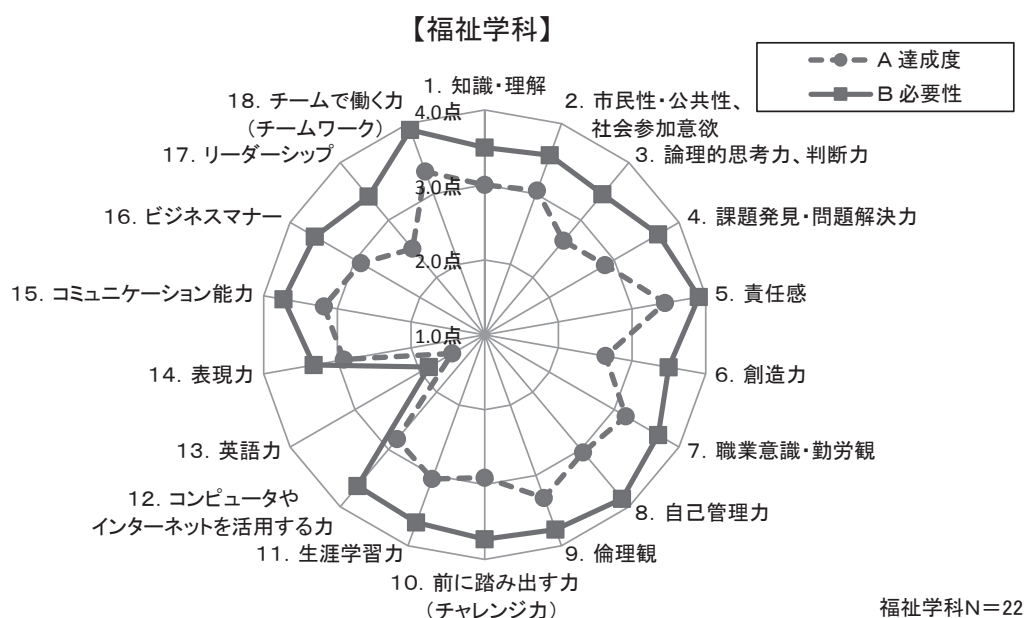
②達成度と必要性（学科別）

達成度と必要性について、「身につけている」「役に立つ」=4点、「ほぼ身につけている」「やや役に立つ」=3点、「あまり身につけていない」「あまり役に立たない」=2点、「身につけていない」「役に立たない」=1点として配点し、達成度と必要性の各項目の平均点を算出した。達成度と必要性を比較し、各学科に必要な能力がどの程度達成されているのかの確認を行った。

看護学科では、「17. リーダーシップ」の必要性が達成度よりも1.03ポイント高く、「14. 表現力」「15. コミュニケーション能力」で0.83ポイント高くなっている。

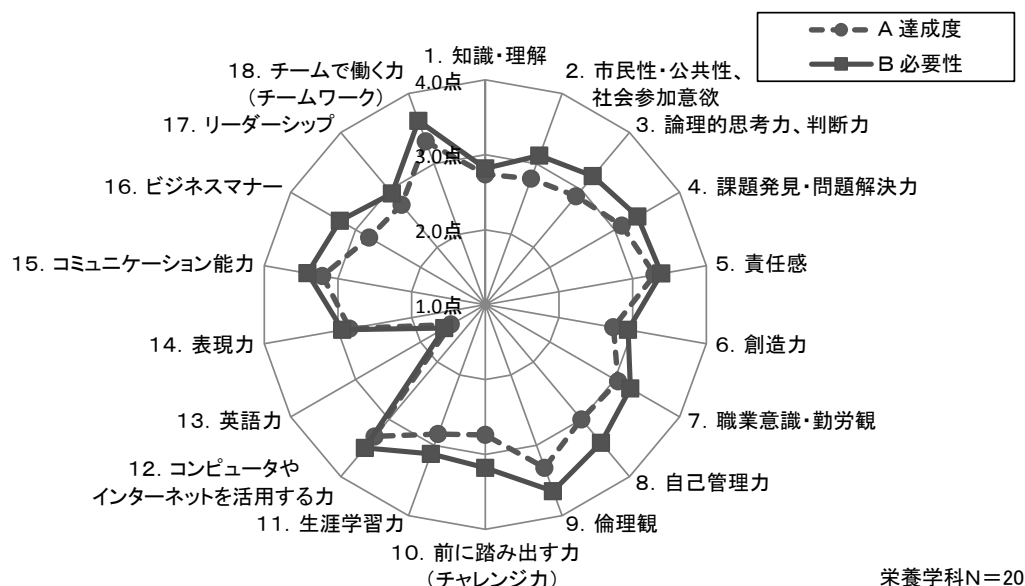


福祉学科では、「17. リーダーシップ」の必要性が達成度よりも0.91ポイント高く、「6. 創造力」が0.86ポイント高くなっている。



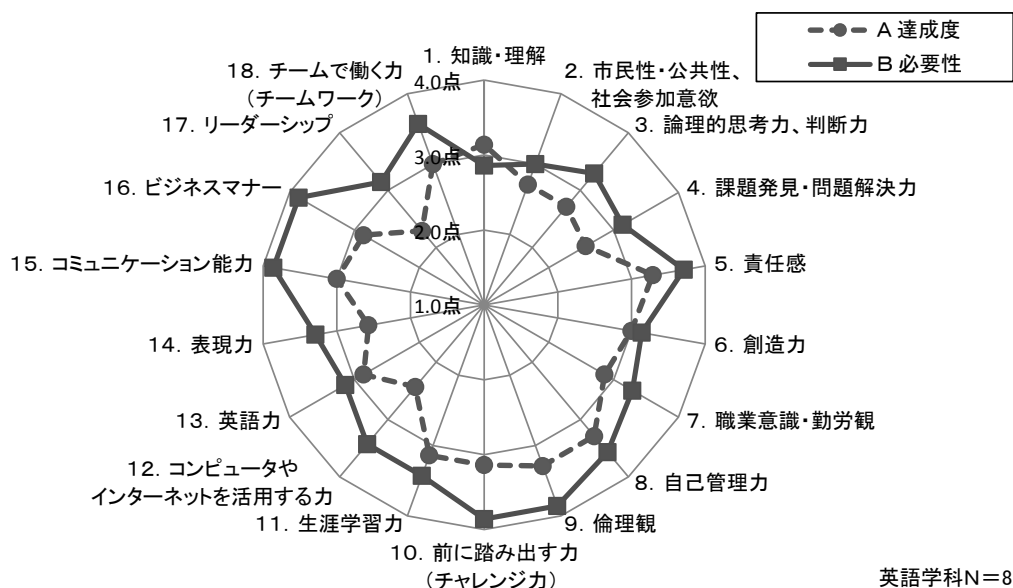
栄養学科では、「16. ビジネスマナー」の必要性が達成度よりも0.45ポイント高く、次いで「10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）」が0.44ポイント、「8. 自己管理能力」が0.41ポイント高くなっている。

【栄養学科】

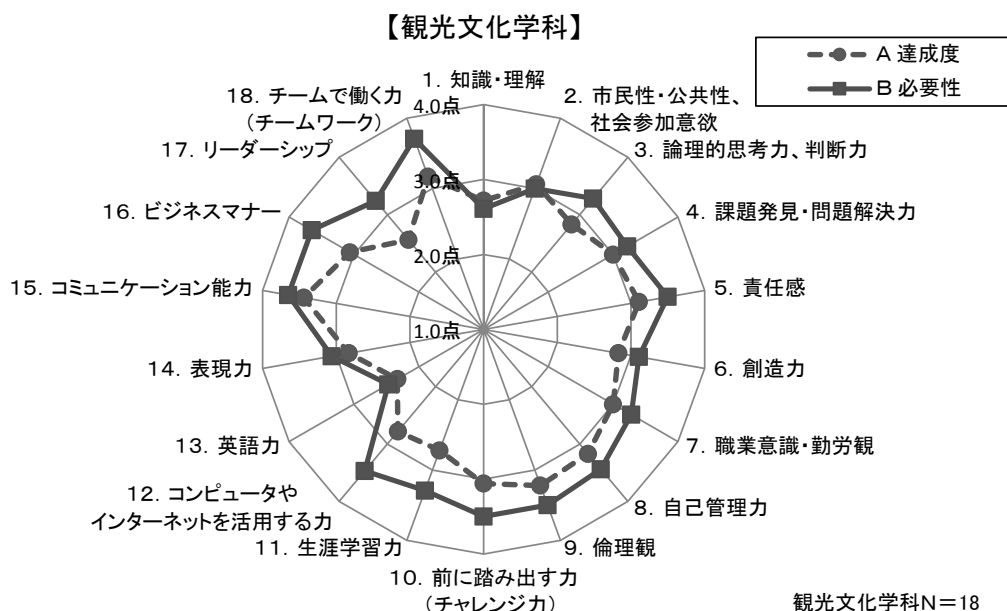


英語学科では、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」「16. ビジネスマナー」の必要性が達成度よりも1.00ポイント高くなっている。一方、「1. 知識・理解」の達成度は必要性より0.28ポイント高くなっていることから、これらの項目については求められる能力を達成していると考えられる人が多いことがうかがえる。

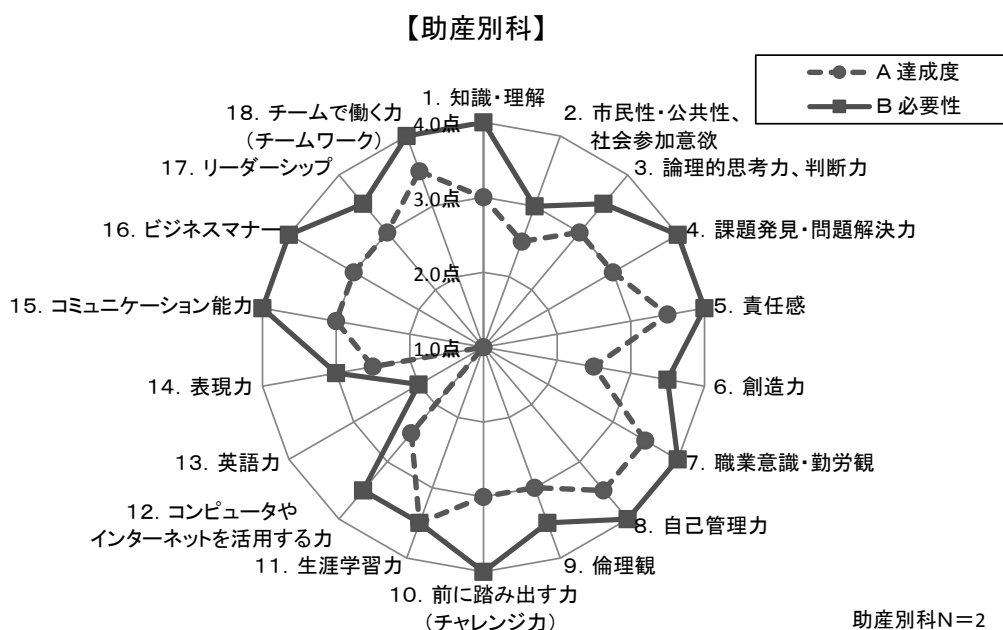
【英語学科】



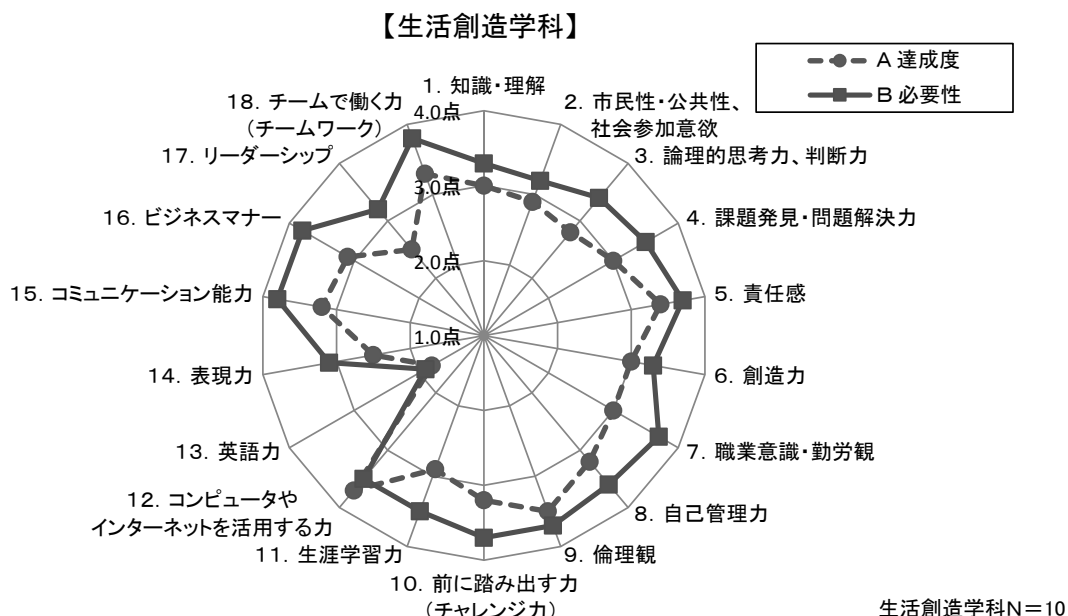
観光文化学科では、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」の必要性が達成度よりも 0.69 ポイント高く、次いで「17. リーダーシップ」が 0.68 ポイント高くなっている。一方で「1. 知識・理解」の達成度は必要性より 0.11 ポイント高くなっている。



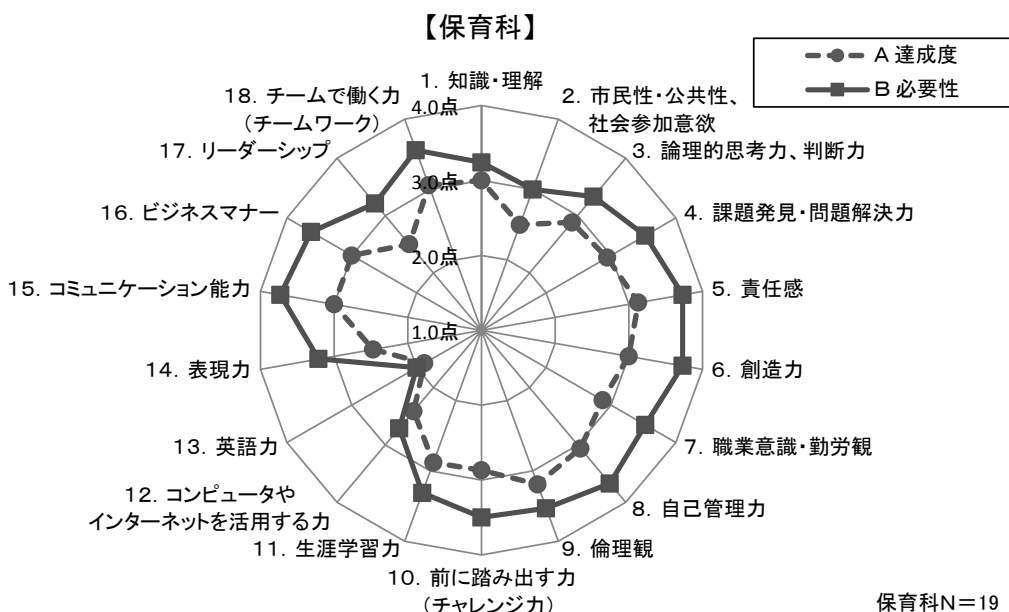
助産別科では、「1. 知識・理解」「4. 課題発見・問題解決力」「6. 創造力」「10. 前に踏み出す力 (チャレンジ力)」「12. コンピュータやインターネットを活用する力」「13. 英語力」「15. コミュニケーション能力」「16. ビジネスマナー」の必要性が達成度よりも 1.00 ポイント高くなっている。



生活創造学科では、「7. 職業意識・勤労観」「16. ビジネスマナー」「17. リーダーシップ」の必要性が達成度よりも0.70ポイント高くなっています。一方、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」の達成度は必要性より0.20ポイント高くなっていることから、求められる能力を達成していると考えられる人が多いことがうかがえる。



保育科では、「14. 表現力」の必要性が達成度よりも0.74ポイント高く、次いで「6. 創造力」「15. コミュニケーション能力」が0.73ポイント高くなっている。



③能力やスキルを身につけるために役立ったこと（全体）

能力やスキルを身につけるために役立ったことは、多くの項目について「大学での講義」が役立っていると回答している人が多いが、「10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）」、「17. リーダーシップ」については「研究室、ゼミ活動」や「実習、インターンシップ」が役に立ったと回答した人が多い。また「15. コミュニケーション能力」や「16. ビジネスマナー」については「アルバイト」が役に立ったと回答した人が多い。

【能力やスキルを身につけるために役立ったこと】（%）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
1. 知識・理解	133	78.2	36.8	5.3	48.9	3.8	6.0	12.8	3.8	8.3	25.6	5.3
2. 市民性・公共性、社会参加意欲	133	29.3	25.6	1.5	30.8	2.3	15.8	35.3	-	25.6	11.3	11.3
3. 論理的思考力、判断力	133	51.1	33.8	2.3	34.6	1.5	7.5	21.8	0.8	5.3	19.5	13.5
4. 課題発見・問題解決力	133	51.9	42.1	0.8	45.9	2.3	7.5	18.0	1.5	8.3	19.5	12.0
5. 責任感	133	33.8	41.4	3.8	49.6	3.8	11.3	46.6	0.8	11.3	21.8	9.0
6. 創造力	133	38.3	43.6	-	31.6	3.8	17.3	12.8	2.3	9.8	16.5	10.5
7. 職業意識・勤労観	133	29.3	21.1	7.5	39.1	-	5.3	39.1	0.8	8.3	34.6	11.3
8. 自己管理能力	133	27.1	15.8	0.8	42.1	3.8	16.5	30.1	1.5	3.0	17.3	15.0
9. 倫理観	133	36.8	30.8	4.5	42.9	1.5	24.1	44.4	1.5	9.8	24.8	10.5
10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）	133	20.3	40.6	3.8	42.1	4.5	17.3	33.1	1.5	15.0	18.8	12.8
11. 生涯学習力	133	44.4	34.6	5.3	27.1	3.0	9.8	10.5	4.5	10.5	22.6	13.5
12. コンピュータやインターネットを活用する力	133	75.2	30.8	1.5	15.0	-	2.3	1.5	11.3	-	11.3	12.0
13. 英語力	133	58.6	10.5	0.8	0.8	6.0	0.8	0.8	5.3	2.3	3.8	30.8
14. 表現力	133	64.7	45.9	-	30.8	1.5	5.3	8.3	3.0	3.0	12.8	15.0
15. コミュニケーション能力	133	35.3	45.1	3.0	47.4	3.8	39.1	57.1	3.0	17.3	27.1	8.3
16. ビジネスマナー	133	36.8	15.8	12.8	41.4	-	12.8	49.6	8.3	8.3	30.8	6.8
17. リーダーシップ	133	24.1	36.1	1.5	31.6	2.3	21.8	29.3	0.8	9.8	18.0	14.3
18. チームで働く力（チームワーク）	133	38.3	53.4	1.5	42.9	1.5	32.3	48.9	0.8	12.0	26.3	6.0
19. その他	133	35.3	14.3	3.0	11.3	-	5.3	11.3	3.8	2.3	8.3	58.6

第1章 卒業生アンケート

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（１～４）】（％）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
1. 知識・理解												
全 体	133	78.2	36.8	5.3	48.9	3.8	6.0	12.8	3.8	8.3	25.6	5.3
看護学科	34	97.1	50.0	2.9	76.5	—	8.8	8.8	5.9	—	41.2	—
福祉学科	22	81.8	45.5	—	59.1	—	—	9.1	4.5	27.3	31.8	4.5
栄養学科	20	70.0	25.0	5.0	45.0	—	15.0	25.0	—	5.0	20.0	5.0
英語学科	8	87.5	25.0	—	—	50.0	—	12.5	—	12.5	25.0	12.5
観光文化学科	18	61.1	38.9	11.1	27.8	5.6	5.6	16.7	11.1	5.6	5.6	11.1
助産別科	2	100.0	—	—	100.0	—	50.0	—	—	—	50.0	—
生活創造学科	10	80.0	40.0	20.0	10.0	—	—	20.0	—	—	10.0	—
保育科	19	57.9	21.1	5.3	47.4	—	—	5.3	—	10.5	21.1	10.5
2. 市民性・公共性、社会参加意欲												
全 体	133	29.3	25.6	1.5	30.8	2.3	15.8	35.3	—	25.6	11.3	11.3
看護学科	34	38.2	29.4	—	26.5	—	23.5	41.2	—	17.6	11.8	2.9
福祉学科	22	31.8	31.8	—	54.5	—	18.2	45.5	—	50.0	13.6	4.5
栄養学科	20	5.0	30.0	—	35.0	—	—	35.0	—	10.0	5.0	25.0
英語学科	8	25.0	12.5	—	12.5	25.0	25.0	37.5	—	50.0	—	12.5
観光文化学科	18	27.8	33.3	5.6	38.9	5.6	16.7	27.8	—	38.9	16.7	5.6
助産別科	2	50.0	—	—	100.0	—	50.0	—	—	—	50.0	—
生活創造学科	10	40.0	10.0	10.0	—	—	10.0	30.0	—	40.0	10.0	—
保育科	19	31.6	15.8	—	15.8	—	10.5	26.3	—	—	10.5	31.6
3. 論理的思考力、判断力												
全 体	133	51.1	33.8	2.3	34.6	1.5	7.5	21.8	0.8	5.3	19.5	13.5
看護学科	34	61.8	44.1	—	58.8	—	5.9	17.6	—	—	26.5	5.9
福祉学科	22	50.0	59.1	—	45.5	—	9.1	27.3	—	18.2	18.2	9.1
栄養学科	20	45.0	25.0	—	35.0	—	5.0	20.0	—	—	—	25.0
英語学科	8	50.0	50.0	12.5	—	12.5	—	12.5	—	—	12.5	12.5
観光文化学科	18	50.0	27.8	5.6	11.1	5.6	16.7	44.4	—	—	22.2	5.6
助産別科	2	50.0	—	—	100.0	—	50.0	—	50.0	—	50.0	—
生活創造学科	10	60.0	30.0	10.0	—	—	10.0	20.0	—	20.0	30.0	10.0
保育科	19	36.8	—	—	26.3	—	—	10.5	—	5.3	21.1	31.6
4. 課題発見・問題解決力												
全 体	133	51.9	42.1	0.8	45.9	2.3	7.5	18.0	1.5	8.3	19.5	12.0
看護学科	34	52.9	50.0	—	76.5	—	—	5.9	—	—	29.4	—
福祉学科	22	72.7	59.1	—	68.2	—	18.2	31.8	—	31.8	22.7	4.5
栄養学科	20	60.0	40.0	—	40.0	—	5.0	30.0	—	—	—	15.0
英語学科	8	12.5	62.5	—	12.5	25.0	—	12.5	—	—	12.5	25.0
観光文化学科	18	50.0	55.6	—	22.2	5.6	11.1	16.7	—	16.7	16.7	5.6
助産別科	2	—	—	—	100.0	—	50.0	—	50.0	—	50.0	—
生活創造学科	10	40.0	30.0	10.0	—	—	10.0	40.0	—	10.0	30.0	20.0
保育科	19	47.4	—	—	26.3	—	5.3	5.3	5.3	—	15.8	36.8

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（５～８）】（％）

	全体 （人）	大学 での講義	研究室、 ゼミ活動	キャリア 教育	実習、 インター ンシップ	留学	部活・サークル、 先輩や友人との 交流	アルバイト	独学、専門 学校	ボランティア、 地域貢献活動	勤務先での 研修	無 回 答
5. 責任感												
全 体	133	33.8	41.4	3.8	49.6	3.8	11.3	46.6	0.8	11.3	21.8	9.0
看護学科	34	41.2	44.1	2.9	70.6	—	8.8	41.2	—	—	26.5	5.9
福祉学科	22	40.9	36.4	—	63.6	—	9.1	59.1	—	40.9	22.7	4.5
栄養学科	20	35.0	60.0	5.0	55.0	—	10.0	45.0	—	—	—	—
英語学科	8	37.5	50.0	—	25.0	37.5	25.0	62.5	—	12.5	25.0	12.5
観光文化学科	18	27.8	44.4	11.1	38.9	11.1	16.7	50.0	—	16.7	16.7	—
助産別科	2	50.0	—	—	100.0	—	50.0	—	50.0	—	50.0	—
生活創造学科	10	20.0	50.0	10.0	—	—	—	50.0	—	10.0	30.0	20.0
保育科	19	21.1	15.8	—	31.6	—	10.5	36.8	—	5.3	31.6	31.6
6. 創造力												
全 体	133	38.3	43.6	—	31.6	3.8	17.3	12.8	2.3	9.8	16.5	10.5
看護学科	34	29.4	50.0	—	41.2	—	17.6	17.6	—	2.9	23.5	11.8
福祉学科	22	54.5	45.5	—	54.5	—	13.6	22.7	—	22.7	27.3	4.5
栄養学科	20	25.0	40.0	—	35.0	—	10.0	15.0	—	5.0	5.0	10.0
英語学科	8	37.5	50.0	—	12.5	37.5	12.5	—	—	—	—	12.5
観光文化学科	18	50.0	50.0	—	11.1	11.1	27.8	11.1	—	22.2	—	—
助産別科	2	50.0	—	—	50.0	—	50.0	—	50.0	—	50.0	—
生活創造学科	10	30.0	60.0	—	10.0	—	20.0	—	10.0	10.0	20.0	—
保育科	19	42.1	21.1	—	21.1	—	15.8	5.3	5.3	5.3	21.1	31.6
7. 職業意識・勤労観												
全 体	133	29.3	21.1	7.5	39.1	—	5.3	39.1	0.8	8.3	34.6	11.3
看護学科	34	41.2	35.3	8.8	47.1	—	8.8	41.2	—	—	32.4	2.9
福祉学科	22	50.0	18.2	—	59.1	—	4.5	40.9	—	27.3	40.9	4.5
栄養学科	20	30.0	25.0	—	30.0	—	5.0	35.0	—	—	25.0	15.0
英語学科	8	25.0	12.5	12.5	25.0	—	—	62.5	—	—	50.0	12.5
観光文化学科	18	11.1	27.8	22.2	44.4	—	5.6	38.9	—	16.7	27.8	5.6
助産別科	2	—	—	—	50.0	—	50.0	—	50.0	—	50.0	—
生活創造学科	10	30.0	10.0	—	10.0	—	—	60.0	—	20.0	50.0	10.0
保育科	19	5.3	—	10.5	26.3	—	—	21.1	—	—	31.6	36.8
8. 自己管理力												
全 体	133	27.1	15.8	0.8	42.1	3.8	16.5	30.1	1.5	3.0	17.3	15.0
看護学科	34	38.2	26.5	—	58.8	—	8.8	26.5	—	—	17.6	5.9
福祉学科	22	18.2	18.2	—	63.6	—	13.6	36.4	—	13.6	18.2	9.1
栄養学科	20	35.0	20.0	—	35.0	—	15.0	35.0	—	—	5.0	20.0
英語学科	8	—	—	12.5	25.0	37.5	12.5	25.0	—	—	12.5	12.5
観光文化学科	18	22.2	11.1	—	11.1	11.1	27.8	33.3	—	5.6	22.2	16.7
助産別科	2	50.0	—	—	100.0	—	—	—	50.0	—	50.0	—
生活創造学科	10	50.0	20.0	—	10.0	—	40.0	50.0	—	—	20.0	10.0
保育科	19	10.5	—	—	42.1	—	15.8	15.8	5.3	—	21.1	36.8

第1章 卒業生アンケート

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（9～12）】（％）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
9. 倫理観												
全体	133	36.8	30.8	4.5	42.9	1.5	24.1	44.4	1.5	9.8	24.8	10.5
看護学科	34	50.0	35.3	2.9	50.0	-	26.5	35.3	-	-	20.6	8.8
福祉学科	22	50.0	40.9	-	63.6	-	36.4	63.6	-	36.4	22.7	4.5
栄養学科	20	25.0	40.0	5.0	60.0	-	20.0	60.0	-	5.0	10.0	10.0
英語学科	8	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	37.5	75.0	-	-	50.0	12.5
観光文化学科	18	33.3	27.8	5.6	16.7	5.6	22.2	44.4	-	16.7	33.3	-
助産別科	2	50.0	-	-	100.0	-	-	-	50.0	-	50.0	-
生活創造学科	10	50.0	40.0	-	20.0	-	30.0	40.0	-	-	40.0	10.0
保育科	19	10.5	5.3	10.5	31.6	-	5.3	15.8	5.3	5.3	21.1	31.6
10. 前に踏み出す力(チャレンジ力)												
全体	133	20.3	40.6	3.8	42.1	4.5	17.3	33.1	1.5	15.0	18.8	12.8
看護学科	34	20.6	41.2	2.9	47.1	-	20.6	32.4	-	2.9	20.6	11.8
福祉学科	22	13.6	40.9	-	72.7	-	18.2	45.5	-	40.9	22.7	4.5
栄養学科	20	10.0	50.0	5.0	55.0	-	10.0	35.0	-	5.0	10.0	10.0
英語学科	8	25.0	75.0	12.5	25.0	37.5	12.5	37.5	-	37.5	12.5	12.5
観光文化学科	18	38.9	55.6	11.1	16.7	16.7	22.2	27.8	-	22.2	11.1	-
助産別科	2	50.0	-	-	100.0	-	-	-	50.0	-	50.0	-
生活創造学科	10	30.0	50.0	-	10.0	-	20.0	30.0	-	20.0	20.0	10.0
保育科	19	10.5	-	-	26.3	-	15.8	26.3	5.3	-	26.3	42.1
11. 生涯学習力												
全体	133	44.4	34.6	5.3	27.1	3.0	9.8	10.5	4.5	10.5	22.6	13.5
看護学科	34	61.8	44.1	2.9	38.2	-	11.8	14.7	-	5.9	26.5	5.9
福祉学科	22	40.9	36.4	-	31.8	-	4.5	4.5	4.5	36.4	27.3	9.1
栄養学科	20	45.0	35.0	-	20.0	-	5.0	15.0	5.0	-	5.0	20.0
英語学科	8	37.5	50.0	12.5	12.5	25.0	12.5	25.0	12.5	25.0	25.0	12.5
観光文化学科	18	27.8	50.0	11.1	22.2	11.1	11.1	-	5.6	11.1	11.1	-
助産別科	2	100.0	-	-	100.0	-	-	-	50.0	-	50.0	-
生活創造学科	10	60.0	30.0	20.0	-	-	10.0	20.0	-	-	30.0	20.0
保育科	19	21.1	-	5.3	26.3	-	15.8	5.3	5.3	-	31.6	36.8
12. コンピュータやインターネットを活用する力												
全体	133	75.2	30.8	1.5	15.0	-	2.3	1.5	11.3	-	11.3	12.0
看護学科	34	76.5	38.2	-	38.2	-	5.9	-	5.9	-	14.7	5.9
福祉学科	22	77.3	40.9	-	9.1	-	-	4.5	9.1	-	13.6	9.1
栄養学科	20	80.0	40.0	-	10.0	-	5.0	-	10.0	-	5.0	10.0
英語学科	8	75.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	25.0	12.5
観光文化学科	18	94.4	33.3	-	5.6	-	-	-	11.1	-	5.6	-
助産別科	2	50.0	-	-	100.0	-	-	-	50.0	-	-	-
生活創造学科	10	100.0	30.0	20.0	-	-	-	10.0	20.0	-	20.0	-
保育科	19	36.8	-	-	-	-	-	-	21.1	-	5.3	47.4

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（13～16）】（%）

	全体 (人)	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、 インターシブ	留学	部活・サークル、 先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、 地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
13. 英語力												
全 体	133	58.6	10.5	0.8	0.8	6.0	0.8	0.8	5.3	2.3	3.8	30.8
看護学科	34	58.8	5.9	-	2.9	-	-	-	2.9	-	2.9	29.4
福祉学科	22	59.1	4.5	-	-	-	-	-	9.1	4.5	4.5	22.7
栄養学科	20	55.0	5.0	-	-	-	-	-	-	-	-	45.0
英語学科	8	87.5	75.0	-	-	50.0	12.5	-	-	-	25.0	12.5
観光文化学科	18	83.3	16.7	5.6	-	16.7	-	-	5.6	5.6	-	5.6
助産別科	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
生活創造学科	10	50.0	10.0	-	-	10.0	-	-	-	10.0	-	50.0
保育科	19	31.6	-	-	-	-	-	5.3	15.8	-	5.3	47.4
14. 表現力												
全 体	133	64.7	45.9	-	30.8	1.5	5.3	8.3	3.0	3.0	12.8	15.0
看護学科	34	64.7	64.7	-	41.2	-	2.9	5.9	5.9	-	8.8	11.8
福祉学科	22	81.8	59.1	-	59.1	-	4.5	13.6	-	9.1	22.7	4.5
栄養学科	20	80.0	55.0	-	30.0	-	5.0	10.0	-	-	15.0	15.0
英語学科	8	75.0	50.0	-	12.5	25.0	25.0	12.5	-	12.5	12.5	12.5
観光文化学科	18	72.2	33.3	-	-	-	5.6	5.6	-	-	-	5.6
助産別科	2	50.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	10	50.0	40.0	-	20.0	-	10.0	10.0	-	10.0	10.0	10.0
保育科	19	26.3	5.3	-	15.8	-	-	5.3	10.5	-	21.1	47.4
15. コミュニケーション能力												
全 体	133	35.3	45.1	3.0	47.4	3.8	39.1	57.1	3.0	17.3	27.1	8.3
看護学科	34	41.2	61.8	-	67.6	-	44.1	58.8	2.9	5.9	26.5	2.9
福祉学科	22	54.5	50.0	-	77.3	-	40.9	59.1	-	40.9	27.3	4.5
栄養学科	20	30.0	50.0	5.0	35.0	-	25.0	70.0	-	10.0	30.0	10.0
英語学科	8	50.0	25.0	-	25.0	50.0	50.0	50.0	12.5	37.5	25.0	12.5
観光文化学科	18	33.3	50.0	5.6	33.3	5.6	38.9	50.0	-	22.2	22.2	-
助産別科	2	50.0	-	-	100.0	-	-	-	50.0	-	50.0	-
生活創造学科	10	30.0	40.0	10.0	20.0	-	60.0	70.0	-	20.0	40.0	-
保育科	19	5.3	15.8	5.3	21.1	-	31.6	47.4	5.3	5.3	21.1	31.6
16. ビジネスマナー												
全 体	133	36.8	15.8	12.8	41.4	-	12.8	49.6	8.3	8.3	30.8	6.8
看護学科	34	32.4	20.6	5.9	58.8	-	14.7	52.9	2.9	-	32.4	2.9
福祉学科	22	31.8	4.5	4.5	59.1	-	9.1	50.0	9.1	22.7	27.3	4.5
栄養学科	20	25.0	40.0	-	35.0	-	10.0	65.0	5.0	10.0	15.0	10.0
英語学科	8	37.5	-	12.5	50.0	-	25.0	37.5	12.5	12.5	37.5	12.5
観光文化学科	18	61.1	16.7	27.8	22.2	-	11.1	44.4	11.1	-	33.3	-
助産別科	2	50.0	-	-	100.0	-	-	-	50.0	-	50.0	-
生活創造学科	10	80.0	20.0	20.0	10.0	-	10.0	50.0	10.0	20.0	50.0	-
保育科	19	15.8	-	31.6	21.1	-	15.8	42.1	10.5	5.3	31.6	21.1

第1章 卒業生アンケート

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（１７～１９）】（％）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
17. リーダーシップ												
全 体	133	24.1	36.1	1.5	31.6	2.3	21.8	29.3	0.8	9.8	18.0	14.3
看護学科	34	26.5	44.1	5.9	55.9	—	14.7	14.7	—	—	26.5	11.8
福祉学科	22	27.3	27.3	—	31.8	—	27.3	31.8	—	22.7	9.1	13.6
栄養学科	20	25.0	35.0	—	50.0	—	15.0	40.0	—	10.0	10.0	10.0
英語学科	8	12.5	37.5	—	12.5	12.5	37.5	50.0	—	25.0	25.0	12.5
観光文化学科	18	27.8	55.6	—	5.6	11.1	22.2	22.2	—	16.7	11.1	—
助産別科	2	50.0	—	—	100.0	—	—	—	50.0	—	50.0	—
生活創造学科	10	20.0	40.0	—	10.0	—	30.0	40.0	—	10.0	20.0	30.0
保育科	19	15.8	15.8	—	5.3	—	26.3	36.8	—	—	21.1	31.6
18. チームで働く力(チームワーク)												
全 体	133	38.3	53.4	1.5	42.9	1.5	32.3	48.9	0.8	12.0	26.3	6.0
看護学科	34	41.2	58.8	—	76.5	—	35.3	38.2	—	2.9	32.4	2.9
福祉学科	22	45.5	59.1	—	54.5	—	31.8	59.1	—	36.4	31.8	4.5
栄養学科	20	45.0	65.0	—	55.0	—	25.0	70.0	—	10.0	10.0	5.0
英語学科	8	37.5	50.0	—	12.5	12.5	50.0	62.5	—	—	25.0	12.5
観光文化学科	18	50.0	55.6	—	5.6	5.6	27.8	38.9	—	22.2	22.2	—
助産別科	2	50.0	—	—	100.0	—	—	—	50.0	—	50.0	—
生活創造学科	10	40.0	60.0	10.0	20.0	—	30.0	60.0	—	—	20.0	10.0
保育科	19	5.3	26.3	5.3	10.5	—	36.8	36.8	—	5.3	31.6	15.8
19. その他												
全 体	133	35.3	14.3	3.0	11.3	—	5.3	11.3	3.8	2.3	8.3	58.6
看護学科	34	41.2	8.8	—	11.8	—	5.9	17.6	2.9	—	11.8	55.9
福祉学科	22	31.8	18.2	—	22.7	—	4.5	27.3	4.5	4.5	9.1	54.5
栄養学科	20	40.0	15.0	—	15.0	—	10.0	5.0	—	—	—	60.0
英語学科	8	37.5	12.5	12.5	—	—	—	—	12.5	—	—	50.0
観光文化学科	18	44.4	33.3	11.1	—	—	5.6	5.6	5.6	5.6	16.7	44.4
助産別科	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0
生活創造学科	10	40.0	20.0	—	10.0	—	10.0	10.0	—	10.0	20.0	50.0
保育科	19	15.8	—	5.3	10.5	—	—	—	5.3	—	—	84.2

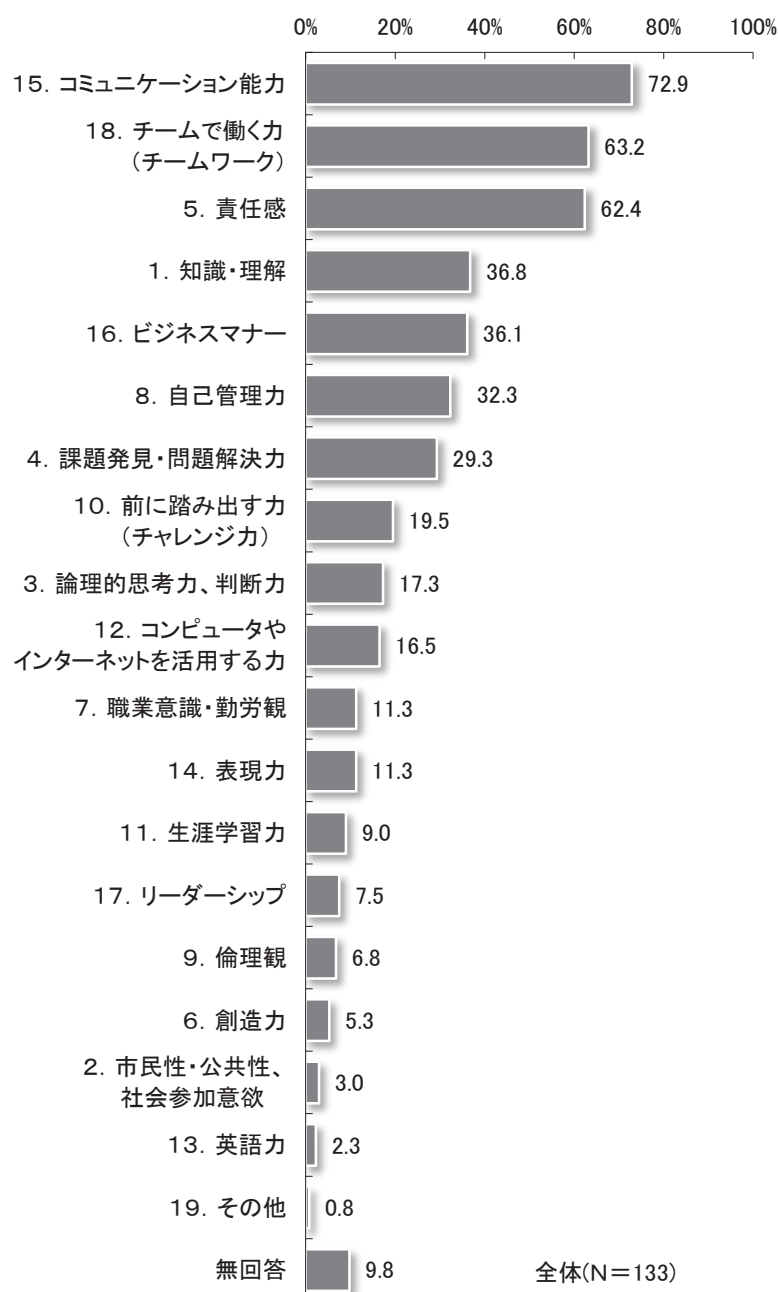
④仕事をする上で重要だと思う事

問 ②上記の表の1～19の能力・スキルのうち、仕事をする上で重要だと思うものについて、5つまでその番号をご記入ください。

仕事をする上で重要だと思うことは、「15. コミュニケーション能力」(72.9%) が最も多く、次いで「18. チームで働く力 (チームワーク)」(63.2%)、「5. 責任感」(62.4%) となっている。

学科別にみると、概ね全体結果と同様の傾向を示しているが、看護学科では「1. 知識・理解」、英語学科では「16. ビジネスマナー」、観光文化学科では「12. コンピュータやインターネットを活用する力」、生活創造学科では「8. 自己管理能力」を重要視する人が他学科に比べて多くなっている。

【仕事をする上で重要だと思うこと】



【学科別 仕事をする上で重要だと思うこと (1/2)】 (%)

	全体 (人)	15. コミュニケーション能力	18. (チームで働く力)	5. 責任感	1. 知識・理解	16. ビジネスマナー	8. 自己管理能力	4. 課題発見・問題解決力	10. (前に踏み出す力)	3. 論理的思考力、判断力	12. コンピュータやインターネットを活用する力
全体	133	72.9	63.2	62.4	36.8	36.1	32.3	29.3	19.5	17.3	16.5
看護学科	34	79.4	85.3	61.8	76.5	23.5	17.6	26.5	11.8	32.4	5.9
福祉学科	22	86.4	72.7	50.0	31.8	31.8	50.0	50.0	18.2	13.6	-
栄養学科	20	70.0	60.0	70.0	30.0	30.0	25.0	35.0	30.0	10.0	35.0
英語学科	8	62.5	50.0	87.5	12.5	62.5	25.0	25.0	-	-	25.0
観光文化学科	18	66.7	27.8	55.6	5.6	50.0	27.8	22.2	38.9	11.1	44.4
助産別科	2	50.0	100.0	100.0	50.0	50.0	100.0	-	50.0	-	-
生活創造学科	10	70.0	50.0	60.0	10.0	40.0	60.0	30.0	20.0	20.0	20.0
保育科	19	63.2	57.9	63.2	31.6	42.1	31.6	15.8	10.5	15.8	5.3

【学科別 仕事をする上で重要だと思うこと (2/2)】 (%)

	全体 (人)	7. 職業意識・勤労観	14. 表現力	11. 生涯学習力	17. リーダーシップ	9. 倫理観	6. 創造力	2. 社会参加意欲、市民性・公共性	13. 英語力	19. その他	無回答
全体	133	11.3	11.3	9.0	7.5	6.8	5.3	3.0	2.3	0.8	9.8
看護学科	34	17.6	11.8	5.9	5.9	8.8	2.9	2.9	-	-	2.9
福祉学科	22	13.6	-	9.1	13.6	-	9.1	4.5	-	-	9.1
栄養学科	20	5.0	10.0	15.0	5.0	5.0	5.0	-	-	-	10.0
英語学科	8	-	12.5	12.5	12.5	12.5	-	12.5	12.5	12.5	12.5
観光文化学科	18	11.1	27.8	-	11.1	-	-	-	5.6	-	16.7
助産別科	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	10	10.0	-	10.0	-	20.0	-	-	-	-	10.0
保育科	19	10.5	15.8	15.8	5.3	10.5	15.8	5.3	5.3	-	15.8

〔7〕大学時代で有意義だった授業

問 大学時代を振り返ったときに、有意義だったと思う授業がありましたらご記入ください。また、よろしければ理由をご記入ください。

大学時代に有意義だったと思う授業について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

(回答者数：78人/133人[58.6%])

【研究室・ゼミ、実習・演習・インターンシップについて】

学科	内容
看護学科	実習（看護）は大変ではあったが、学びが多く、今勤務する中での粘り強さは、このとき身に付けられたと思う。
	大学時代、実習で得た知識が現在の仕事に生かされていると思うことが多々あります。大変でしたが、良い経験だったと思っています。
	ゼミ活動（Iゼミ）で論文を書いたこと。保健のデータを分析する際やまとめて文章にするときに、その時の訓練が役に立っている。基礎看護学の演習は、協力したり患者のことを考えながら、働くことについて広く考えることができた。技術が身に付いてよかった。
	基礎看護・療養看護の演習はすごく良かったと思います。モニターで先生の模範技術をみたり、リアル感ある採血・注射・浣腸・導尿の演習など、充実した設備でした。おかげさまで看護師1年目は看護技術そんなに苦労することなくスムーズにできました。ありがとうございました。
	実習は講義では学ぶことができない、実際の現場で実践できるので、とても今も役に立っていて良かったです。
	4年時のゼミ。
	大学3年生～4年生にかけて行われた臨床での実習。 理由は、固定されたグループで約半年間実習を行い、チームで協力することや、責任感、コミュニケーション力が身についたと思う。
	実習。 直接、患者さんと触れ合うことができ、看護学生、看護師としての自覚をもつことができた。 また、働いている現在でも、忘れられない。
福祉学科	実習。
	ゼミ。仲が良く楽しかったので。
	大学1年での基礎実習は、方向性を決めるきっかけとなった授業であるため、有意義だったと感じています。
	ゼミの卒論。 先生や仲間と協力して作成したので、一つの物を完成させる達成感を味わう事が出来たから。
	基礎演習、保育実習、保育者理論など。 専門的知識を身に付けられた上、グループ討論では自己発信力や協調性が養われたと思う。
	実習に参加できる授業。 理由：実習に希望する職場を体験する事で、知識も増え業務内容も理解でき、仕事に就いた時のイメージもしやすいから。
	介護実習や病院実習。学内外でたくさんの人との交流を持つ事ができ、そのおかげで人の意見にしっかりと耳を傾けたり自分の考えを上手に伝えることを意識するようになったりとコミュニケーション力の向上を感じ取ることができました。

第1章 卒業生アンケート

栄養学科	調理実習、給食実習。 様々な献立にチャレンジでき、自分たちで作ったものを食べられるから。
	臨床栄養学、給食管理、実習。
	研究室、ゼミ活動。 ゼミの活動でお弁当を商品化し、スーパーに出したことです。献立を考え、お弁当箱をカタログから選び、みんなで1つの物を仕上げたことは、今の仕事にとっても活かされています。今の仕事で行事食の時、献立を考え、お弁当箱を選ぶこともしているので、Oゼミに入ってお弁当の商品化を学生のときに経験できて良かったです。
	調理実習。
	臨地実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（特にⅡの病院実習）。講義を受けるだけではなく、実際に現場を見て体験することが物事を理解する上でやはり大切だと思いました。
観光文化学科	Kゼミ。学生のうちから社会と関わることは、貴重であり、とても成長出来る。様々な力が身につく取組（れとろこまち、グリーンツーリズムなど）があり、Kゼミの活動は非常に有意義だった。
	フィールドワークをメインにした授業。 座学だけでは何の役にも立たないため。
助産別科	助産実習。助産技術を通して、大切な患者様と出会い、価値観の共有ができた事。また、協力を頂きながら助産というものを深めて行けた事に感謝の気持ちで一杯です。
生活創造学科	Kゼミでお菓子の家を皆で作った授業。チームワークが大切で楽しくやり遂げることができたから。
	調理実習・裁縫。 生きる力が身に付いたから。
	調理実習。
	調理実習。
保育科	ゼミの講義・・・課外授業など身近な素材を使った遊びや制作が印象に残っているから。
	実習・・・実践ができる。
	ゼミで自由に研究（教材作り）ができたことが良かったです。働きだすとなかなか、時間がとれないので、授業やゼミで作らせて頂けたことは、今となるととても有り難い時間だったと思います。
	ゼミ活動。実技的な授業。
	基礎実習。実際に現場に出ることで、学ぶことがたくさんあったから。

【パソコン、グループワーク・実験、マナー講座について】

学科	内容
看護学科	グループワークやプレゼンテーションのある授業。どんなに未熟でも意見を求められる場面はたくさんあるので。 心理学の授業や、外部講師の方のマナー講座など、患者さんに関わるうえで相手を考えるというのは大切だし、マナー講座も改めて大人になって習うことは少なく、社会に出てどれだけのスキルがあるか、どんな人間性を判断されるから。
福祉学科	授業ではないですが、大学3年、4年の実習報告会などは、パワーポイント、ワード、エクセルなど就職しても必要な知識を学べたのでよかったと思っています。今でもとても役に立っています。 実習前に単位を取らなければいけない「相談援助の～」のグループワークが良かった。また実習報告会も勉強になった。他の人の考えやいろいろな視点や物の見方を知る事ができた。職場で係を担当した後、自分や係を担当した職員、関わった人に反省を聞く事で改善点を見つける事ができる。 グループワークでも責任感やコミュニケーションチームワークの大切さを感じた。出題された課題も、定められた期限までに計画的に取り組んで完了させる大切さを学び、全て仕事につながっていると感じる。 ディスカッションが授業に多くありました。学生時は何でだろうとあまり必要ではないと感じていたのですが、就職し、人の意見を聞くこと、自分の意見を言うこと、そして話し合っていくうちに様々なアイデアが出てよりよい支援につながっています。
栄養学科	パソコンの授業は、業務する中でとても役に立っているなど日々感じていました。ExcelやWordの技術は、スムーズに仕事ができ色々な書類を作る点で有利な立場になりました。転職時もアピールポイントになりました。 レポートや報告書・プレゼン資料（パワーポイント）の作成など、パソコンの使い方に慣れていたもので、とても役に立ちました。
英語学科	空港ビジネス研究：社会に出てからも役立つビジネスマナーを学べた。→就活や働き始めてからも役立つビジネスマナーを学べたから。 ・マナーの授業（女性としてのマナーなど人としてためになった）。 ・ビジネスの授業（実際に社会で働いている人の話は面白かった）。
観光文化学科	パワーポイントを使ってプレゼンした授業、ワード・エクセルの授業。（全て仕事をする上で役に立っているから） 日本語（敬語）の授業やビジネスマナーの授業のおかげで社会に出ても恥をかくようなことが今までなかったし、目上の人やお客様にも不快感を与えることはその面ではなかったと思います。
助産別科	グループに分かれての学習や発表。 チームで働くための協調、協働が身につく、また自分達で考えまとめることで知識が理解できる。
生活創造学科	ワープロ検定を取得できたこと。 ワードやエクセルなどPCスキルが身につく授業がとてもよかった。現代社会人として必須のスキルだと思うから。 コンピュータを使った授業。 仕事上、常に使用しており、グラフや表を作成する上でとても助かっています。タイピングも早くなりました。 ワード・エクセル。 ビジネスマナーの基礎。 メールを送る際のマナーや、「CC」機能の説明。 自分がメール（PC）を使うことがあまりなく、職場で困ったから。 ワードやエクセルを学ぶ授業は、会社に入ってからでもすぐに使えるようなことを学べたので役立ったと思う。

第1章 卒業生アンケート

【資格、語学、留学について】

学科	内容
看護学科	英語。
英語学科	簿記：仕事上、簿記の資格が必要になってくるが大学の時に少し学んでいたことでイメージをつかみやすかった。→社会に出て役立つ（求められる）資格だから。
	ビジネス英語（実際、使用することはないが、仕事に必要なマナー等も勉強になった。）
	小学校の英語教育について学べてよかったなと思いました。子どもたち（中学生以下）に英語を教える職についた為、授業を自分たちで考えたりしてたことで、少し役に立った気がします。もっと学びたかった。
	英語の語学に関する授業すべて。 英語だけの授業（自分のためになる）。
観光文化学科	海外研修。 日本の良さを改めて感じたことや、海外と日本の違いなど、実際に行くことによって、日本では感じるできない体験や知識を身につけることができたから。
	今、振り返ると、すべての授業に意味があり、今に活かされていると感じます。私は、“観光文化学科”ですが、今は全く関係のない業種で働いています。しかし、社会人になって、頻繁に海外へ行くので、英語、中国語、韓国語といった外国語の授業が有意義でした。
	英会話の授業。
	海外留学。

【専門的な授業について】

学科	内容
看護学科	特にA先生の疫学保健統計やH先生の統計学は研究のときに役立ちました。授業で習った、勉強した知識・技術は、実習先で実際に使うことができたときに達成感がありました。就職後の実践に役立つ授業がよかったと思います。
	看護の授業はすべて有意義だったと思います。
	A先生の講義はとてもわかりやすく、また今につながっているため、よかったです。 また、ゼミなどで行った看護過程も学べることが多くよかったです。
	解剖学。看護学。
福祉学科	もう授業の名前は覚えていませんが、大学1年の授業で、コミュニケーションを取ることが目的の授業が楽しく授業出来た記憶があります。働きだしてからでも使えるような遊びだったり、ゲームをたくさんして、初めて会う大学の友達とコミュニケーションを取り交友を深めたのが印象に残っています。
	F先生（保育）の授業はとても実践的で、今の現場での必要なスキルにつながるものばかりでした。採用試験対策でもF先生、S先生にはとても、個別に指導していただき、感謝しています。
	相談援助授業。
	現在、保育士として働いているため、保育に関する授業は仕事にとっても生かされていると思います。

栄養学科	栄養士、管理栄養士として勤務している方に話をお聞きする授業は有意義だった。（その時は今ほど有意義な授業とは思えなかったが…）お話ししてくださる方は経験者が多かったが、新卒の方のお話もお聞きしたかった。 就職後も経験者の方と意見交換できる場があれば良いと思う。 応用栄養、基礎栄養など。 実習科目全般。
英語学科	英語音声学：似たような単語でも微妙な発音の違いがあり、その発音の違いを知れて勉強になった。→英会話で役立つから。 経済論（現在経済知識が必要な仕事なので、基本的な経済の流れや仕組が勉強になった。） ・教職の授業（役に立つ、実践的な事をたくさん学べた）。 ・日本語の教師になるための授業（Y先生の授業はどれも魅力的で、こんな先生になりたいと思った）。
観光文化学科	現代ビジネス人材論です。社会人になるにあたって、マナーや考えを学ぶことができたからです。また、言葉遣いを正確に知るために、秘書検定を受けるきっかけにもなったので、継続していただきたい授業です。インターンシップも面接時に話を興味を持っていただきました。 授業→チームで旅行を企画して学生の前で発表する授業はプレゼン、コミュニケーション等の力がついたと思います。またボランティアをして、チーム力がついたと思いました。 ・S先生の講義 ・ホテル ・F先生の国際関係論 ・情報パソコン ホスピタリティ。
生活創造学科	体育。
保育科	ピアノ・・・厳しくもその中にある優しさに励まされ、今でも頑張ることができました。今でもピアノの先生と交流があるので頼れる存在です。 どの授業だったか覚えていないのですが、モンテッソーリの教具に触れた授業がありました。学生の頃は就職できるのかが不安でモンテッソーリやよこみね式保育などあまりわからないので、専門的なことも理解できる場があればと思います。 パネルシアターやエプロンシアターや手遊びはとても役に立ちました。就職すると作る時間が全くないため短大の時に作っておくべき！！ こどもの保健→人形を使い実践したり、子どもの病気や役立つおもちゃ等、幅広い知識を得ることができた。 発達心理学・心理学。 好きな分野だったため、学んでいて有意義だと思った。 ピアノの授業です。 ピアノが苦手でしたが、大学の2年間で繰り返し練習したり、保育現場で使う歌を練習したりしたことで、今の保育士という仕事をするうえで身につけており、とても役に立っているからです。 子どもの保健はもっとちゃんと勉強しておけばよかったーと思った。もらったレジュメは今でも全部とっている。リトミックや手遊び絵本100冊リストもその当時は本当に嫌だったけど今とても役立っている。

【その他について】

学科	内容
看護学科	私は欲張りな性格なので、空き時間を埋めるようにたくさんの授業を受けていましたが、どの授業も有意義だったと思います。
福祉学科	どの授業も有意義であったと感じています。日々、業務にあたっている中でも、大学で身につけた考え方や姿勢というのは重要で患者さんや利用者さんと関わる中で私の1つの大事にし続けているところです。
観光文化学科	講義名忘れまして・・・。企業やOGが来て講演する授業です。企業・社会人とは何かを知ることのできる貴重な授業でした。

〔8〕大学の講義以外で希望する支援・経験

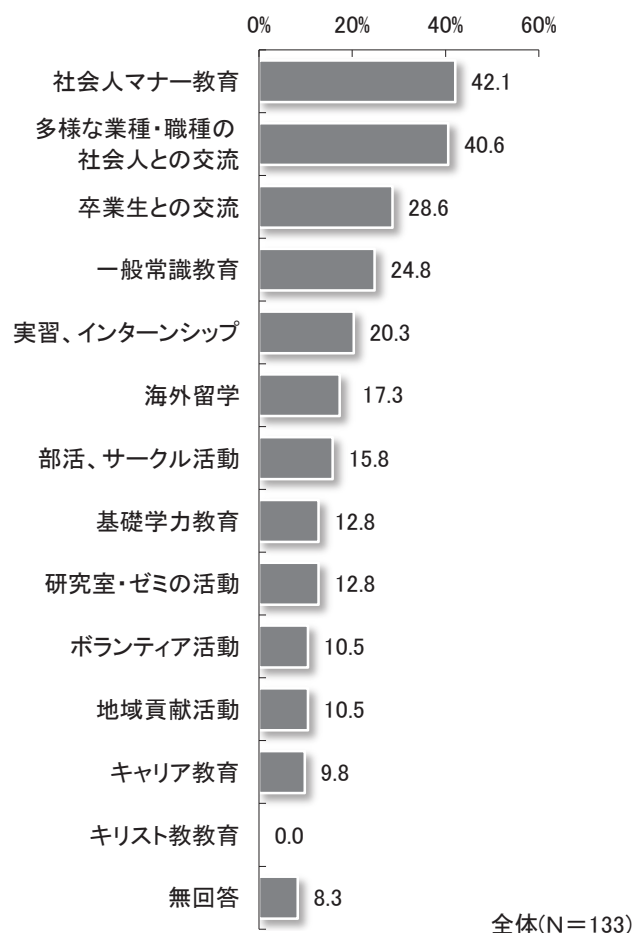
問 大学に対して講義以外でもっと支援してもらいたかったこと、経験したかったことに○をつけてください（5つまで選択可）。

また、具体的な内容があればご記入ください。

大学に希望する支援・経験は、「社会人マナー教育」（42.1%）が最も多く、次いで「多様な業種・職種の社会人との交流」（40.6%）、「卒業生との交流」（28.6%）となっている。

学科別にみると、福祉学科では「多様な業種・職種の社会人との交流」、英語学科では「一般常識教育」、観光文化学科では「部活、サークル活動」を希望する人がそれぞれ他学科に比べ多くなっている。

【大学の講義以外で希望する支援・経験】



【学科別 大学の講義以外で希望する支援・経験 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	社会 人マナ ー教育	多様な 業種・ 職種の 交流	卒業生 との交 流	一般常識 教育	実習、 インター ンシ ップ	海外留 学	部活、 サークル 活動
全体	133	42.1	40.6	28.6	24.8	20.3	17.3	15.8
看護学科	34	35.3	44.1	44.1	29.4	20.6	5.9	20.6
福祉学科	22	50.0	59.1	22.7	13.6	9.1	22.7	9.1
栄養学科	20	60.0	30.0	40.0	20.0	25.0	10.0	10.0
英語学科	8	62.5	37.5	25.0	50.0	25.0	37.5	－
観光文化学科	18	27.8	33.3	11.1	27.8	33.3	38.9	44.4
助産別科	2	－	－	－	－	50.0	50.0	－
生活創造学科	10	40.0	40.0	40.0	20.0	30.0	20.0	10.0
保育科	19	36.8	36.8	10.5	26.3	5.3	5.3	5.3

【学科別 大学の講義以外で希望する支援・経験 (2/2)】 (%)

	全体 (人)	基礎学 力教育	研究 室・ゼ ミの活 動	ボラン ティア 活動	地域貢 献活動	キャリア 教育	無回 答
全体	133	12.8	12.8	10.5	10.5	9.8	8.3
看護学科	34	23.5	20.6	5.9	5.9	5.9	5.9
福祉学科	22	9.1	4.5	18.2	18.2	4.5	4.5
栄養学科	20	5.0	10.0	10.0	15.0	10.0	5.0
英語学科	8	－	25.0	12.5	12.5	25.0	－
観光文化学科	18	27.8	16.7	16.7	22.2	22.2	－
助産別科	2	－	－	50.0	－	－	－
生活創造学科	10	10.0	10.0	－	－	10.0	10.0
保育科	19	－	5.3	5.3	－	5.3	31.6

第1章 卒業生アンケート

大学の講義以外で希望する支援・経験の具体的な内容について自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

(回答者数：39人/133人[29.3%])

学科	内容
看護学科	基本的に満足していましたが、強いて言うなら学費のことで更衣室（ロッカー）がプレハブで夏は暑く冬は寒かったことです。
	働く上でどれも重要なことだと思う。（11, 12）
	⑬は秘書検定等役立っているが、もっと深掘して学びたかった。
	⑧実際に卒業生がどんな風に働いているかなど聞いてみたかった。
	⑦経験していたら自分の経験値やスキルアップにはつながったと思うから。社会人になってからは、なかなか難しいから。
	実際に働いたことのある卒業生に職場の雰囲気を知らずの時間がもう少し欲しかった。（職活の際に情報を活用できる）
	看護師という職業柄、他職種との連携を多く取らなければならない場面があるため、チームの一員として働くという意識づけができるような授業があったらよかったかなと思います。
	就職後の論文作成で社外の教授の方などとメールや電話で指導をいただくことが多く、マナーについて考えることが多かったため。
	実習を看護だけではなく、（←充実していました）、子どもとより多くかわりたかった。（女性としての品格を身につけるようなこと（茶道、着付け、華道など）障がい者など またカウンセリング技術、臨床心理士が実際カウンセリングしている所をみて学びたかった。
福祉学科	保健師系の講義をもっと受けたかったです。市町村が多かった印象があるので、産業をもう少し学習したかったです。
	もっとたくさんの人と関わりコミュニケーション力を高める機会があればよかったなと今は感じています。
	看護師は国試の勉強を臨床現場で十分に発揮できず、大学での講義内容も国試対策にはなるが、働き出して上手く活用できない。そのため、卒業生らの交流を通して学生のうちに学ぶものを教えてもらいたい。
	電話の取り方、来客対応など。
	働きはじめて、色々な業者の方と接する事が多く、こんな職業があるのだと気づくことが多かった。専門職の知識を身に付けることが中心になりがちな大学生活の中で、多くの職種に出会うことで、自分に合った働き方の仕事や、やりたい仕事を見つける事が出来るのではないかと思った。また、卒業生のリアルな話（大変なこと、きついこと、やりがいなど）を聞くことである程度の覚悟をもって働くことで離職したり、想像と違ったと思うことがなくなるのではないかと思う。海外留学は、ただ私が1度はしてみたかった事で、英語学科でなくても行きやすい環境がもう少しあれば嬉しいなと思った。
	福祉に関する支援はたくさんしていただきました。しかしもっと他職種や幅広い教養を身に付けるための支援があればと思います。（自分が気づかなかっただけかもしれませんが）
	これから社会に出ていくことに対しての視野をもっと広く持てるような取り組みをしてもらいたい
	地域貢献活動をもっとアピールしていくことにより、より多くの地域の方に西南女学院の良さを知ってもらえると思います。
	講義、知っている人とのディスカッションももちろん必要ですが、様々な職の人との関わりがもっとあれば良いと思いました。話し合うことで更に勉強になるので。

栄養学科	卒業の進路について、具体的なことを知りたかった。一般企業に就職した先輩の話も聞いてみたかった。
	専門分野の勉強が多かったので、一般常識など企業で働く為の勉強があったらよかった。
	病院、施設、保育園、企業と栄養士は就職先が様々で、実際どんな業務をするのか調べるよりも卒業生の生の声を聞いて、自分に合う場所を選べるような機会があれば良いと思った。（就職前に）
	有難いことに、大学や先生方に与えていただくことがほとんどだったので、自分で調べ発表する機会がもう少しあれば積極性を持てたのではないかなと思う。
	私は委託給食会社に就職し、今老健にいます。委託なので食事を出すときだけしか他の職員と関わることがないので、もっと他の業種がどのような仕事をしているのか知りたいなと思いました。知ることにより、厨房側が介護士の負担を減らせるようなことが出来るのではないかと思います。
	実習期間や回数、行った施設が今思い返すと少なかつたし、短い期間でした。社会人マナーなどは本などから知識を取り入れることは出来ますが、実際に行動するのは難しい。もっと幅広い年代と交流したかった。
英語学科	卒業生に実際どんな仕事をしているのか、その仕事はどうか、どれだけ負担があるかなど、働いてみないと分からないことを聞いてみたかった。
	ビジネスマナー等、社会的一般常識
	社会人になって支払わなければいけない税金についてや、保険について学んでおきたかったと思った。ビジネスマナーや文書の作り方、言葉づかいなども学んでおきたかったと思った。
	貿易関係の資格に関わる授業（貿易実務検定）をもっとすすめた方が、就職活動する際、視野が広がり、具体的なビジョンがみえてくると思います。秘書検定などは、あまり重視されない気がします。
観光文化学科	部活やサークル活動をしたかったが、あまり活動していない（まず部員がいらない）様子で、結局どこにも入れなかったのが残念でした。
	1→入りたい！と思う部活、サークルがなかった為アルバイトしかしてない。学生としての思い出があまりない。
	5、6→とても良い事をしているので大学ももっとフォローをしてくれればやりやすいと思う。（ミャンマーのボランティアの時もあり大学の協力がなかった…。）
	十分にさせて頂きました。
	授業は大変有意義でしたが、就職活動において企業さんが重要視する、ボランティア、地域貢献などの支援がもっと欲しかったです。
	就職対策授業を全般的に増やして欲しかった。 ・様々な職種の人話を聞いて、色々な働き方を知りたかった。 ・自分の考えや学んだことをアウトプットする機会が少なかったため、プレゼンやディスカッションする講義を増やして欲しかった（入社してから苦労しました）。
助産別科	実習で実際の患者さんやスタッフの方に関する機会がもっと多い方が、知識や実技が身につくと思うため。
	助産は1年で短期であるため難しいと思うが、海外の助産というものも知りたかった。
生活創造学科	電話の取り方など、社会人マナーをもう少し勉強したかった。
保育科	インターシップで色々な園を訪問できると良いなと思う。
	言葉づかいや敬語・パソコン
	保育科はとくに、専門職になるためオフィスワークをする時のための知識など学ぶ機会が少なかったと思った。
	社会人としてのマナーいろいろと学んでおけば自分で気をつけられる。 電話対応、大人と会話する時気をつけるポイント。

〔9〕大学に対する意見・要望（自由意見）

問 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

大学に対しての意見や要望について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

（回答者数：35人/133人[26.3%]）

【大学への感謝について】

学科	内容
看護学科	就職してからもゼミの先生や実習先の先生などとのつながりがあったり、案外西女の先輩が職場にいたりして、とても有難く思っています。大学ですごした4年間は、私にとってすごく特別で貴重な時間でした。実践的な学びが多くあり、エクセルや差し込み印刷等々、パソコン関係について職場で困ることはほとんどありませんでした。大学で出会った全ての方に感謝しています。
	たくさん迷惑かけたり心配させたり…の5年間でしたが、見放さずに指導してもらえて今もまだ看護師できています。 きついこともあって保健師とるのもどうしよう一みたいな時もあったけど、今社会に出て看護師×保健師もっていてよかったなーって思います。ありがとうございます。
	就職活動の際、先輩方の体験談の記録があり、非常に助かりました。就職課の方々が親身に一緒に考えてくださり、とても感謝しています。誠にありがとうございました。
栄養学科	失業した時も、求人情報を提供してくれたり電話してくれて大変心の支えになりました。卒業後もフォローしてくれた本学の就職課に感謝しています。
	就職支援に関しては、親身になって対応してく下さり、とても頼りになった。ありがとうございます。
英語学科	4年間本当にお世話になりました。西女に入学して本当に良かったです！どこの学校よりも先生と学生の距離が近く、1人1人にしっかりとサポートしてくださる学校だと思っています。今、仕事を頑張って、何らかの形で恩返しできたらと思っています。育ててくれありがとうございます。
観光文化学科	在学中は大変お世話になりました。ありがとうございます。
	私が思うのは、一番辛い就職活動の時に西南女学院の就職課の方が本当に親身になって相談にのってくれることが素晴らしいということです。他の大学では、人数が多いということもあり、1対1での相談はほぼできないと聞きました。西南女学院はそこが強みなので学生たちの希望や夢をこれからも実現させてほしいと思います。
	いい学校！！
助産別科	西南で学び助産師になれて本当によかったです。
保育科	ありがとうございます。
	西南で出会った先生たちの授業や言葉などが今でも残っていて、仕事や自分の人生を歩んでいくうえで、とても役に立っています。西南を選び、学べて本当に良かったなど、社会に出てから感じています。ありがとうございます。

【先生への感謝について】

学科	内容
看護学科	どの先生も1人1人の子供をよく見て下さっていて、今でもあの大学でなかったら、資格を取れていなかった。今の仕事に就くことは出来なかったと思います。偏差値は低いかもしれませんが、その分学生の間に先生方が沢山フォローしてくれて、本当に感謝しています。ありがとうございました。
栄養学科	ゼミの先生も卒業後も交流があり、栄養士の不安などあったら相談できる環境で卒業後も信頼しています。
英語学科	4年間楽しかったです。大学で学んだことは今、特に活かせる仕事ではありませんが、学生生活は楽しかったです。Sさんありがとうございました。今とっても楽しく働いてます。

【アンケートについて】

学科	内容
保育科	このアンケートの質問（VI）がわかりづらく記入しにくかった。

【在学生（実習生）へ】

学科	内容
福祉学科	私は、福祉学科子どもコースを卒業しましたが、現在医療事務として3年目になります。入学当初から今の生活は全く想像していませんでしたが、自分に合った働き方が出来ているのではないかと思います。やりたいことを仕事にしているわけではありませんが、プライベートとのバランスが取れていると思います。大学生活も楽しく過ごしていた方だと思っています。勉強はあまりまじめにはしていませんでしたが、色々な経験をさせてもらえる学科だと思います。 何か後輩の皆さんの職探しにアドバイス出来る事はほとんどないと思いますが、悩みが少しでも軽減できるような話しは出来るかもしれません。私みたいな元気だけで過ごしているような者がお力になれることがありましたら、なんでもご協力致しますので、よろしくお願いします。 ※あと2年くらいは働いている予定です。

【大学への要望】

学科	内容
看護学科	6号館1Fプレハブロッカーに放送が流れるようにしてほしいかったです。あと、冷暖房…笑 先生から学生への一方的な授業が多く、“自分で考える”という習慣が身に付きにくい環境だった。社会に出てからは、自分の意見や考えを明確にして人に伝える能力が必要だと思う。それは、大学生のうちから、意識した訓練が必要。私が受けてきた講義は、教科書の理解やテスト内容の対策は出来るが、人対人となったときに自分の考えを伝える、まず自分で考えてみるという思考力が育たないと思った。
福祉学科	保育実習では、実習日誌や指導案の記入の仕方を教われれば有難かったと思う。 よくしていただいたと思います。たくさん迷惑もおかけしました。申し訳ございませんでした。 社会福祉の資格、試験の対策はもう少ししていただいた方が良いかもしれません。私は落ちたのですが、社会人になるとなかなか勉強ができないので…（今も勉強中です！）
栄養学科	エクセル・ワード・パワーポイント活用することが多いので、基礎から応用まで出来た方が良いと思う。（自分は高校生の時に学んでいたもので、今は活かしていますが…。） 生化学は栄養組成を理解する大切な知識なのに、授業内容は全く理解させる気が感じられなかった。もっと改善を。

第1章 卒業生アンケート

英語学科	(キャリア教育?) 秘書検定合格を目指すセミナーに参加し、ビジネスに必要な一般的マナーや知識等を学び、仕事で書類作成等で、役立ったと感じる。有料だったので、講義等にとり入れた方が、皆学べるので良いのではないかと思う。
	児童英語教育関係の資格をとりたくて通ったが、そのような案内が全くなかったの、教えてほしかったというのもあったし、入学前の説明会でそのような資格をとれるとうかがって入学したが、そういうものがなくてショックを受けた。中高以外の先生になりたい子もいるかもしれないので、案内等があると嬉しいかもしれない。
	大学3年時に大体の希望する業種を学生が決めて、それに向けた業種、業界の情報を各個人調べさせて、資格取得支援をもっとすすめた方がいいと思います。大学時、なんとなく秘書検定をまわりが受ける理由で取得しても、その後の社会でどのようにポジションわけされるか分からず不安だったので、実際、その資格を取得して社会で働いている卒業生へのアンケート、講義を開催してほしいです。
観光文化学科	「頭が良い＝仕事ができる」というのはありえないと仕事をして思いました。(ゼロパーセントとは言いませんが…) 大勢の前で発表する、チームで動くなどの実践的な授業がもっと増えればと思います。
	先生によって講義スタイルは様々だが、フィールドワーク、実践型重視で取り組んで欲しい。キリスト教学の必修・チャペル1年の必須参加は…。
	社会人になって、他大学出身の同期を見て感じたのは、学力の差ではなく、思考力や表現力、コミュニケーション能力の差でした。大学でこれらの力を高めるような講義を取り入れて欲しいです。
助産別科	1年間のため、たくさん学ぶことが多いので、毎日あつという間だった。提出物の期限(時間)がきっちりとしていなかった。(学生が)もう少し厳しくまもるように出来たほうが就職した際に役立つと思った。
保育科	保育科だったが一般企業に就職した為就職課はとても役に立った。一般企業を希望する生徒のみを集めて履歴書や面接等の支援があると生徒の選択肢も増えて自身にもつながると思う。
	現場での経験の積み重ねが大切な職種なので、現場での経験がない先生の講義は、働き始めてむしろ間違っているなァーと思うこともありました。資格が取れたことやいい友達ができたことは良かったと思うけど、もっと机上で研究ばかりしている先生よりも現場で働いている先生から教わりたかったし、その方が絶対将来役立つものになったと思います。今幼稚園で働きたいと思ってくれる学生さんが少なく採用が決まらないみたいなので、幼稚園のことも推してほしいです!!

【今の就職について】

学科	内容
生活創造学科	お久しぶりです。 おとしの5月から転籍で埼玉の関連病院で働いています。立ち上げに携われているので、水巻病院に就職できて本当よかったです。また、北九州に帰省した時は、顔だしに伺います。お体に気をつけてがんばって下さい。また、会えるの楽しみにしています。

【その他】

学科	内容
看護学科	全く別件ですが、養護教諭二種免許、第一種衛生管理者免許の申請をしようと思っています。 必要な書類等あれば教えて下さい。
栄養学科	アンケート調査の提出が遅くなり、大変ご迷惑をおかけしました。 申し訳ございませんでした。
生活創造学科	生活創造学科、とても好きだったので無くなるのが本当に寂しいです。
保育科	この前は、たくさんおはなしできて楽しかったです！！私は3年で転職を考えてますが…こんな私でよければ何か力になれる事があればお手伝いしますー！ Sさん、この前会えなかったからまたあいに行きます！ 転職の事で相談したいです…

3. 調査結果のまとめ

ここでは、これまでにまとめた選択肢ごとの分析結果をはじめ、平成28年度に実施した卒業生アンケート（以降、「前回調査」と表記）、平成29年度に実施した在学生に対する学生生活に関する実態調査（以降、「学生調査」と表記）の結果を参考に、特徴がみられるものについて抜粋し、卒業生アンケートの総括とする。

▶現在の仕事について

<就業状況、業種>

2015年3月卒業生の2017年12月時点の在職状況は、92.5%が就労中、未就労は7.5%にとどまる。未就労の理由としては「家事・子育て」（60.0%）が最も多い。

卒業生が勤務先で携わっている主な職種を学科別にみると、看護学科は「看護師」（80.6%）、福祉学科は「保育士」（28.6%）、栄養学科は「管理栄養士」（56.3%）、英語学科は「事務」「営業」（37.5%）、観光文化学科は「事務」（43.8%）、生活創造学科は「事務」（70.0%）、保育科は「保育士」（42.1%）の割合が高く、それぞれ学科の特性を活かした業種に就いている様子が見える。

また、在学生に対して尋ねた学生調査と比較すると、将来進みたいキャリアとして、看護学科で「看護師」、福祉学科で「保育・子ども・学校・教育系」、栄養学科で「食・栄養系」、保育科で「保育・子ども系」等が高くなっており、学生時代の希望と実際の進路が一致していることから、概ね卒業生が希望の進路に進んでいることが分かる。

一方、転職の状況について、現在の勤務先が卒業時と変わっていない人が75.6%、転職した人が20.3%となっているが、栄養学科では転職した人が37.5%と他学科に比べ高く、前回調査からも引き続き転職率が高い傾向を示している。

また、「転職した」に着目して前回調査と比較すると、全体で14.8%から20.3%と5.5ポイント増加している。学科別にみると、看護学科や英語学科、観光文化学科、保育科で転職した人の割合が高くなっている。

【現在の勤務先を「転職した」の割合】

	全体	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	助産	生活創造	保育
今回調査 (N=123)	20.3	22.6	9.5	37.5	12.5	18.8	0	10.0	26.3
前回調査 (N=128)	14.8	6.5	20.0	35.7	0	12.5	0	15.4	0

<雇用形態、勤務先の満足度>

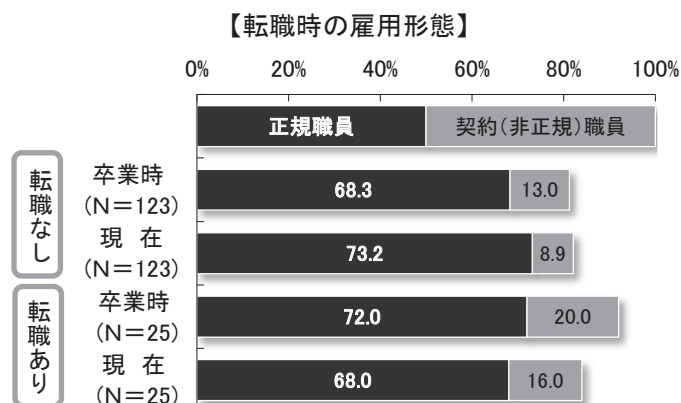
卒業時の雇用形態をみると、無回答が多いため傾向をみる程度となるが、正規職員の割合が全体で68.3%であるのに対し、保育科で52.6%、栄養学科で56.3%と他学科に比べ正職率が低い様子が見える。ただし、福祉学科や保育科では卒業時に非正規職員であったのが、現在までに正規職員となる人が増える傾向にある。

現在の勤務先の満足度をみると、満足している人は全体で43.1%となっており、満足していない人（12.2%）を上回っている。福祉学科や生活創造学科の満足度が6割～7割と高い一方で、英語学科では「満足していない」が25.0%と満足度にばらつきがあり、学科・職種によって満足度に差が出ていると考えられる。

＜転職＞

転職しなかった人は、卒業時から現在までに正規職員への登用がやや増加している（卒業時 68.3%⇒現在 73.2%）。

一方、転職した人は、卒業時よりも「正規職員」「契約（非正規）職員」の割合は微減し、「パート・アルバイト」の割合が微増している。正規職員については、転職した人よりも、転職せずに継続して働いている人の方が正規職員の登用率がやや高い傾向にある。



転職した理由について、少数ではあるが傾向をみると、前回調査では「仕事内容」と「人間関係」が主な理由であったのに対し、今回調査では「仕事内容」の割合が減少し、「将来性」や「給与」の割合が高まっている。

転職理由は職種や職場環境によって大きく異なると想定されるが、「福利厚生」や「休日」、「勤務地」などの理由よりも、仕事内容や人間関係、将来性、給与など、長期的な視点でみた時の働きやすさを重視する人が多い様子が見える。

【転職した理由】		
	今回調査 (N=25)	前回調査 (N=19)
1位	仕事内容 (44.0%)	仕事内容 (52.6%)
2位	人間関係 将来性 (ともに 36.0%)	人間関係 (31.6%)
3位	給与 社風・職場の雰囲気 (ともに 32.0%)	休日 社風・職場の雰囲気 将来性 (ともに 26.3%)

▶就職全般について

就業状況や雇用形態、勤務先の満足度から、大半の卒業生が正規職員で採用され、一定数の転職希望はあるものの、現在の職場には概ね満足している卒業生が多く、卒業時から転職せずに現在の職場で経験を積んでいる様子が見える。

在学生に対する学生調査の結果と関連付けてみると、もともと本校の志望理由として「就職や将来のことを考えて」進学先に選んだ学生が多く、最終学年の在学中の進路支援体制に対する満足度は約7割、また在学中に希望した進路に実際に進んでいる卒業生が多いことを踏まえると、大学から就職までは比較的スムーズに移行できていると考えられる。そうした意味で、入学時の「就職に役立つ」という目的は一定達成しており、将来の進路が明確な学生ほど、就職先でさほど大きなギャップを感じていないと考えられる。

また、学生調査によると、在学中に就職活動をした（している）学生のうち、約半数が「一定の段階で転職も考える」と回答していることから、転職については抵抗がない学生も多いと考えられるが、実際に社会に出て転職する人は全体の2割、そのうち就職後3年以内に転職する人が多くっており、3年を過ぎると概ね職場に定着してキャリアを積む人が増えると考えられる。

▶大学・短期大学部で受けた教育について【大学・短期大学部での達成度と仕事上における必要性】

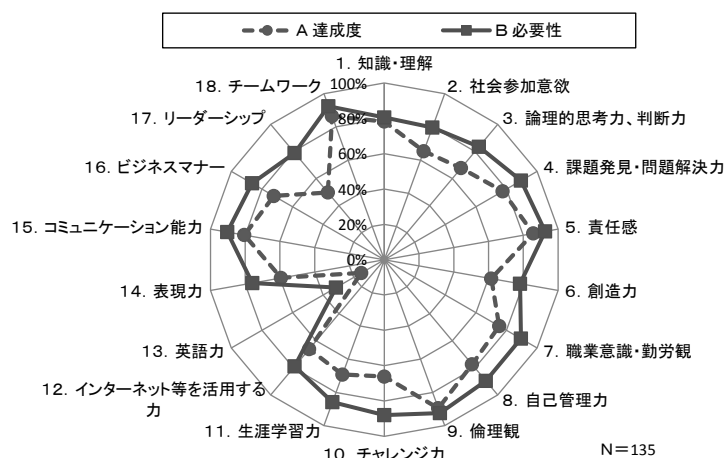
<達成度と必要性>

大学・短期大学部で得た力やスキルを【達成度】（「身につけている」+「ほぼ身につけている」）、現在の仕事において必要な力やスキルを【必要性】（「役に立つ」+「やや役に立つ」）として分析した。

達成度は、「倫理観」や「チームワーク」、「責任感」、「コミュニケーション能力」、「知識・理解」の順に高く、概ね前回調査と同様の結果となっている。これら達成度が高い項目については達成度と必要性の差が小さく、大学・短期大学部で身につけた力が仕事上において大いに役立っていると考えられる。

一方、必要性が高いのに対し、達成度が低い項目は「リーダーシップ」や「チャレンジ力」で差が大きく、自主性が求められる分野の達成度が低いと感じている卒業生が多く見られる。

学科別に達成度と必要性のギャップ（＝必要性が高いのに対し、達成度が低い）をみると、看護学科、福祉学科では「リーダーシップ」、英語学科では「コンピュータやインターネットを活用する力」「ビジネスマナー」、観光文化学科では「コンピュータやインターネットを活用する力」「リーダーシップ」、生活創造学科では「職業意識・勤労観」「ビジネスマナー」「リーダーシップ」、保育科では「表現力」等でギャップが大きい。なお、栄養学科については達成度と必要性のギャップが比較的小さい傾向にある。



<達成度と必要性のギャップ（前回調査との比較）>

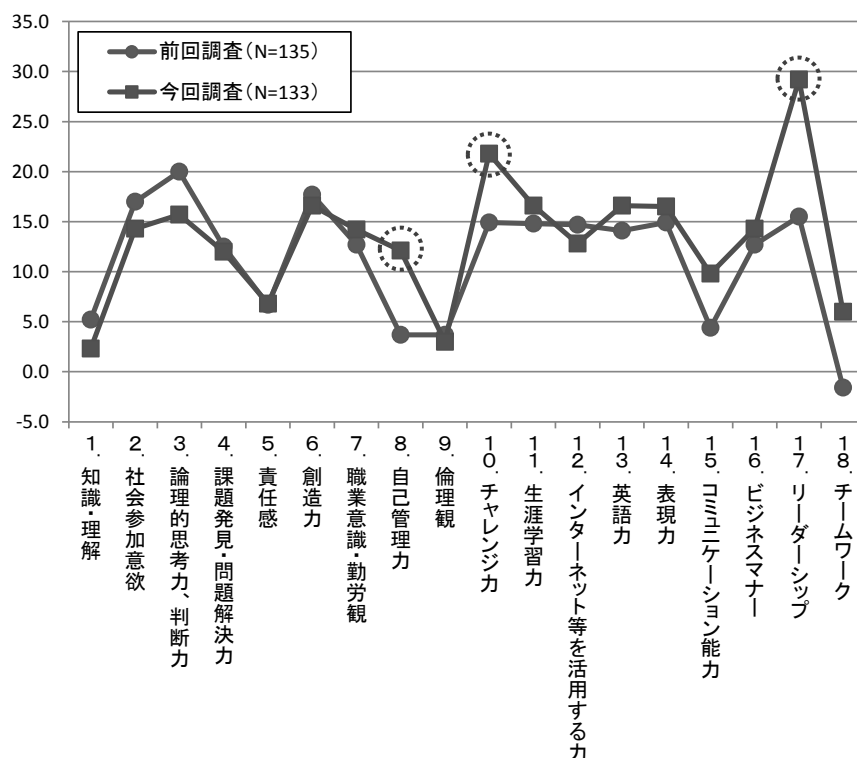
達成度と必要性のギャップ（＝必要性が高いのに対し、達成度が低い）について前回調査と比較を行った。

図のように、前回調査と今回調査で差が大きいほど、達成度と必要性のギャップが大きくなっていると考えられる。

前回調査と比べると、「リーダーシップ」（13.7ポイント）、「自己管理能力」（8.4ポイント）、「チームワーク」（7.6ポイント）の差が大きくなっており、前回調査よりも求められる必要性に到達できていないと考える卒業生がさらに増えている。

「論理的思考力、判断力」や「社会参加意欲」等ではギャップが小さくなっているが、総じて前回調査よりもギャップが大きくなっている項目が目立つ。

【達成度と必要性のギャップ前回調査との比較】



＜能力やスキルを身につけるために役立ったこと＞

能力やスキルを身につけるために役立ったこととして、多くが大学での講義となっている。特に「知識・理解」や「インターネット等を活用する力」、「表現力」については大学での講義を挙げる人が多い。

一方、「チャレンジ力」や「リーダーシップ」、「チームワーク」については研究室やゼミ活動で培い、「責任感」は実習・インターンシップで、「コミュニケーション能力」や「ビジネスマナー」はアルバイトが役立ったと感じている。このように、大学の講義だけでなく、ゼミ活動や実習、アルバイトなどを通じて必要な能力やスキルを習得している様子が見える。

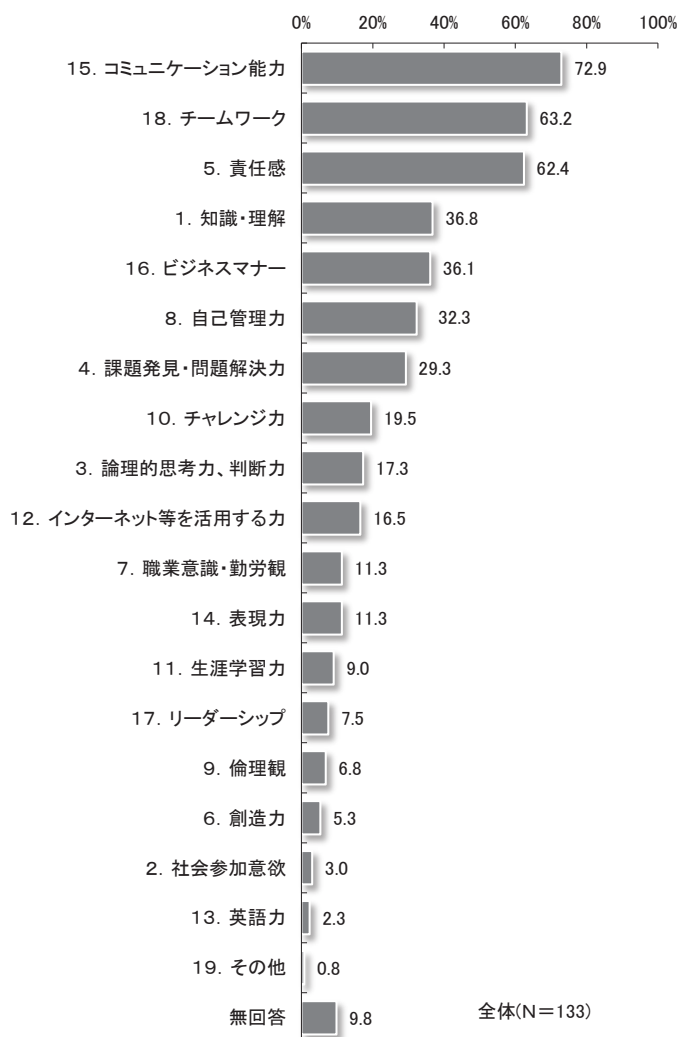
また、社会で必要とされる能力やスキルに対し、卒業生が特に達成度が低いと感じている「リーダーシップ」や「チャレンジ力」については、在学中の研究室やゼミ活動での習得率が高いため、今後はこうした社会で必要とされる能力やスキルの習得を意識した指導が必要だと言える。

＜仕事をする上で重要だと思う事＞

仕事をする上で重要だと思う事については、「コミュニケーション能力」や「チームワーク」、「責任感」が上位に挙げられた。これは、大学・短期大学部で身につけた力やスキルにおける達成度が高い項目とも一致しており、大学・短期大学部で学んだことや経験したことが仕事をする上でも役立っていると考えられる。

また、前回調査においても同様の結果となっており、「コミュニケーション能力」と「チームワーク」、「責任感」は職場や職種に関わらず仕事をする上で特に重要視されていることが分かる。

【仕事をする上で重要だと思う事】



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

1. 調査の概要

調査対象者	2017 年 3 月卒業生 就職受け入れ事業所
調査方法	郵送配布・回収
回収数	186 事業所
調査時期	2017 年 12 月 1 日～2017 年 12 月 26 日 ※2018 年 3 月 15 日までに大学到着分まで集計に含む
回収率	下表の通り

	依頼事業所数	回答事業所数	回 収 率
看 護 学 科	36	16	44.4% (69.2%)
福 祉 学 科	66	42	63.6% (62.7%)
栄 養 学 科	69	41	59.4% (67.7%)
英 語 学 科	30	12	40.0% (48.4%)
観光文化学科	43	20	46.5% (61.4%)
助 産 別 科	11	4	36.4% (54.5%)
全 体	255	135	52.9% (62.5%)

()内は前年度回収率

	依頼事業所数	回答事業所数	回 収 率
生活創造学科	23	12	52.2% (41.4%)
保 育 科	59	39	66.1% (66.7%)
全 体	82	51	62.2% (59.6%)

()内は前年度回収率

【調査結果の見方】

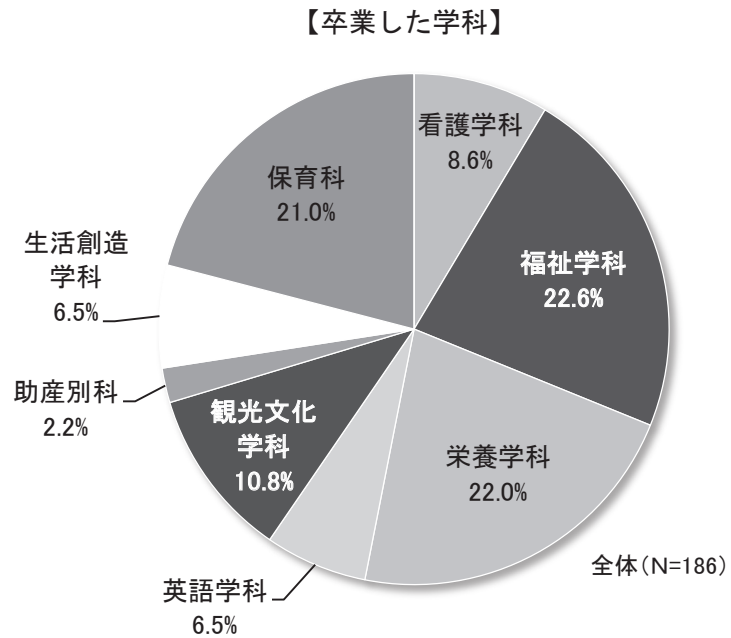
○回答は、原則として各質問の調査数を基数（N）とした百分率で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。

○学科別クロス集計等において、基数（N）となる調査数が少数となるため、コメントは参考程度に留めるものとし、結果の精度には注意を要する。

○本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「第3章 調査票」を参照のこと。

2. 調査結果

〔1〕回答者について



〔2〕仕事に必要な能力

①必要性和達成度（全体）

問 下記の項目の仕事に必要な能力に関して、A、B、Cそれぞれ該当する番号に○をつけてください。

就職受け入れ先からみた、現在の仕事においてのスキルや能力について、全体的にほとんどの項目は『必要である』（必要である＋やや必要である）とされており、なかでも「15. コミュニケーション能力」「9. 倫理観」（94.6%）が上位に挙げられている。また、「必要である」の割合に着目した場合、「8. 自己管理力」「5. 責任感」（86.6%）も必要視されている様子がうかがえる。

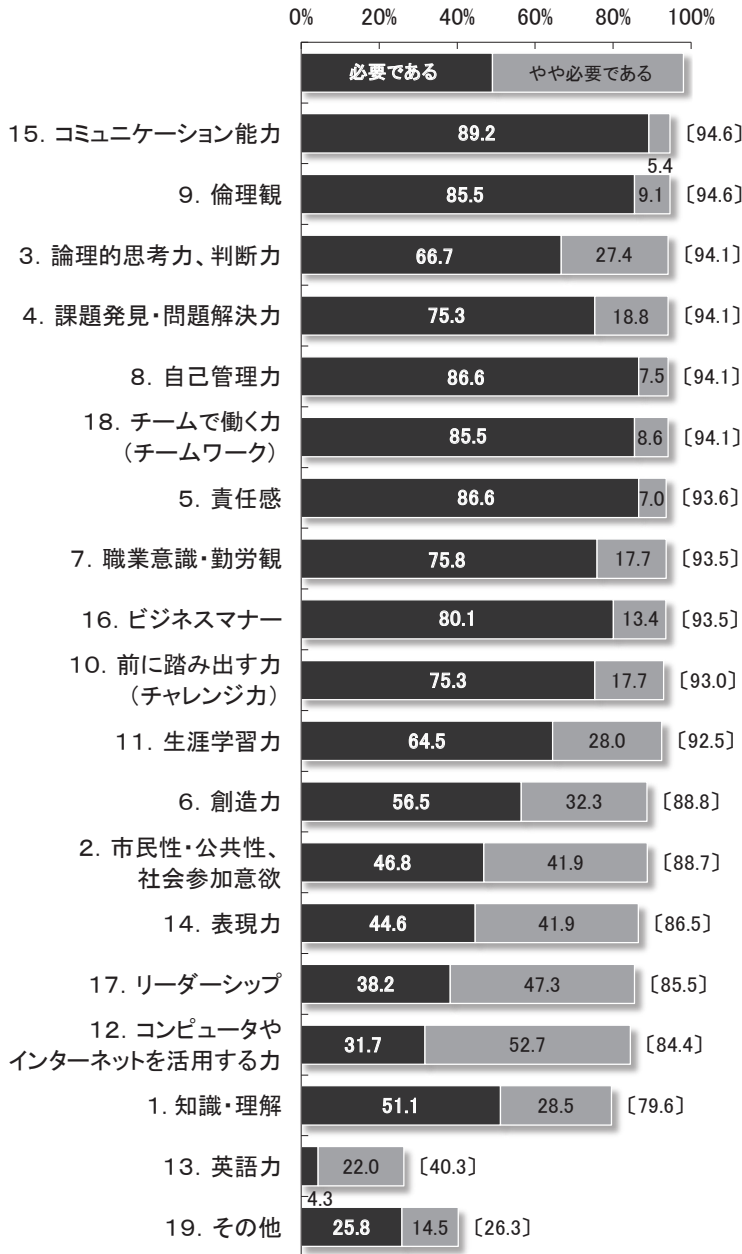
一方、卒業生の力やスキルが『身についている』（身についている＋ほぼ身についている）と評価されている項目をみると、「9. 倫理観」（85.0%）が最も多く、必要とされる能力・スキルと一致している。しかし、求められる能力に対し、卒業生の達成度は総じて低い傾向にあり、特に「3. 論理的思考力、判断力」「4. 課題発見・問題解決力」では必要性が高いものの達成度が低く、その差が大きくなっている。

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【仕事に必要な能力】

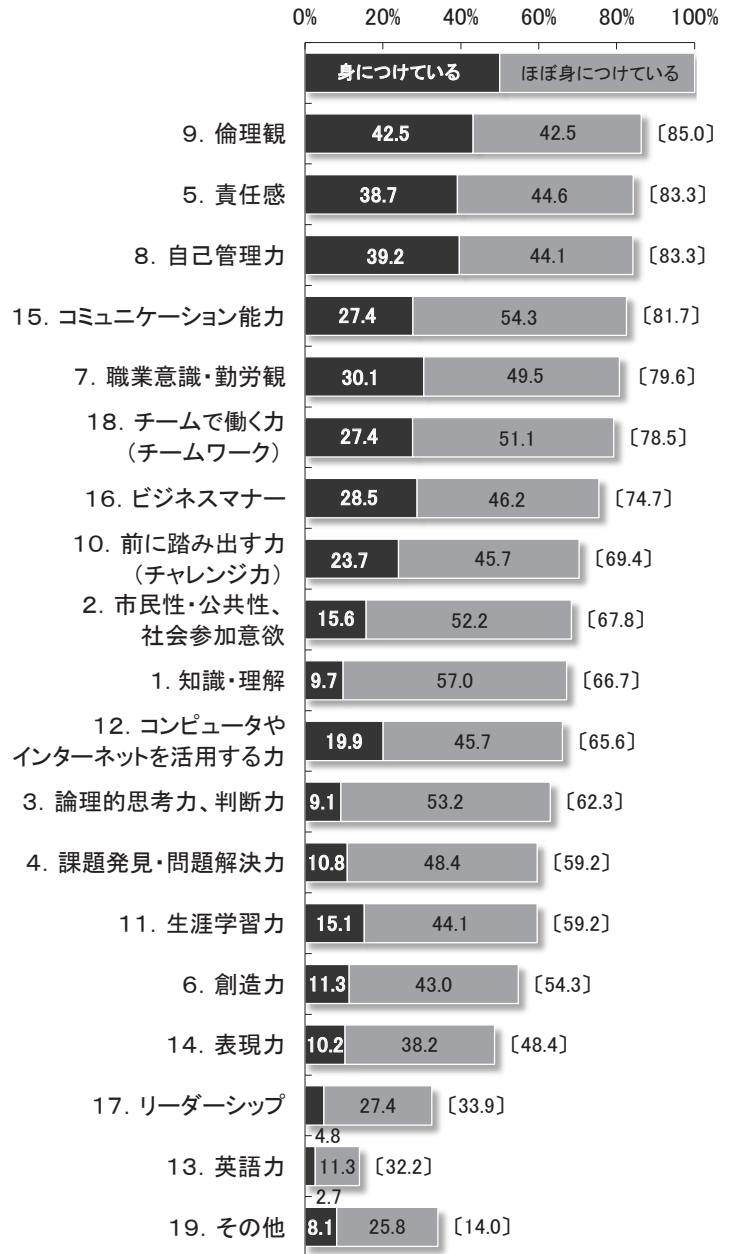
必要性

現在の仕事において必要な力やスキル
(各項目ともN=186)



達成度

西南女学院大学卒業生の力やスキル
(各項目ともN=186)



注1) 必要性の選択肢は「必要である」「やや必要である」「あまり必要でない」「必要でない」の4段階

注2) 必要性の〔 〕は「必要である」+「やや必要である」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある

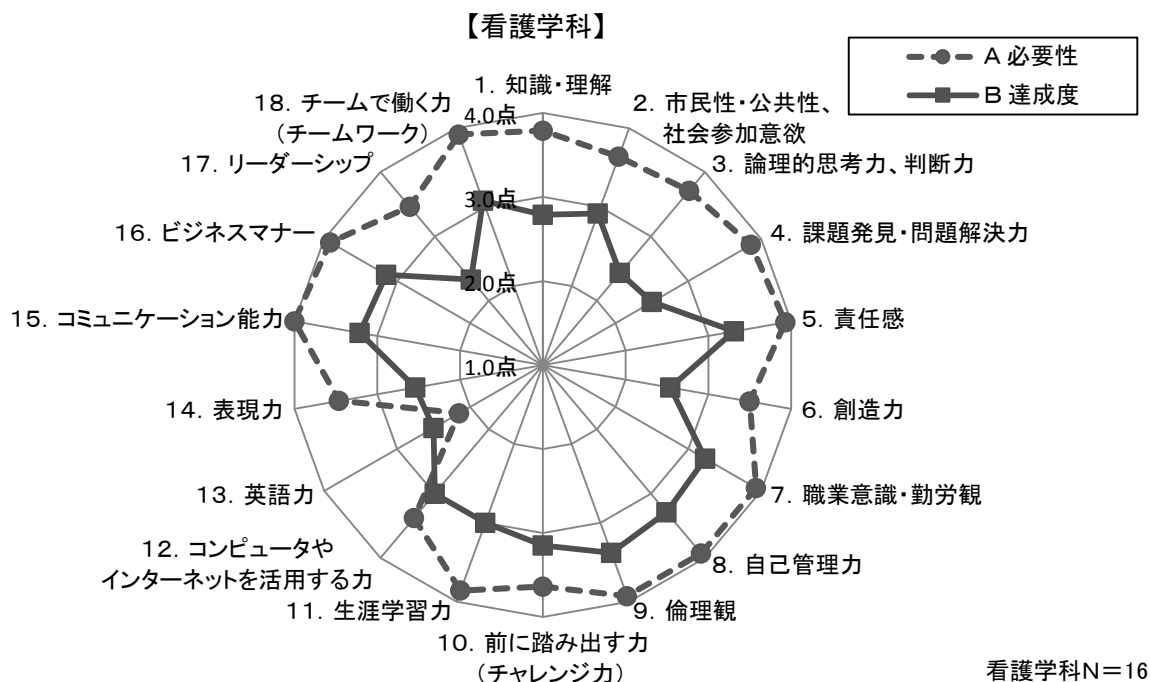
注1) 達成度の選択肢は「身につけている」「ほぼ身につけている」「あまり身につけていない」「身につけていない」「わからない」の5段階

注2) 達成度の〔 〕は「身につけている」+「ほぼ身につけている」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

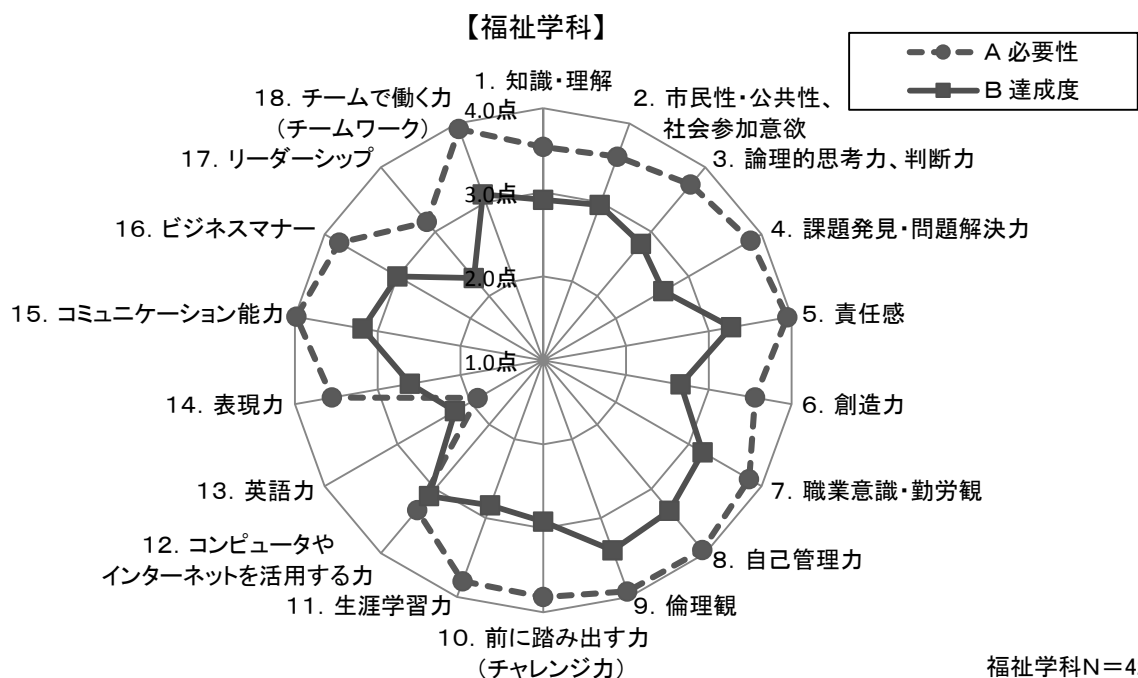
②必要性と達成度（学科別）

必要性と達成度について、「必要である」「身につけている」=4点、「やや必要である」「ほぼ身につけている」=3点、「あまり必要でない」「あまり身につけていない」=2点、「必要でない」「身につけていない」=1点として配点し、必要性と達成度の各項目の平均点を算出した。必要性と達成度を比較し、仕事に必要な能力がどの程度達成されているのかの確認を行った。

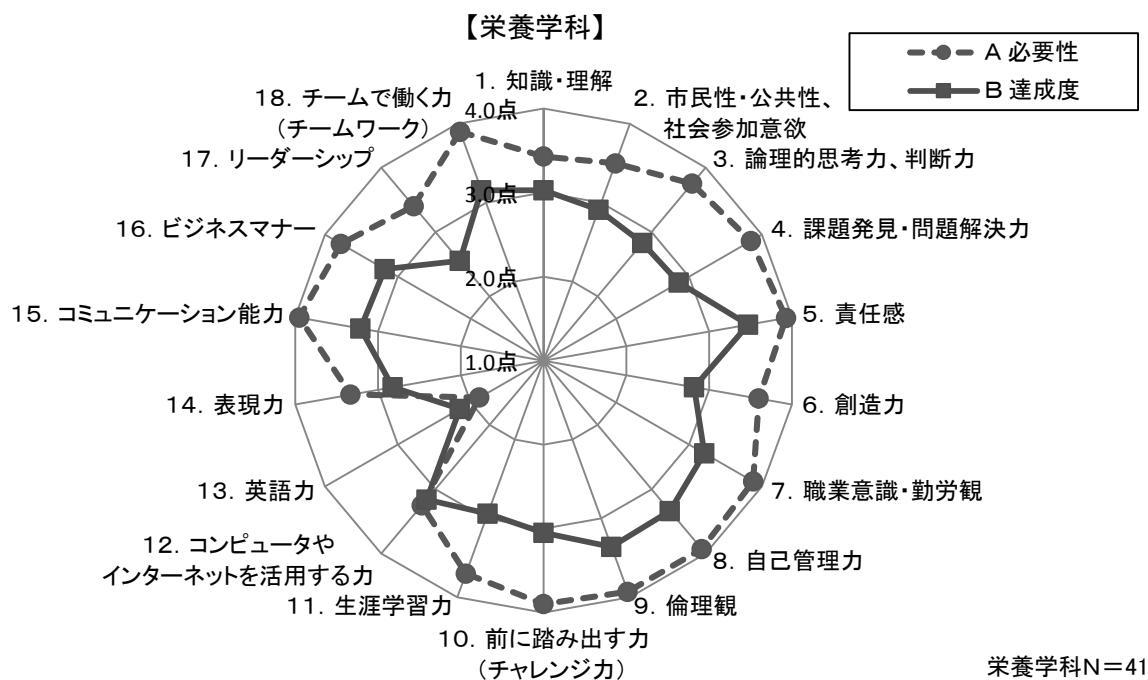
看護学科では、「4. 課題発見・問題解決力」の必要性が達成度よりも1.36ポイント高くあり、次いで「3. 論理的思考力、判断力」が1.28ポイント高くなっている。



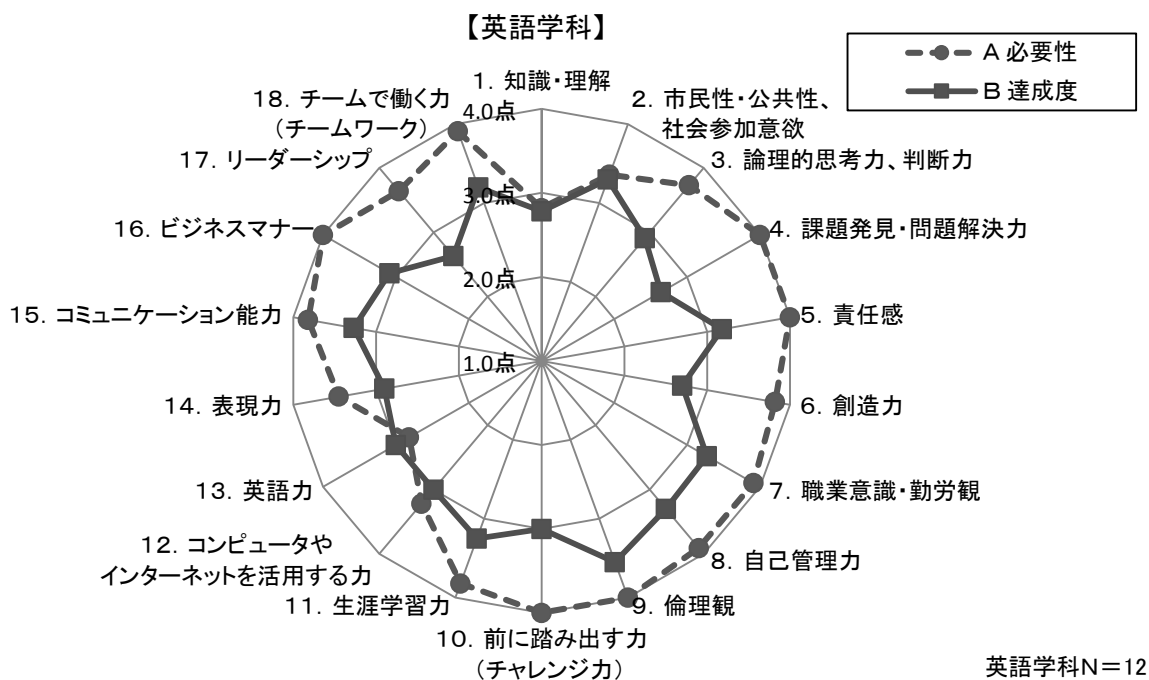
福祉学科では、「4. 課題発見・問題解決力」の必要性が達成度よりも1.20ポイント高くなっている。一方で「13. 英語力」では達成度が必要性よりも0.31ポイント高くなっていることから、「13. 英語力」については達成していると感じている人が多いことがうかがえる。



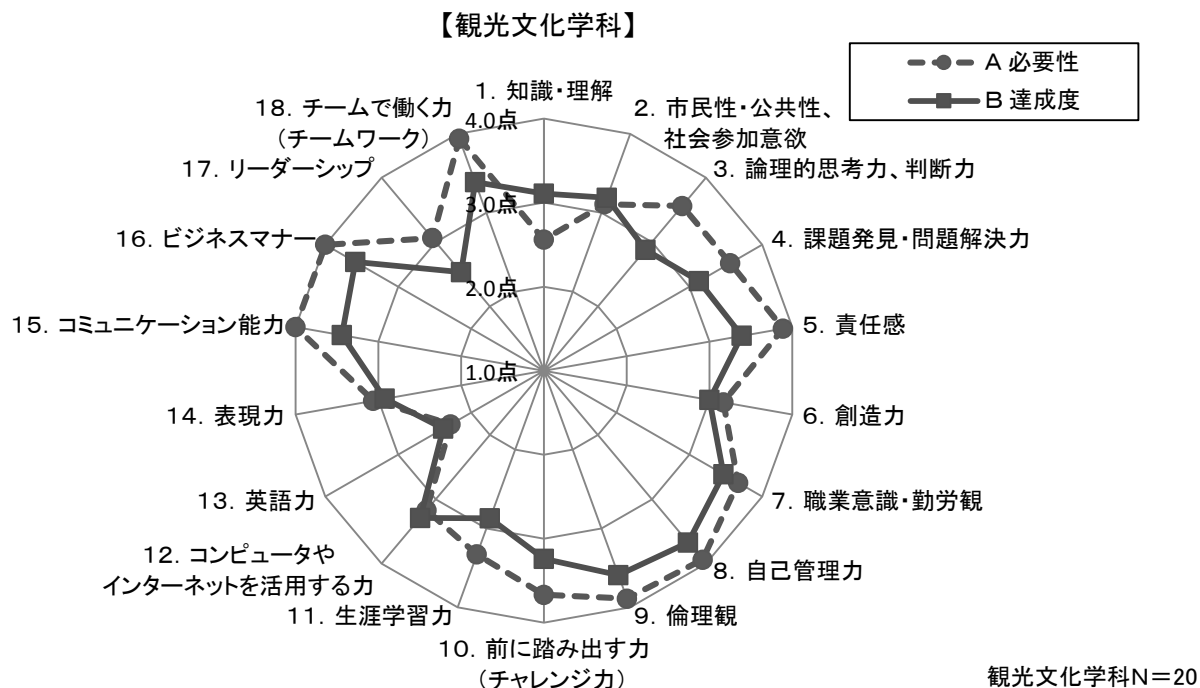
栄養学科では、「4. 課題発見・問題解決力」の必要性が達成度よりも 0.99 ポイント高くなっており、次いで「3. 論理的思考力、判断力」が 0.92 ポイント高くなっている。



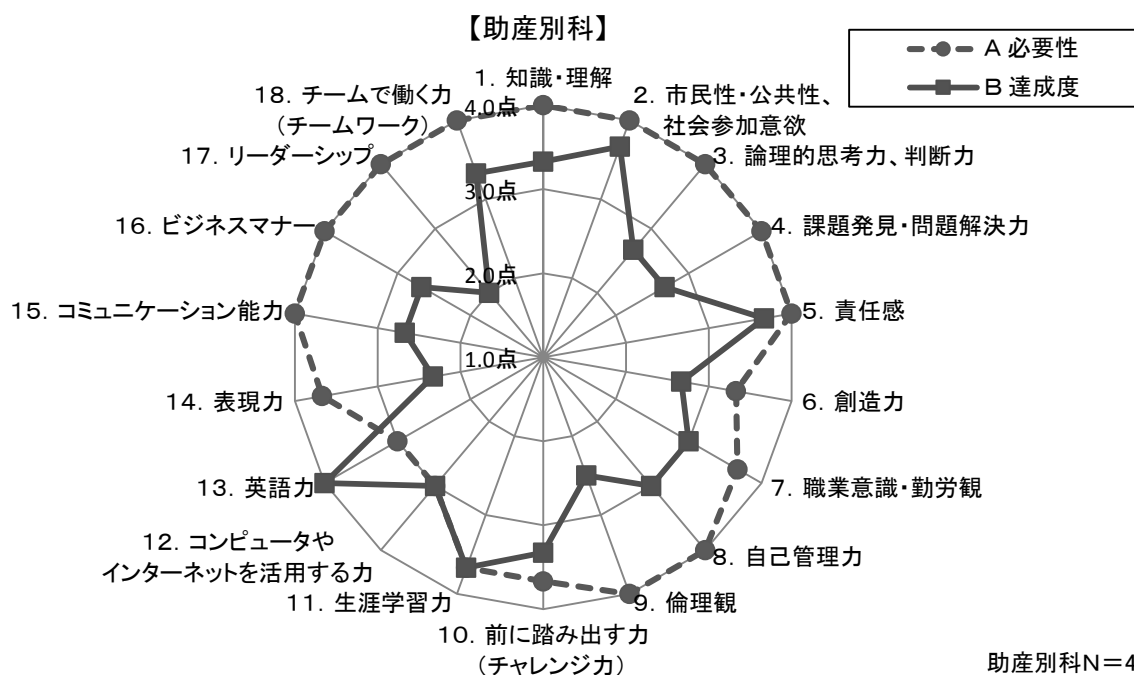
英語学科では、「4. 課題発見・問題解決力」の必要性が達成度よりも 1.36 ポイント高くなっており、次いで「6. 創造力」が 1.12 ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」の達成度は必要性よりも 0.18 ポイント高くなっていることから「13. 英語力」については達成していると感じている人が多いことがうかがえる。



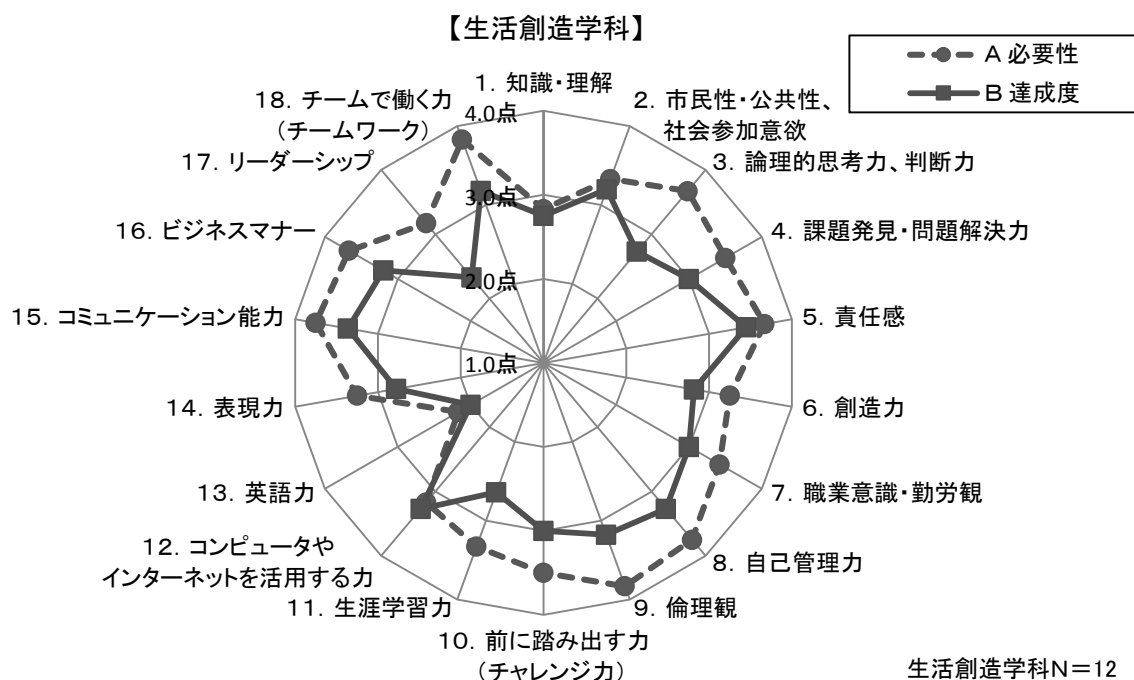
観光文化学科では、「3. 論理的思考力、判断力」の必要性が達成度よりも 0.68 ポイント高くなっており、次いで「15. コミュニケーション能力」が 0.56 ポイント高くなっている。一方、「1. 知識・理解」の達成度は必要性よりも 0.55 ポイント、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」は 0.12 ポイント、「13. 英語力」は 0.10 ポイント高くなっていることから、これらの項目については達成していると感じている人が多いことがうかがえる。



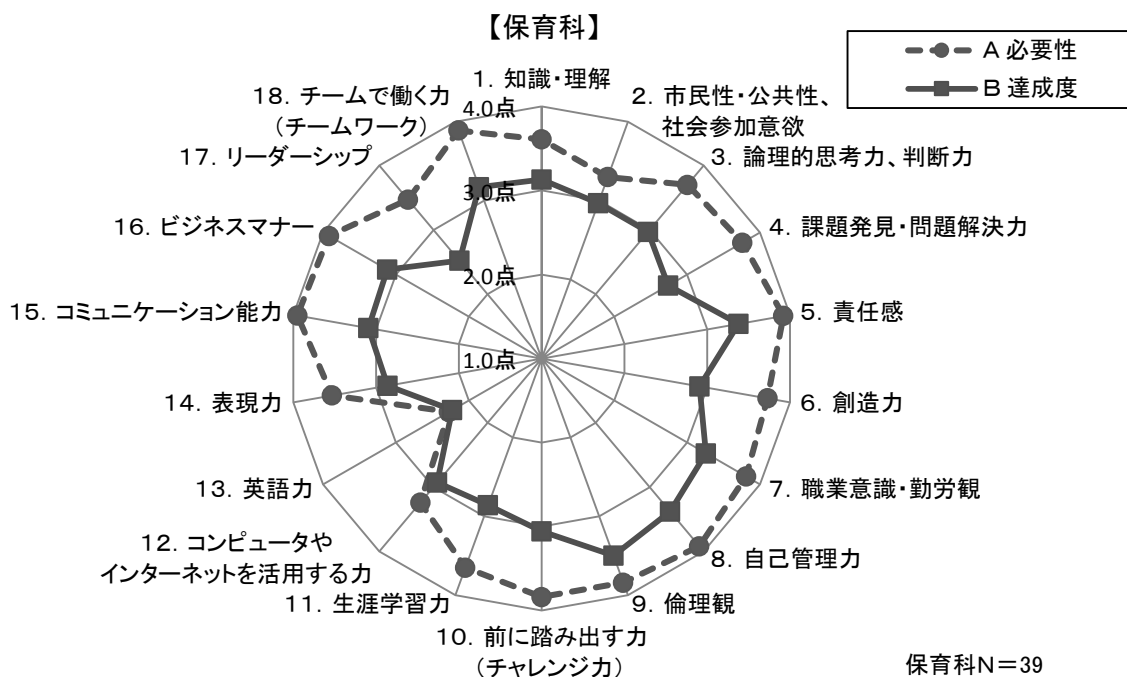
助産別科では、「17. リーダーシップ」の必要性が達成度よりも 2.00 ポイント高くなっており、次いで「9. 倫理観」が 1.50 ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」の必要性と達成度の差は 1.00 ポイントであることから、助産別科の中では比較的達成度が高いことがうかがえる。



生活創造学科では、「3. 論理的思考力、判断力」の必要性が達成度よりも 0.94 ポイント高くなっており、次いで「17. リーダーシップ」が 0.84 ポイント高くなっている。一方、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」の達成度は必要性よりも 0.10 ポイント高くなっていることから、この項目については達成していると感じている人が多いことがうかがえる。



保育科では、「4. 課題発見・問題解決力」の必要性が達成度よりも 1.02 ポイント高くなっており、次いで「17. リーダーシップ」が 0.95 ポイント高くなっている。すべての項目において必要性が達成度よりも高くなっている。



③採用の際に重要視する能力

問 採用の際、重要視する能力上位5つに○をつけてください。

採用の際、重要視する能力は、「15. コミュニケーション能力」(79.6%)が最も多く、次いで「18. チームで働く力(チームワーク)」(68.8%)、「5. 責任感」(63.4%)が6割を超えている。

また、学科別にみても重要視する能力は同じ傾向にあり、職種に関わらず採用の際には「コミュニケーション能力」、「チームで働く力」、「責任感」の有無が重要とされていることがわかる。

【採用の際に重要視する能力】



【学科別 採用の際に重要視する能力 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	15. コミュニケーション能力	18. チームで働く力 (チームワーク)	5. 責任感	8. 自己管理能力	10. 前に踏み出す力 (チャレンジ力)	7. 職業意識・勤労観	16. ビジネスマナー	4. 課題発見・問題解決力	9. 倫理観	1. 知識・理解
全体	186	79.6	68.8	63.4	40.3	29.6	25.8	26.3	22.0	21.5	21.0
看護学科	16	93.8	75.0	68.8	75.0	18.8	37.5	25.0	12.5	56.3	25.0
福祉学科	42	78.6	73.8	59.5	21.4	35.7	26.2	14.3	23.8	23.8	31.0
栄養学科	41	75.6	65.9	63.4	36.6	26.8	31.7	29.3	34.1	14.6	19.5
英語学科	12	66.7	41.7	66.7	25.0	58.3	8.3	25.0	8.3	-	-
観光文化学科	20	85.0	70.0	65.0	35.0	35.0	10.0	45.0	10.0	20.0	-
助産別科	4	75.0	75.0	25.0	25.0	-	50.0	25.0	25.0	50.0	75.0
生活創造学科	12	75.0	91.7	50.0	50.0	25.0	41.7	33.3	8.3	33.3	-
保育科	39	82.1	64.1	71.8	56.4	23.1	20.5	25.6	25.6	12.8	28.2

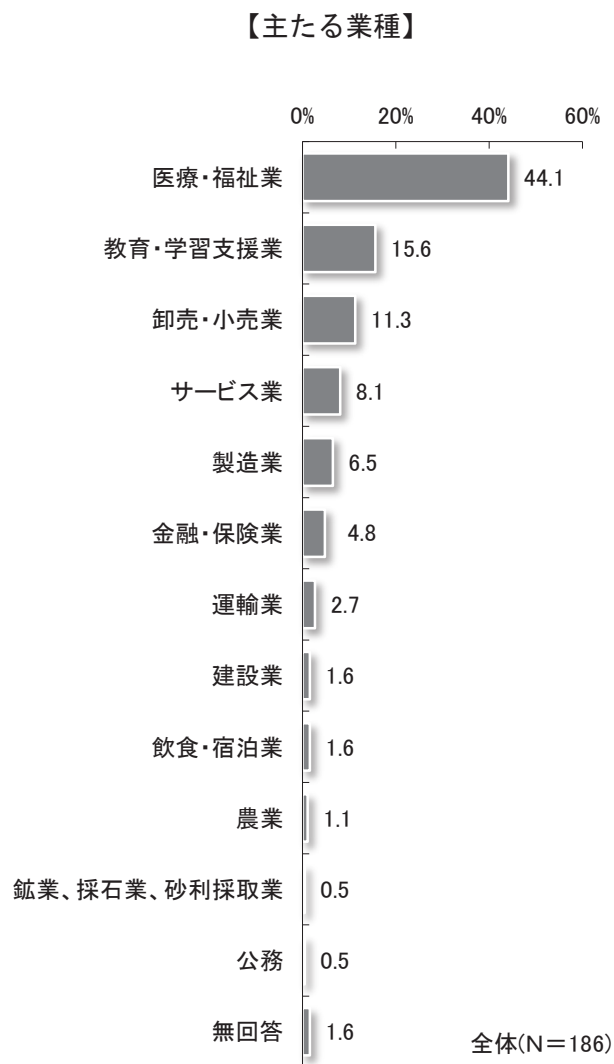
【学科別 採用の際に重要視する能力 (2/2)】 (%)

	全体 (人)	3. 論理的思考力、判断力	2. 市民性・公共性、 社会参加意欲	6. 創造力	11. 生涯学習力	14. 表現力	17. リーダーシップ	12. ネットを 利用する力 （コンピュータやインターネット）	13. 英語力	19. その他	無回答
全体	186	15.1	9.7	9.1	9.7	8.1	7.5	4.3	1.6	4.8	5.9
看護学科	16	-	-	6.3	6.3	-	-	-	-	-	-
福祉学科	42	14.3	14.3	4.8	14.3	4.8	4.8	7.1	-	7.1	7.1
栄養学科	41	12.2	14.6	4.9	9.8	7.3	12.2	2.4	-	2.4	7.3
英語学科	12	25.0	8.3	50.0	25.0	-	25.0	8.3	8.3	8.3	8.3
観光文化学科	20	10.0	-	5.0	-	10.0	10.0	5.0	10.0	-	15.0
助産別科	4	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	12	41.7	-	16.7	-	8.3	8.3	8.3	-	8.3	-
保育科	39	12.8	10.3	7.7	10.3	17.9	2.6	2.6	-	7.7	2.6

〔3〕事業所の概要

問 主たる業種に○をつけてください。

事業所の主たる業種は「医療・福祉業」(44.1%)が最も多く、次いで「教育・学習支援業」(15.6%)、「卸売・小売業」(11.3%)となっている。



※その他に林業、漁業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、不動産業、物品賃貸業を含む

【学科別 主たる業種 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	医療・ 福祉業	教育・ 学習支援業	卸売・ 小売業	サービス業	製造業	金融・ 保険業
全体	186	44.1	15.6	11.3	8.1	6.5	4.8
看護学科	16	100.0	-	-	-	-	-
福祉学科	42	64.3	14.3	4.8	2.4	2.4	7.1
栄養学科	41	48.8	4.9	19.5	14.6	7.3	-
英語学科	12	8.3	16.7	16.7	8.3	-	25.0
観光文化学科	20	-	-	15.0	35.0	20.0	10.0
助産別科	4	100.0	-	-	-	-	-
生活創造学科	12	8.3	-	41.7	-	25.0	8.3
保育科	39	33.3	48.7	2.6	-	2.6	-

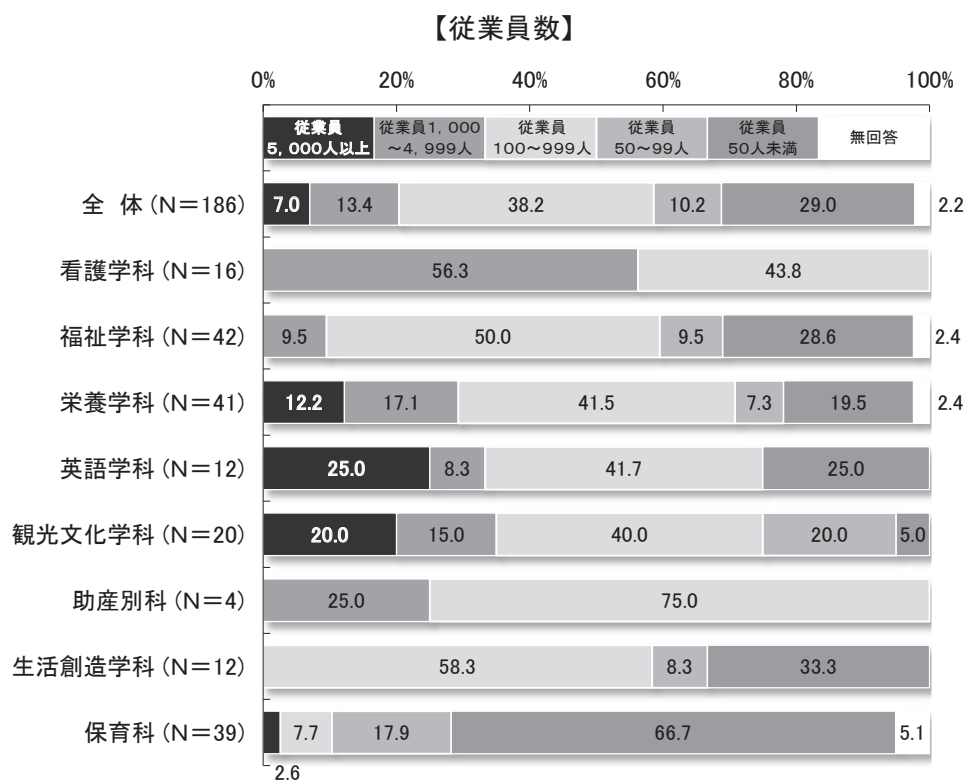
【学科別 主たる業種 (2/2)】 (%)

	全体 (人)	運輸業	建設業	飲食・ 宿泊業	農業	鉱業、 採石業、 砂利採取業	公務	無回答
全体	186	2.7	1.6	1.6	1.1	0.5	0.5	1.6
看護学科	16	-	-	-	-	-	-	-
福祉学科	42	-	-	-	-	-	2.4	2.4
栄養学科	41	-	2.4	2.4	-	-	-	-
英語学科	12	-	8.3	16.7	-	-	-	-
観光文化学科	20	15.0	-	-	5.0	-	-	-
助産別科	4	-	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	12	-	8.3	-	8.3	-	-	-
保育科	39	5.1	-	-	-	2.6	-	5.1

問 従業員数に○をつけてください。

従業員数は、就職先全体では、「従業員 100～999 人」(38.2%) が最も多く、次いで「従業員 50 人未満」(29.0%)、「従業員 1,000～4,999 人」(13.4%) となっている。

学科別の従業員数をみると、他と比べて英語学科と観光文化学科は「従業員 5,000 人以上」(英語学科:25.0%、観光文化学科:20.0%) が 2 割台で高く、保育科は「従業員 50 人未満」が 66.7% と高くなっている。

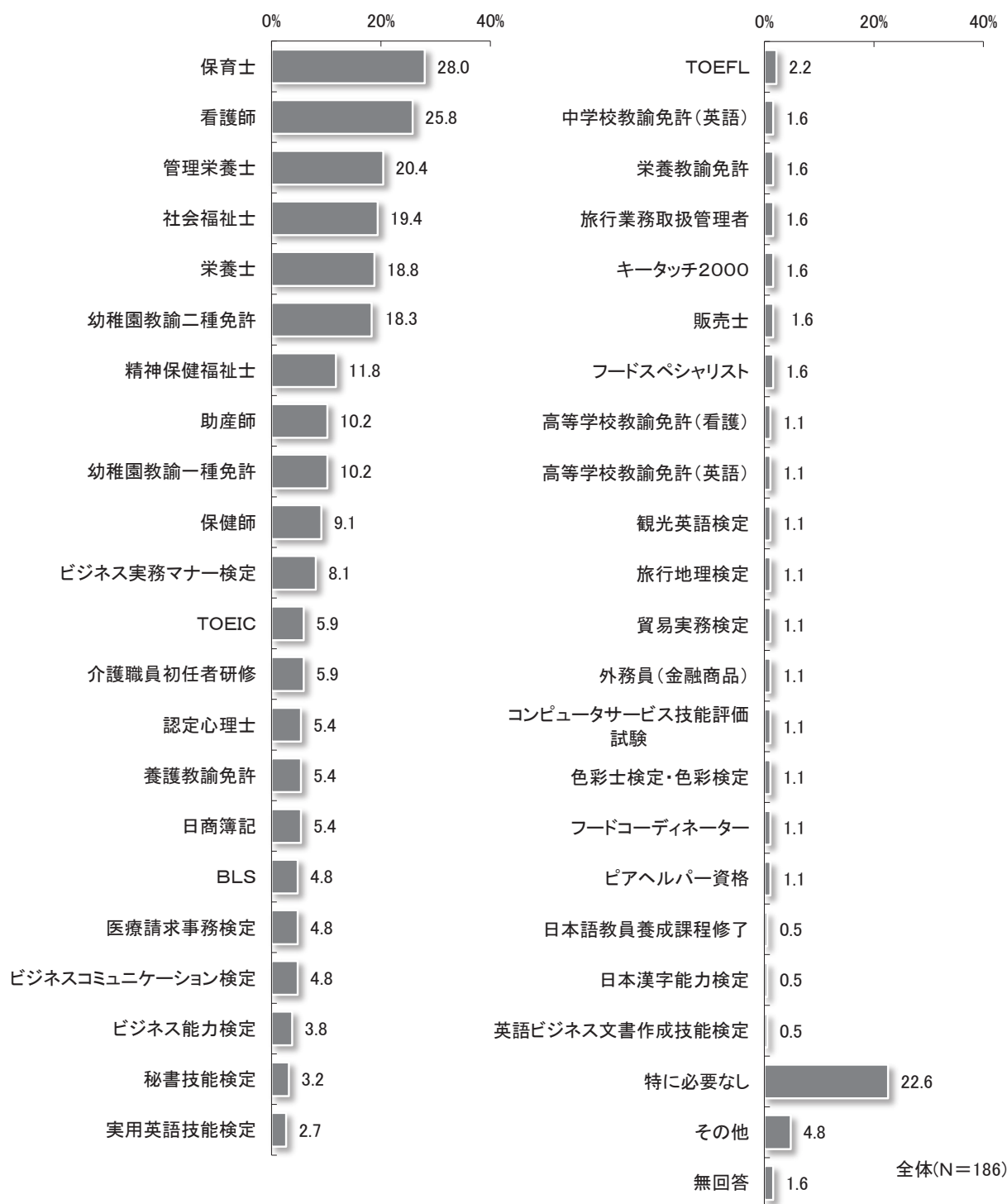


〔4〕学生に希望する資格や検定

問 貴事業所の業務を遂行する上で、学生に希望する資格や検定があればすべてに○をつけてください。

学生に希望する資格や検定は、「保育士」(28.0%)が最も多く、次いで「看護師」(25.8%)、「管理栄養士」(20.4%)となっている。一方で、「特に必要なし」(22.6%)も多くなっている。また、学科別にみると、看護学科で「看護師」、福祉学科で「社会福祉士」、栄養学科で「管理栄養士」等、卒業学科に応じた専門性が求められている。

【学生に希望する資格や検定】



※その他に通訳案内士を含む

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【学科別 学生に希望する資格や検定（1/3）】（％）

	全体（人）	保育士	看護師	管理栄養士	社会福祉士	栄養士	幼稚園教諭二種免許	精神保健福祉士	助産師	幼稚園教諭一種免許	保健師	定ビジネス実務マナー検	TOEIC	介護職員初任者研修	認定心理士	養護教諭免許
全体	186	28.0	25.8	20.4	19.4	18.8	18.3	11.8	10.2	10.2	9.1	8.1	5.9	5.9	5.4	5.4
看護学科	16	-	100.0	6.3	18.8	6.3	-	12.5	62.5	-	50.0	-	12.5	-	6.3	-
福祉学科	42	33.3	28.6	19.0	45.2	11.9	9.5	35.7	7.1	9.5	4.8	7.1	-	11.9	7.1	11.9
栄養学科	41	26.8	31.7	58.5	29.3	56.1	9.8	9.8	4.9	7.3	12.2	14.6	-	12.2	9.8	4.9
英語学科	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	25.0	-	-	8.3
観光文化学科	20	-	5.0	-	5.0	-	-	-	-	-	5.0	-	10.0	-	-	-
助産別科	4	-	75.0	25.0	-	25.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	12	-	8.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-
保育科	39	69.2	5.1	10.3	2.6	12.8	66.7	2.6	-	30.8	2.6	10.3	2.6	2.6	5.1	5.1

【学科別 学生に希望する資格や検定（2/3）】（％）

	全体（人）	日商簿記	BLS	医療請求事務検定	ビジネスコミュニケーション検定	ビジネス能力検定	秘書技能検定	実用英語技能検定	TOEFL	中学校教諭免許（英語）	栄養教諭免許	旅行業務取扱管理者	販売士	キータッチ2000	フードスペシャリスト	高等学校教諭免許（看護）
全体	186	5.4	4.8	4.8	4.8	3.8	3.2	2.7	2.2	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.1
看護学科	16	-	43.8	6.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福祉学科	42	2.4	-	4.8	4.8	2.4	2.4	-	-	2.4	2.4	-	2.4	-	-	2.4
栄養学科	41	4.9	-	7.3	7.3	4.9	-	-	-	-	2.4	2.4	2.4	4.9	4.9	-
英語学科	12	33.3	8.3	16.7	16.7	16.7	16.7	25.0	16.7	8.3	-	8.3	-	-	8.3	-
観光文化学科	20	5.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-	-	-
助産別科	4	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	12	16.7	-	8.3	-	8.3	8.3	8.3	8.3	-	-	-	8.3	-	-	-
保育科	39	-	-	-	5.1	2.6	5.1	2.6	2.6	2.6	2.6	-	-	2.6	-	2.6

【学科別 学生に希望する資格や検定（3/3）】（％）

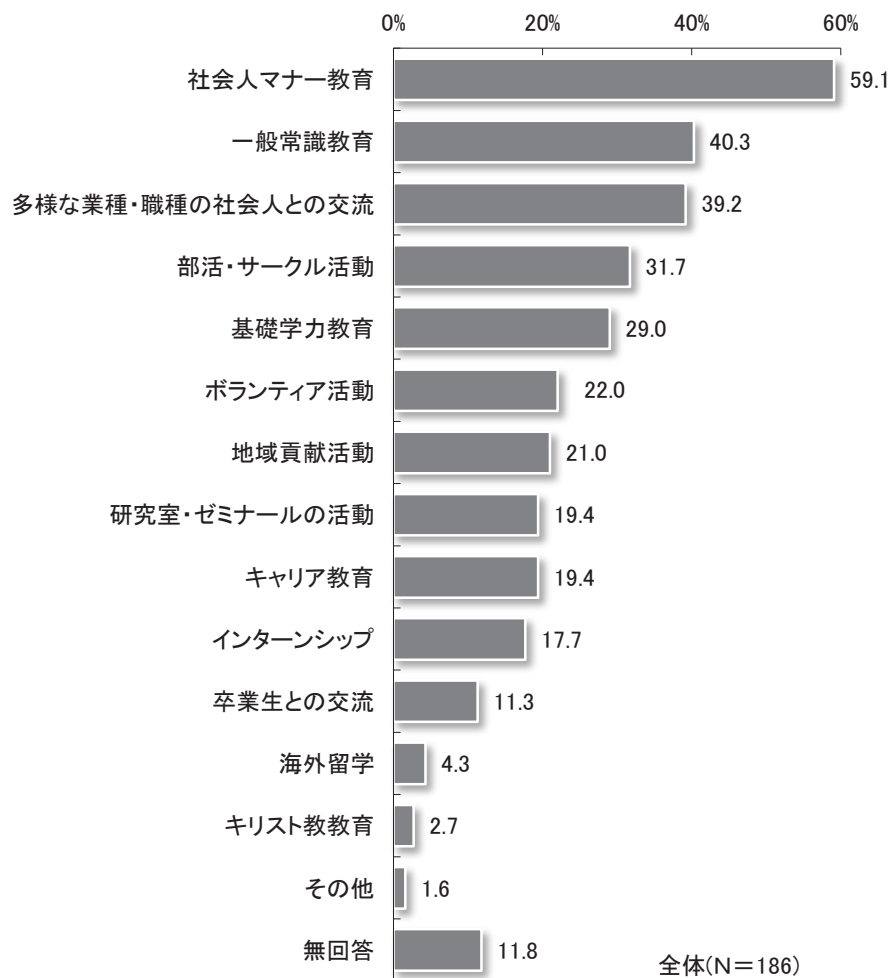
	全体（人）	高等学校教諭免許（英語）	観光英語検定	旅行地理検定	貿易実務検定	外務員（金融商品）	コンピュタサービステクニク試験	色彩士検定・色彩検定	ピアヘルパー資格	フードコーディネーター	日本語教員養成課程修了	日本語能力検定	英語ビジネス文書作成技能検定	特に必要なし	その他	無回答
全体	186	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	0.5	0.5	0.5	22.6	4.8	1.6
看護学科	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.3	-
福祉学科	42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19.0	4.8	-
栄養学科	41	-	2.4	2.4	-	-	-	2.4	-	4.9	-	-	-	19.5	2.4	-
英語学科	12	8.3	8.3	-	8.3	8.3	8.3	-	-	-	-	8.3	8.3	50.0	-	-
観光文化学科	20	-	-	5.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	65.0	15.0	5.0
助産別科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	12	-	-	-	8.3	8.3	8.3	-	-	-	-	-	-	41.7	8.3	-
保育科	39	2.6	-	-	-	-	-	2.6	5.1	-	2.6	-	-	5.1	2.6	5.1

〔5〕大学生の人間形成に必要な支援

問 大学生の人間形成について、本学が支援に力をいれた方がよいと思う項目すべてに○をつけてください。

大学の人間形成に必要な支援は、「社会人マナー教育」(59.1%)が最も多く、次いで「一般常識教育」(40.3%)、「多様な業種・職種の社会人との交流」(39.2%)となっている。

【大学生の人間形成に必要な支援】



【学科別 大学生の人間形成に必要な支援（1/2）】（％）

	全体（人）	社会人マナー教育	一般常識教育	多様な業種・職種との交流	部活・サークル活動	基礎学力教育	ボランティア活動	地域貢献活動
全体	186	59.1	40.3	39.2	31.7	29.0	22.0	21.0
看護学科	16	75.0	25.0	43.8	31.3	18.8	12.5	25.0
福祉学科	42	54.8	45.2	31.0	31.0	26.2	33.3	31.0
栄養学科	41	53.7	34.1	58.5	31.7	24.4	19.5	17.1
英語学科	12	50.0	33.3	33.3	41.7	50.0	25.0	25.0
観光文化学科	20	70.0	55.0	40.0	30.0	35.0	15.0	20.0
助産別科	4	100.0	50.0	25.0	25.0	50.0	－	25.0
生活創造学科	12	50.0	41.7	41.7	41.7	8.3	－	8.3
保育科	39	59.0	41.0	28.2	28.2	35.9	28.2	15.4

【学科別 大学生の人間形成に必要な支援（2/2）】（％）

	全体（人）	研究室・ゼミナールの活動	キャリア教育	インターンシップ	卒業生との交流	海外留学	キリスト教教育	その他	無回答
全体	186	19.4	19.4	17.7	11.3	4.3	2.7	1.6	11.8
看護学科	16	12.5	18.8	12.5	18.8	－	－	－	25.0
福祉学科	42	19.0	19.0	14.3	9.5	－	4.8	2.4	9.5
栄養学科	41	26.8	24.4	26.8	22.0	9.8	－	4.9	12.2
英語学科	12	25.0	50.0	25.0	－	33.3	－	－	－
観光文化学科	20	10.0	20.0	25.0	5.0	－	－	－	5.0
助産別科	4	－	25.0	25.0	－	－	－	－	－
生活創造学科	12	16.7	8.3	8.3	－	－	－	－	8.3
保育科	39	20.5	7.7	10.3	10.3	－	7.7	－	17.9

〔6〕採用について

問 貴事業所において、過去5年間で採用の実績がある大学名を3校まで差し支えなければ、ご記入ください。

各事業所において、過去5年間で採用に実績がある大学名を3校まで自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

看護学科

大学名	記入数
福岡県立大学	4
西南女学院大学	2
日本赤十字九州国際看護大学	2
長崎大学	2
活水女子大学	2
大分大学	2
大分県立看護科学大学	2
九州看護福祉大学	2
山口県立大学	2
宇部フロンティア大学	2
福岡女学院看護大学	1
産業医科大学	1
福岡大学	1
聖マリア学院大学	1
長崎県立大学	1
長崎県立大（シーボルト）大学	1
熊本大学	1
熊本保健科学大学	1
鹿児島大学	1
山口大学	1
国際医療福祉大学	1

福祉学科

大学名	記入数
東筑紫短期大学	5
福岡県立大学	5
西南学院大学	5
西南女学院大学	4
北九州市立大学	4
西南女学院大学短期大学	3
福岡大学	3
大分大学	3
山口県立大学	3
筑紫女学園大学	2
中村学園大学	2
久留米大学	2
九州栄養福祉大学	1
九州女子大学	1
九州女子短期大学	1
九州大学	1
福岡教育大学大学院	1
九州産業大学	1
佐賀大学	1
長崎大学	1
熊本大学	1
熊本学園大学	1
鹿児島大学	1
山口大学	1
山口学芸大学	1
山口芸術短期大学	1
山口短期大学	1
島根県立女子短期大学	1
広島大学	1
天理大学	1
関西学院大学	1
同志社大学	1
県立大学	1

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

栄養学科

大学名	記入数
中村学園大学	10
九州女子大学	9
九州栄養福祉大学	8
北九州市立大学	3
東筑紫短期大学	3
中村学園短期大学	3
山口県立大学	3
西南女学院大学	2
福岡女子大学	2
西南学院大学	2
別府大学	2
西南女学院短期大学	1
九州工業大学	1
九州女子短期大学	1
八幡国際大学	1
福岡県立大学	1
香蘭女子短期大学	1
福岡女学院大学	1
福岡大学	1
東海大学福岡短期大学	1
佐賀大学	1
西九州大学	1
長崎県立大学	1
大分看護科学大学	1
水産大学校	1
山口大学	1
ノートルダム清心女子大学	1
神戸女子大学	1
関西福祉科学大学	1
城西大学	1
共立女子大学	1
東京家政学院大学	1
中央大学	1
東北女子短期大学	1
仙台青葉学院短期大学	1

英語学科

大学名	記入数
北九州市立大学	2
九州大学	2
西南学院大学	2
福岡大学	2
九州女子大学	1
九州女子短期大学	1
東筑紫短期大学	1
福岡教育大学	1
熊本大学	1
愛知学院大学	1
同志社大学	1
津田塾大学	1
明治大学	1

観光文化学科

大学名	記入数
福岡大学	8
北九州市立大学	7
西南学院大学	4
九州産業大学	3
西南女学院大学	2
大分大学	2
熊本学園大学	2
関西外国語大学	2
九州女子短期大学	1
九州大学	1
筑紫女学園大学	1
福岡工業大学	1
福岡女学院大学	1
九州共立大学	1
別府大学	1
熊本大学	1
熊本県立大学	1
九州ルーテル大学	1
宮崎大学	1
志学館大学	1
鹿児島国際大学	1
下関市立大学	1
広島修道大学	1
名古屋外国語大学	1
上智大学	1
東京農業大学	1

助産別科

大学名	記入数
福岡県立大学	1
佐賀大学	1
大分看護科学大学	1

生活創造学科

大学名	記入数
西南女学院大学	2
西南女学院大学短期大学	2
北九州市立大学	2
福岡大学	2
下関市立大学	2
西南学院大学	1
筑紫女学園大学	1
中村学園大学	1
山口大学	1
梅光学院大学	1
佐賀大学	1
鹿児島大学	1
同志社女子大学	1

保育科

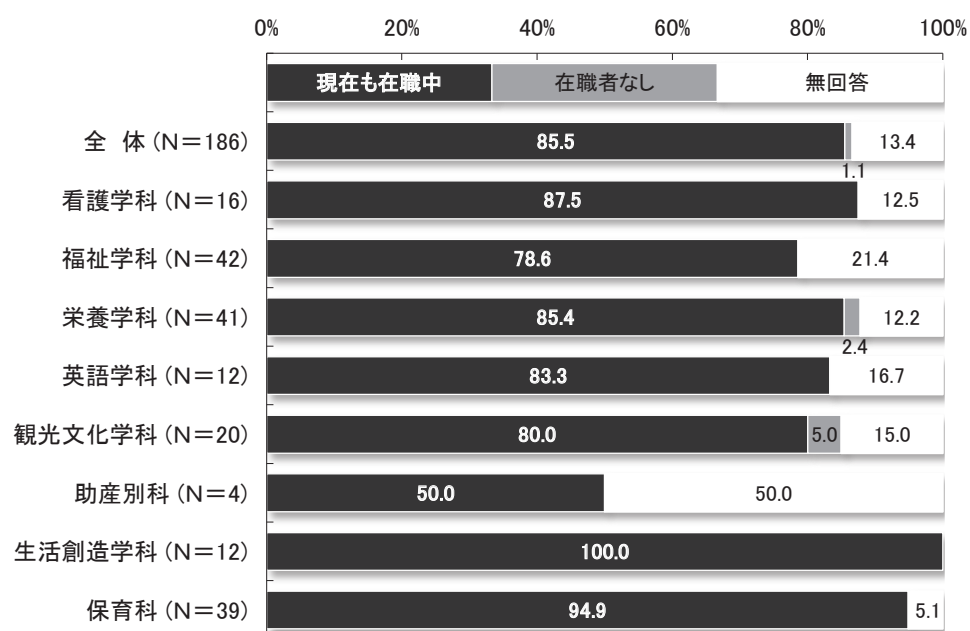
大学名	記入数
東筑紫短期大学	12
西南女学院大学短期大学	7
九州女子大学	7
西南女学院大学	5
中村学園大学	5
中村学園短期大学	4
九州女子短期大学	3
西南学院大学	3
福岡女学院大学	3
山口芸術短期大学	3
近畿大学九州短期大学	2
香蘭女子短期大学	2
別府大学短期大学	2
東九州短期大学	2
下関短期大学	2
梅光学院大学	2
東筑紫大学	1
福岡教育大学	1
九州産業大学	1
西日本短期大学	1
福岡こども短期大学	1
福岡大学	1
九州龍谷短期大学	1
別府溝部学園短期大学	1
鹿児島女子短期大学	1
下関女子短期大学	1
環太平洋大学	1
安田女子短期大学	1
近畿大学	1
保育専門学校	1
麻生（大学）	1

問 本学卒業生の在職人数と最近5年以内に入職した本学卒業生のうち1年以内に退職した人数をご記入ください。

在職状況について、就業先全体では「現在も在職中」（85.5%）が最も多くなっている。

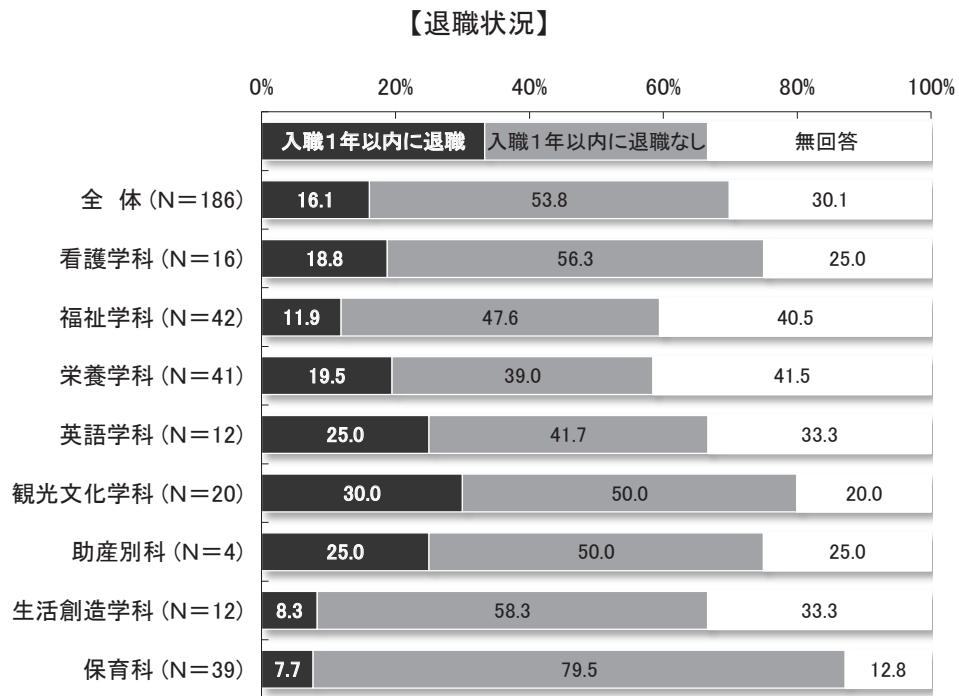
学科別にみると、看護学科、生活創造学科、保育科では「現在も在職中」（看護学科：87.5%、生活創造学科：100%、保育科：94.9%）が多くなっている。

【在職状況】



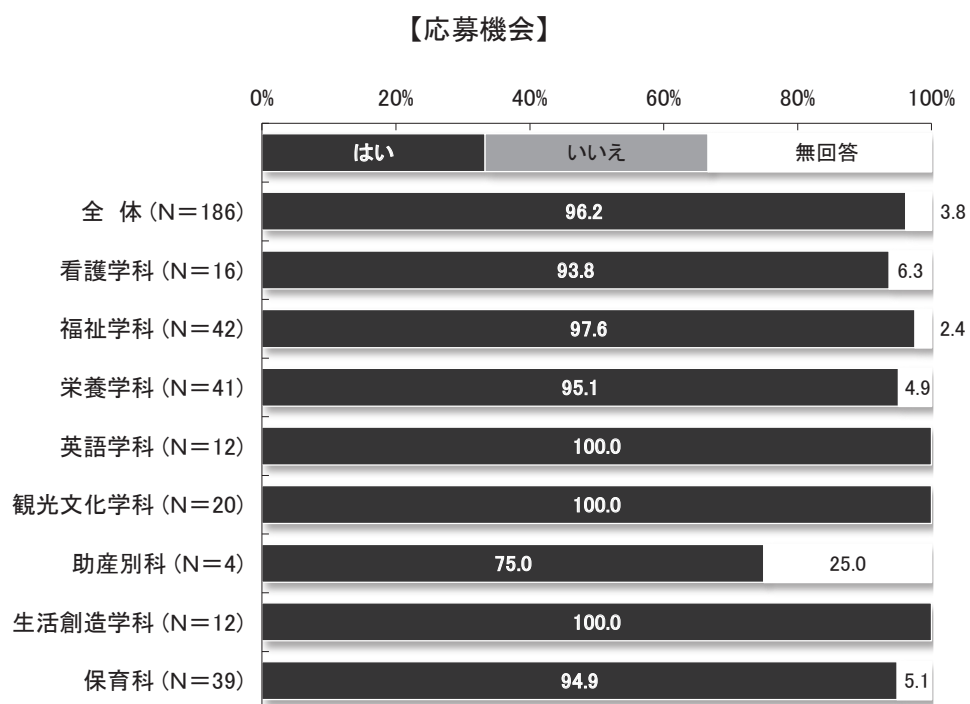
退職状況について、就業先全体では、「入職1年以内に退職なし」(53.8%)が最も多くなっている。

学科別にみると、無回答の割合が高い学科もあるため、傾向をみる程度にとどめるが、英語学科や観光文化学科、助産別科では「入職1年以内に退職」の割合が他学科に比べ高い傾向にある。



問 貴事業所において、今後、採用の機会が生じた際は、本学学生にも応募機会をいただけますか。

今後の応募機会について、全体結果及び学科別ともに「はい」の割合が大半を占める結果となっている。



〔7〕大学に対する意見・要望（自由意見）

問 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

大学に対しての意見や要望について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

（回答者数：53人/186人[28.5%]）

【採用・就職支援について】

学科	内容
看護学科	当院に興味を持っていただける学生がおりましたらインターン、説明会等ぜひ1度お越し下さい。今後とも宜しくお願い致します。
福祉学科	希望者がいらっしゃいましたら是非受験頂きたいと考えております。 今後、貴学卒業予定者のなかで弊社に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら是非ともご紹介いただけますよう、何卒宜しくお願い致します。
栄養学科	当社イベントにつきまして、毎年ご協力いただきましてありがとうございます。 貴学で開催される学内説明会に本年も参加させていただきたく、再度ご連絡差し上げます。よろしくお願い致します。
英語学科	旅行業に興味がある方、幅広いフィールドで働きたい方を求めています。 今後共、何卒よろしくお願い致します。
観光文化学科	就職担当の先生はわざわざ弊社までご挨拶に来て下さったり、卒業生のいる店舗に足を運んでいただいてフォローして下さったりと、細やかなご配慮をいただいております。 今後も引き続き何卒宜しくお願い致します。 旅行業に興味がある方、幅広いフィールドで働きたい方を求めています。 今後共、何卒よろしくお願い致します。 2019年4月の新卒求人も行う予定ですので、よろしくお願い致します。
助産別科	当院では、助産師の採用を毎年行っています。是非受験していただく様に紹介して下さい。よろしくお願い致します。
保育科	これからも貴学生が来てくださるようお願い致します。 開園してまだ4年。認可園となって2年の当園ですが、就職課の先生方には、とても丁寧な対応をしていただいております。特にS先生には当園の意向等親身になって聞いていただき、今年度に引き続き、来年度もよい学生さんを紹介していただきました。ありがとうございます。 今後も弊社採用にご協力お願い致します。

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【現在就業中の卒業生について】

学科	内容
看護学科	1998年以降より専任入職しました貴校卒業生は、ジェネラリストまたはより専門性の高い領域の役割で活躍しています。 今後ともどうぞよろしくお願い致します。
福祉学科	現在当園で勤務している2名（2017、2018年採用）は、とてもよく頑張っています。向上心があり期待しています。メンタル面での強さも社会に出ると必要になってきます。
	現在、在職中の10名については、皆様それぞれの持ち場で活躍して頂いております。
	大変熱意のある卒業生で期待しております。
	採用権限が学校（公立）にはございませんが、参考までに関連項目に回答させていただきました。当該卒業生は本校にて大変よく頑張っており、この半年で随分スキルアップしました。
	貴大学の出身教員は、知識、人格にも優れている。これから本園の中心的教員となっていくものと期待している。有難うございます。
	現在、2名のPSWが勤務していますが、とてもよく頑張っていると思います。
	貴学を卒業され、去年の4月から頑張ってくれている女性が1名いらっしゃいます。
	弊社社員からの評判も高く、一緒に働けることを日々、とてもうれしく思っております。
	当院では貴校卒業生に活躍していただいています。みなさん誠実で責任感が強く、貴校の指導方針に敬意を表します。
栄養学科	当院では貴校卒業生に活躍していただいています。みなさん誠実で責任感が強く、貴校の指導方針に敬意を表します。
観光文化学科	弊社、職場の雰囲気等、本人の思うところと違ったところがあったのでしょうか、入社二カ月で退職されたので、アンケート内容（回答）にわかりかねる箇所がいくつかありました。ご了承下さい。
	西南女学院大学の学生さんは素敵な方が多く、大活躍していただいています。今後とも宜しくお願い申し上げます。
	礼儀正しく、仕事に対する姿勢も積極的で、向上心もある、とてもよい学生に入社してもらえました。長く一緒に働いてもらいたいと思っています。ありがとうございました。
	いつもお世話になっております。貴校の卒業生は現在〇〇区役所で入力業務に携わっています。業務にも慣れてきて以前よりミスが少なくなってきたことがやりがいに繋がっているようです。後輩が続きますと本人の喜びにもなると思います。今後とも、よろしくお願い致します。
	卒業生の方々は、とてもしっかりされており、安心して採用させていただいております。

保育科	貴学卒業の職員は明るく意欲的に働いてくれています。今後もこのような学生さんを育ててくれると嬉しいです。
	貴大学卒業生は期待に応え、当園では十分活躍してくれています。
	当園でこれまで採用させていただいている卒業生（貴校）は、落ち着きがあり信頼できる生徒ばかりです。貴校の卒業生である事、心の誇りとなっている事も感じ取れます。今後も宗教教育、マナー教育、一般常識教育等を通じて、心豊かな人材を期待しています。
	採用いたしました卒業生は意欲的で明るく心やさしい方です。苦手なピアノを子どもたちがうたえる様にと一生懸命曲を練習したり子どもの育ちに喜ぶ心を持っています。一步一步先輩にも学ぶ姿にも満足しています。ありがとうございます。
	卒業生はとても良く働いていただいています。職員や保護者からもとても評判が良く、素晴らしい人材です。今後も是非ともよろしくお願いします。
	卒業生の方々は、とてもしっかりされており、安心して採用させていただいております。

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【大学への要望について】

学科	内容
看護学科	表面のアンケートについては、個人それぞれ違うので卒業生としてまとめてアンケートに答えるのは難しかったです。
	誠実にものごとに対応できる人材の育成を期待します。
	アンケート調査のご依頼ですが、卒業生の名簿を同封してほしい。アンケートなので催促があったことに驚きました。個人個人それぞれに違い、就職してからは卒業校別にみていません。
福祉学科	近隣の養成校の中では、しっかりと学習していると感じている。県外出身者が多い印象があり、なかなか本市での就職につながり難しいのではと思う。
	これからの学校現場で必要なのは、まず対応力だと思います。
	幼保連携型認定こども園として養護教諭の必要性を感じ採用した。仕事が出来るので今後の活躍を期待していたが、新任研修の小学校での研修を機に、専門職だけに関われる学校に就任したいとの申し出が12月半ばにあり一年で退職をする。幼児期の専門性の必要と、就職したらせめて3年は勤めることを指導していただきたい。
	せつかく4年間勉強されて国家資格を受験されてない方もいらっしゃるようなので、是非がんばって資格を取られることを期待します。
栄養学科	今学んでいる事が、仕事に活かせるかは本人の意識次第と考えます。貴重な学びの時間（じっくり学べるのは今だけなので）を無駄にしない様、学生さんに良くアドバイス頂くと良いと思います。
	せつかく4年間勉強されて国家資格を受験されてない方もいらっしゃるようなので、是非がんばって資格を取られることを期待します。
	資格取得のみに満足せず、社会人になった後も、向学心を持ち、かつ、社会貢献をし、役立てるような意識を持っていただきたいと思います。またおごることなく、能力をひけらかさず、謙虚な姿勢で取り組んでいただきたいです。
英語学科	貴学に限らず大学生全般に感じるのですが、言葉遣いや表情、表現の乏しさを感じます。
	社会の情勢を理解し、コミュニケーションスキルの高い学生を育てていただければ助かります。
	※送付が遅くなり申し訳ありません。
観光文化学科	残念ながら貴校からの応募をこの数年やってませんでしたから受験もありませんでした。1人も採用経験がなかったものですから企業説明会も行えずにいました。弊社ではコールセンターも営んでおりますので是非サービス業としてのコミュニケーションを取り、お客様とやりとりすることが好きな方、笑顔溢れる学生との出会いを期待しています。
保育科	中津市、豊前市より入学を推進してほしい。

【その他について】

学科	内容
福祉学科	いつもお世話になっています。
	いつもありがとうございます。よろしくお願いいたします。
	表のBについては最近採用担当になり勤務地も違うので、少々答えにくい。
栄養学科	今後ともよろしくお願い致します。
	今後とも何卒、宜しくお願い申し上げます。
	改めてご挨拶にお伺いさせていただきます。
観光文化学科	正規職員での採用でないため回答は不必要かと思いましたが返信します。
生活創造学科	今後とも引き続きよろしくお願い致します。
	今年も宜しくお願いいたします。
保育科	先日、当幼稚園で「おゆうぎ会」を致しました。その際にお手伝いとして貴校の学生さん達にアルバイトを依頼し、8名も来て頂きました。皆まじめで、にこやかにお手伝いをしてくれました。とても良い生徒がいる大学なんだと改めて思いました。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。
	記入が締切に間に合わず失礼致しました。

3. 調査結果のまとめ

ここでは、これまでにまとめた選択肢ごとの分析結果をはじめ、平成28年度に実施した卒業生アンケート（以降、「前回調査」と表記）、平成29年度に実施した在学生に対する学生生活に関する実態調査（以降、「学生調査」と表記）の結果を参考に、特徴がみられるものについて抜粋し、就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケートの総括とする。

▶仕事に必要な能力

＜必要性和達成度＞

就職受け入れ先から見た、現在の仕事において必要な力やスキルを【必要性】（「必要である」＋「やや必要である」）、卒業生の力やスキルを【達成度】（「身につけている」＋「ほぼ身につけている」）として分析した。

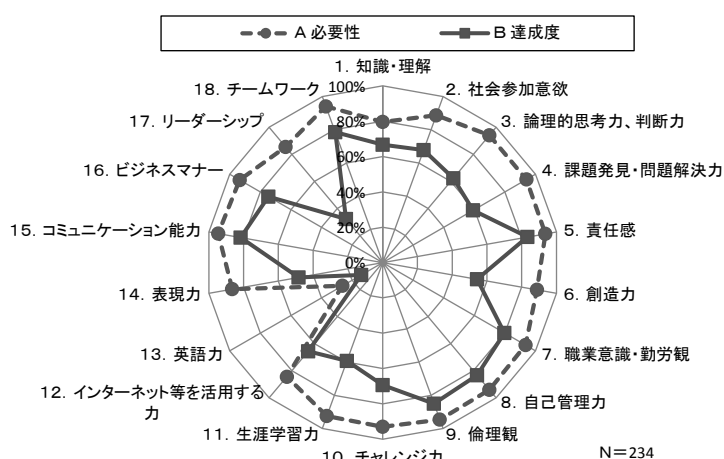
仕事においては英語力以外、どの項目も必要性があるとの回答となっている。

必要性に比べ、卒業生の達成度は総じて低い傾向にあるが、とりわけ「リーダーシップ」、「表現力」、「課題発見・問題解決力」、「創造力」、「生涯学習力」でその差が大きい。しかし、これらの力やスキルは、学生生活のうちに習得するというよりも、本来、社会経験を積むことで得られる要素が強いため、今後、卒業生の職場での成長に期待したい。

一方、「倫理観」、「責任感」、「自己管理能力」など、必要性に対する達成度のギャップが小さく、これらについては卒業生の評価が比較的高いと言える。

今後も、こうした基本的に備わっておくべき力やスキルを育むとともに、在学生に対しては、リーダーシップや課題発見・問題解決力など自主性を育むような指導・取り組みを検討する必要があると言える。

【仕事上での必要性和卒業生の達成度】

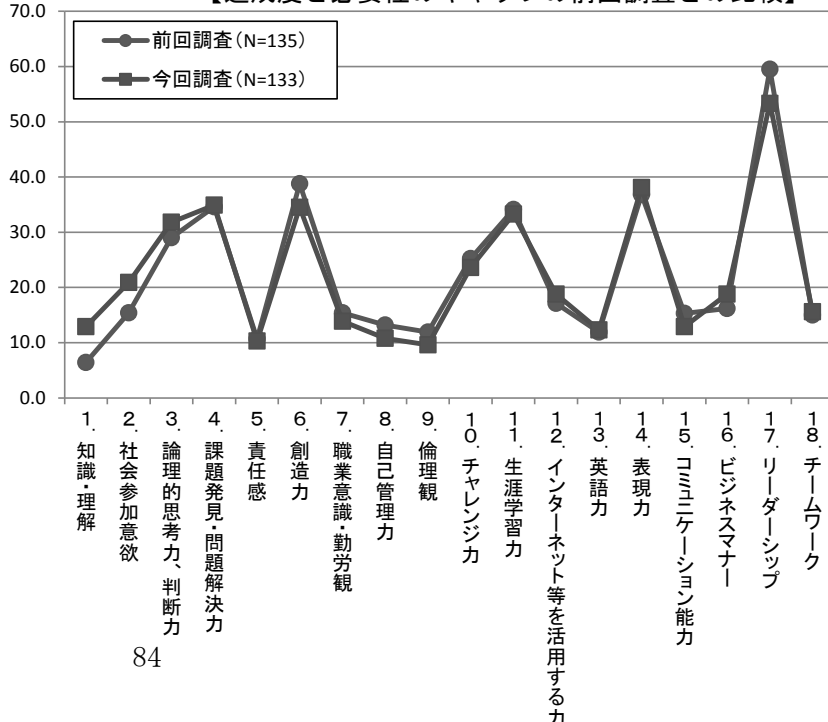


＜達成度と必要性のギャップ（前回調査との比較）＞

卒業生の達成度と必要性のギャップ（＝必要性が高いのに対し、達成度が低い）について前回調査と比較を行った。

達成度と必要性のギャップは、前回調査から「知識・理解」で6.5ポイント、「社会参加意欲」で5.5ポイントとやや大きくなっている。しかし、全体的に同様の傾向を示しており、「リーダーシップ」、「表現力」、「課題発見・問題解決力」、「創造力」、「生涯学習力」の達成度は依然として低く、必要性に対する達成度のギャップが顕在化していると言える。

【達成度と必要性のギャップの前回調査との比較】



▶採用について

＜採用時に重要視する能力＞

学生調査における採用のあり方については、出身大学や学部によるハンディが大きいと感じている学生も少なくないが、実際には、事業所が採用の際に重要視する能力として、「コミュニケーション能力」や「チームワーク」、「責任感」が突出して高くなっており、あくまで「個人」として備わっているスキルを重視している様子がうかがえる。これらは、前回調査結果でも上位に挙げられており、常に採用の判断基準となっていると言える。また、卒業生アンケートでも大学・短期大学部で得たスキルとして上位に挙げられており、就職先が重要視している能力と大学・短期大学部で得られたスキル（達成度）が一致する。

なお、学科別にみても重要視する能力は同じ傾向にあり、職種に関わらず採用の際には「コミュニケーション能力」と「チームワーク」、「責任感」の有無が重要とされていることがわかる。

また、就職先から学生に希望する資格や検定について学科別にみると、看護学科で「看護師」、福祉学科で「社会福祉士」、栄養学科で「管理栄養士」等、当然のことながら卒業学科に応じた専門性が求められており、資格の有無が採用に大きく影響すると言える。

▶大学・短期大学部で必要な支援

大学生の人間形成に必要な支援として、「社会人マナー教育」、「一般常識教育」、「多様な業種・職種の社会人との交流」が上位に挙げられた。これらは前回調査でも上位に挙げられており、大学でも社会人マナーや一般常識などの社会に出て役立つ教育機会の充実や、社会人との交流など、在学中に経験できるような環境づくりが必要とされている。

また、学生調査においては「企業が何を求めているのかわかりにくい」といった意見もあったため、企業が求める姿を学生に伝え、意識させていくことも必要であると言える。

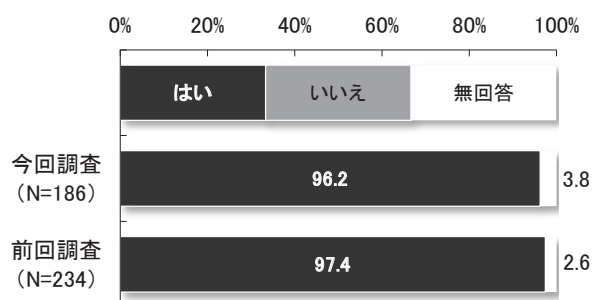
＜今後の採用について＞

今後の採用時に、本学の学生に応募するか否かについては、無回答を除くすべての事業所が応募すると回答しており、前回調査から引き続き高い支持を得ている。

調査結果から、卒業生の仕事に必要な力やスキルに不十分な部分はあるものの、就職受け入れ先では今後も引き続き採用意向があることから、本学の学生は採用に値する一定の評価を得ているものと考えられる。

本学の卒業生が今後も事業所の期待に応え、社会に貢献できるよう、在学時からの人材育成に引き続き取り組む必要がある。

【今後の採用意向（前回調査との比較）】



▶大学に対する意見や要望

大学に対する意見や要望について自由記述形式にて回答を得たところ、本学の卒業生に対する多くの採用意向が目立ち、今後も積極的に採用したいとの声が多かった。また、現在の就業中の卒業生についても好評価の事業所が多く、今後のさらなる活躍を期待する声が挙げられている。

総じて、就職先から見た本学卒業生の評価は高いものと考えられるが、就職受け入れ先では共通して、社会人としての基本的なマナーやコミュニケーション能力のある学生を求めており、大学・短期大学部においては、専門的な知識や経験、スキル等よりもまずはこうした人間形成の基礎を育む教育・指導が今後も求められている。

第3章 調査票

西南女学院大学 卒業生アンケート調査

Ⅰ. あなたご自身のことについて該当するものに○をつけてください。

1. 卒業した学科を教えてください。

1. 看護学科 2. 福祉学科 3. 栄養学科 4. 英語学科 5. 観光文化学科 6. 助産別科

2. 現在の状況を教えてください。

1. 現在、仕事をしている → Ⅱへ進んでください 2. 現在、仕事をしていない → Ⅳへ進んでください

Ⅱ. 現在仕事をしている方におたずねします。

1. 現在の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。（1つ選択）



2. 現在の勤務先で携わっている主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。（1つ選択）



3. 現在の勤務先について○をつけてください。

1. 現在の勤務先は卒業時と変わっていない 2. 転職した → Ⅲに進んでください

4. 雇用形態について教えてください。

①卒業時の雇用形態に○をつけてください。（1つ選択）

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

②現在の雇用形態に○をつけてください。（1つ選択）

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

5. 現在の勤務先の満足度について○をつけてください。

1. 満足している 2. どちらでもない 3. 満足していない

Ⅴに進んでください

6. Ⅱ-5で「満足していない」を選択した方は、該当するものに○をつけてください。

1. 転職(退職)を考えている 2. 転職(退職)するまではしない

Ⅴに進んでください

Ⅲ. Ⅱ-3で「転職した」を選択した方におたずねします。

1. 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。（1つ選択）



2. 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。（1つ選択）



3. 雇用形態について教えてください。

①卒業時の雇用形態に○をつけてください。（1つ選択）

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

②現在の雇用形態に○をつけてください。（1つ選択）

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

4. 転職された時期をご記入ください。（複数回転職された場合は最初の転職についてご記入ください。）

入社後、 年 ヶ月日

5. 転職した理由に○をつけてください。（複数選択可）

1. 仕事内容 2. 給与 3. 休日 4. 福利厚生
5. 人間関係 6. 社風・職場の雰囲気 7. 勤務地 8. 将来性
9. 家庭の事情 10. その他()

Ⅴに進んでください

Ⅳ. 現在、仕事をされていない方におたずねします。

1. 現在の状況に○をつけてください。（複数選択可）

1. 求職中 2. 学生 3. 家事、子育て 4. その他()

2. 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。（1つ選択）



3. 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。（1つ選択）



4. 卒業時の雇用形態に○をつけてください。（1つ選択）

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

5. 退職した理由に○をつけてください。（複数選択可）

1. 仕事内容 2. 給与 3. 休日 4. 福利厚生 5. 人間関係
6. 社風・職場の雰囲気 7. 勤務地 8. 将来性 9. 家庭の事情
10. その他()

Ⅴ. 仕事をする中で感じたこと（苦労したことや成長したことなど）をご記入ください。

（裏面につづく）

【業種・職種区分表】

A 業種
1 農業
2 林業
3 漁業
4 鉱業、採石業、砂利採取業
5 建設業
6 製造業
7 電気・ガス・熱供給・水道業
8 情報通信業
9 運輸業
10 卸売・小売業
11 金融・保険業
12 不動産業、物品賃貸業
13 飲食業
14 宿泊業
15 一般病院
16 精神科病院
17 クリニック
18 高齢者施設
19 障がい児・者施設
20 児童施設
21 保育園
22 教育（小学校・中学校・高等学校・専門学校等）
23 幼稚園
24 学習支援業
25 サービス業
26 公務
27 その他()

B 職種
1 事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）
2 販売
3 営業
4 接客
5 看護師
6 保健師
7 助産師
8 臨床工学士
9 検査員
10 精神保健福祉士
11 支援員・指導員
12 介護職
13 保育士
14 管理栄養士
15 栄養士
16 幼稚園教諭
17 養護教諭
18 英語教諭
19 公務員
20 その他()

Ⅵ. 西南女学院大学で受けた教育について教えてください。
①必要な能力やスキルに関して、A、B、Cについて該当するものに○をつけてください。その他を選択した場合は、（ ）内に具体的内容をご記入ください。

	A 達成度 西南女学院大学で 得た力やスキル	B 必要性 現在の仕事において 必要な力やスキル	C 能力やスキルを身につけるため役立った事 (複数回答可)
	身につけていない ほとんど身につけていない 身につけている ほとんど身につけている 身につけている	役に立たない 役に立たない 役に立つ 役に立つ	大学の講義 研究室・ゼミ活動 キャリア教育 実習・インターンシップ 先輩・後輩との交流 部活サークル アルバイト 留学 ボランティア・地域貢献活動 独学・専門学校
1 知識・理解 大学で学んだ専門分野や専門領域に関する知識を理解し、実践することができる。	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
2 市民性・公共性、社会参加意欲 豊かな人間性を涵養し、福祉と文化の発展に貢献することができる。	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
3 論理的思考力、判断力 論理的に思考し、判断することができる。	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
4 課題発見・問題解決力 現状を把握し、情報を収集・分析して、課題や問題を計画的に解決できる。	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
5 責任感 与えられた課題を最後までやり抜く粘り強さがある。	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
6 創造力 柔軟で豊かな発想力・創造力を発揮できる。	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
7 職業意識・勤労観 自らの職業意識・勤労観を持ち職務に取り組むことができる。	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
8 自己管理能力 心身ともに健康で、自らを律して行動できる。	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
9 倫理観 自己の良心と社会のルールに従って行動できる。	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
10 前に踏み出す力（チャレンジ力） 業務に積極的に取り組み、実行することができる。	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
11 生涯学習力 成長するために継続的に自己研鑽に努めている。	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
12 コンピュータやインターネットを活用する力 情報通信技術（ICT）を用いて、多様な情報を収集・分析したり、基本的なビジネス系ソフト（エクセル・ワードなど）を使うことができる。	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
13 英語力 英語で書いたり話したりすることができる。	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
14 表現力 記録、資料、報告書等を作成する力。効果的なプレゼン力。	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
15 コミュニケーション能力 周囲の人と意思疎通ができ、協調性がある。また、適切な自己表現ができる。	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
16 ビジネスマナー 常識があり、気持ちのよい受け答えやマナーのよい対応ができる。	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
17 リーダーシップ 周囲を引っ張るなど、リーダーシップがとれる。	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
18 チームで働く力（チームワーク） 自分の意見をわかりやすく伝えたり、相手の意見を丁寧に聞いたり、他者と協調・協働して行動できる。	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
19 その他 基礎学力・一般常識など	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4	→ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

②上記の表の1～19の能力・スキルのうち、仕事をする上で重要だと思われるものについて、5つまでその番号をご記入ください。➡

Ⅶ. 大学時代を振り返ったときに、有意義だったと思う授業がありましたらご記入ください。また、よろしければ理由をご記入ください。

Ⅷ. 大学に対して講義以外でもっと支援をしてもらいたかったこと、経験したかったことに○をつけてください（5つまで選択可）。
また、具体的な内容があればご記入ください。

1. 部活、サークル活動	2. 研究室・ゼミの活動	3. キャリア教育	4. 実習、インターンシップ	5. ボランティア活動
6. 地域貢献活動	7. 海外留学	8. 卒業生との交流	9. 多様な業種・職種の人との交流	10. キリスト教教育
11. 一般常識教育	12. 基礎学力教育	13. 社会人マナー教育		

【具体的な内容】

Ⅸ. 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

以上でアンケート調査の記入は終了です。ご協力いただきありがとうございました。
なお、今後、仕事のことなどで相談がありましたら、遠慮なくご連絡ください。

下記の項目は差し支えのない範囲でご記入ください。

氏名	住所 〒	勤務先
	携帯番号	—

（個人情報保護について）ご記入いただいた個人情報については、当調査の目的以外には使用いたしません。

第3章 調査票

就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の評価に関するアンケート調査

I. 回答者様の事業所名、担当部署・役職名、氏名をご記入ください。

事業所名			
担当部署・役職名		氏名	

アンケート対象者：2017年4月就職者 学科 卒業生 ※在職者複数の場合、総合的評価としてご記入ください。

II. 下記の項目の仕事に必要な能力に関して、A、B、Cそれぞれ該当する番号に○をつけてください。 その他を選択した場合は、()内に具体的内容を記入してください。

		A 必要性 現在の仕事において 必要な力やスキル				B 達成度 西南女学院大学 卒業生の力やスキル					C 採用の際、 重要視する能力 上位5つに○を つけてください	
		必要である	やや必要である	あまり必要でない	必要でない	身につけている	ほぼ身につけている	あまり身につけていない	身につけていない	わからない		
1	知識・理解 大学で学んだ学問分野や専門領域に関する知識を理解し、実践することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1
2	市民性・公共性、社会参加意欲 豊かな人間性を涵養し、福祉と文化の発展に貢献することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	2
3	論理的思考力、判断力 論理的に思考し、判断することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	3
4	課題発見・問題解決力 現状を把握し、情報を収集・分析して、課題や問題を計画的に解決できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	4
5	責任感 与えられた課題を最後までやり抜き粘り強さがある。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	5
6	創造力 柔軟で豊かな発想力・創造力を発揮できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
7	職業意識・勤労観 自らの職業意識・勤労観を持ち職務に取り組むことができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	7
8	自己管理力 心身ともに健康で、自らを律して行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	8
9	倫理観 自己の良心と社会のルールに従って行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	9
10	前に踏み出す力（チャレンジ力） 業務に積極的に取り組み、実行することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	10
11	生涯学習力 成長するために継続的に自己研鑽に努めている。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	11
12	コンピュータやインターネットを活用する力 情報通信技術（ICT）を用いて、多様な情報を収集・分析したり、基本的なビジネス系ソフト（エクセル・ワードなど）を使うことができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	12
13	英語力 英語で書いたり話したりすることができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	13
14	表現力 記録、資料、報告書等を作成する力。効果的なプレゼン力。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	14
15	コミュニケーション能力 周囲の人と意思疎通ができ、協調性がある。また、適切な自己表現ができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	15
16	ビジネスマナー 常識があり、気持ちの良い受け答えやマナーの良い対応ができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	16
17	リーダーシップ 周囲を説得し巻き込んでいくリーダーシップがとれる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	17
18	チームで働く力（チームワーク） 自分の意見をわかりやすく伝えたり、相手の意見を丁寧に聞いたり、他者と協調・協働して行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	18
19	その他 (基礎学力・一般常識など)	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	19

(裏面につづく)

貴事業所に関するアンケート調査

Ⅰ. 回答者様の事業所名、担当部署・役職名、氏名をご記入ください。

事業所名			
担当部署・役職名		氏 名	

Ⅱ. 主たる業種に○をつけてください。(1つ選択)

1. 農業	2. 林業	3. 漁業	4. 鉱業、採石業、砂利採取業
5. 建設業	6. 製造業	7. 電気・ガス・熱供給・水道業	
8. 情報通信業	9. 運輸業	10. 卸売・小売業	11. 金融・保険業
12. 不動産業、物品賃貸業	13. 飲食・宿泊業	14. 医療・福祉業	15. 教育・学習支援業
16. サービス業	17. 公務		

Ⅲ. 従業員数に○をつけてください。

1. 従業員 5,000 人以上	2. 従業員 1,000～4,999 人	3. 従業員 100～999 人
4. 従業員 50～99 人	5. 従業員 50 人未満	

Ⅳ. 貴事業所の業務を遂行する上で、学生に希望する資格や検定があればすべてに○をつけてください。

1. 特に必要なし			
＜本学で取得可能な資格・免許等＞			
2. 看護師	3. 保健師	4. 助産師	5. 管理栄養士
6. 栄養士	7. 社会福祉士	8. 精神保健福祉士	9. 認定心理士
10. 保育士	11. 幼稚園教諭一種免許	12. 幼稚園教諭二種免許	13. 高等学校教諭免許(看護)
14. 高等学校教諭免許(英語)	15. 中学校教諭免許(英語)	16. 養護教諭免許	17. 栄養教諭免許
＜本学が取得支援している主な資格・検定等＞			
18. BLS	19. TOEIC	20. 実用英語技能検定	21. TOEFL
22. 観光英語検定	23. 旅行業務取扱管理者	24. 通訳案内士	25. 旅行地理検定
26. 貿易実務検定	27. 外務員(金融商品)	28. 日本語教員養成課程修了	29. 日本漢字能力検定
30. 日商簿記	31. 秘書技能検定	32. 医療請求事務検定	
33. ビジネスコミュニケーション検定	34. ビジネス能力検定	35. ビジネス実務マナー検定	36. キータッチ 2000
37. 英語ビジネス文書作成技能検定		38. コンピュータサービス技能評価試験	
39. 販売士	40. 色彩士検定・色彩検定	41. フードコーディネーター	42. フードスペシャリスト
43. 介護職員初任者研修	44. ピアヘルパー資格	45. その他()	

Ⅴ. 大学生の人間形成について、本学が支援に力をいれた方がよいと思う項目すべてに○をつけてください。

1. 部活・サークル活動	2. 研究室・ゼミナールの活動	3. キャリア教育	4. インターンシップ
5. ボランティア活動	6. 地域貢献活動	7. 海外留学	8. 卒業生との交流
9. 多様な業種・職種の社会人との交流	10. キリスト教教育	11. 一般常識教育	
12. 基礎学力教育	13. 社会人マナー教育	14. その他()	

Ⅵ. 採用について

1. 貴事業所において、過去5年間で採用の実績がある大学名を3校まで差し支えなければ、ご記入ください。(本学卒業生と同職種の女子)

大学	大学	大学
----	----	----

2. 本学卒業生の在職人数と最近5年以内に退職した本学卒業生のうち1年以内に退職した人数をご記入ください。

現在も在職中	人	退職1年以内に退職	人
--------	---	-----------	---

3. 貴事業所において、今後、採用の機会が生じた際は、本学学生にも応募機会をいただけますか。

1. はい	2. いいえ(差し支えなければその理由:)
-------	------------------------

Ⅶ. 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

--

以上でアンケート調査の記入は終了です。ご協力いただきありがとうございます。

集計結果については後日、送付させていただきます。

〈個人情報保護について〉ご記入いただいた個人情報については、当調査の目的以外には使用いたしません。

2017年度
卒業生アンケート調査及び
就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート調査
【調査結果報告書】

2018年7月

発 行 西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部
就職課
〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀 1-3-5
TEL: 093-583-5777
